

八 必要ノ場合ニ當リ點火スル爲メ提燈或ハ松明ノ用意アルヲ要

ス

急行軍

トハ作戰ノ目的ヲ以テ日々尋常ノ行程ヨリ著大ナル行程ヲ滯留ナク數日間連續シテ行軍スルヲ謂フ

急行軍ニ於テ一日ノ行程ハ通常九里乃至十一里トス抑モ出戰歩兵カ二十四時間ニ七里半乃至八里以上ノ行程ヲ行進スルハ既ニ其易シトセサル所ナリ況ンヤ此以上ノ行程ヲ數日間繼續スルコトハ實ニ難ク現員ヲ減スルコト夥多ニ至ルヘシ故ニ減員ヲ生スルコトナク急行軍ヲ行ハンニハ最大限五六日間ニシテ且ツ縱隊ヲ分チテ數道ヲ取ラシメ以テ行進宿營給養ノ便ヲ計リ又各道ノ縱隊ニ於テハ諸部隊間ニ十分ノ距離ヲ存シ以テ恰モ獨立部隊ノ如ク其行進ヲシテ自由ナラシムヘシ

強行軍

トハ一日ノ行程ヲ定ムルコトナク所要ナレハ晝夜兼行シテ一舉著大ノ道路ヲ行クノ稱ナリ其目的タルヤ成ルヘク大部ノ兵ヲ戰鬪ニ參與セシムルニアリ然レトモ此行軍ハ非常ノ場合ニ於テ緊要已ムヲ得サルニアラサレハ之レヲ行ハサルモノトス是レ兵隊ノ疲勞過大ナルノミナラス此行軍ニ因テ生シタル軍紀ノ解弛ハ其弊後日ニ及フノ恐レアルヲ以テナリ且ツ又兵隊ハ強行軍ヲナシ指示サレタル地ニ到着シタル後ト雖トモ尙ホ直チニ行軍或ハ戰鬪ヲ爲シ得ルノ體力ヲ備ヘサルヘカラサルヲ以テ此行軍ハ二十四時乃至三十六時以上ニ及フ能ハス

通常此種行軍ニ於ケル行軍効程ハ行軍中數回長時間(四時乃至六時)ノ休止ヲ行ヒ此間人馬ヲシテ喫食及ヒ睡眠セシメ以テ歩兵ハ二十四時間ニ五十吉米(十二里半)騎兵ハ八十吉米(二十里)ヲ行クモノトス

小縦隊ニシテ行李輻重等ヲ具ヘサルモノハ行進尤モ容易ナリ故ニ急強行軍ニ在ツテハ行李輻重ノ如キハ最モ必要ノモノ、ミヲ隨行セシメ且ツ成シ得レハ各兵ノ背囊ハ別ニ運送シ步兵一中隊ノ背囊ヲ運搬スルニハ駄馬ナレハ約三十七頭、一馬輓車輛ナレハ此半數即チ十八輛ヲ要ス且ツ食量ヲ増加スヘシ

注意 急行軍ト云ヒ強行軍ト云フモ唯タ其行程ニ長短アルノミニシテ歩度ニ異同アルコトナシ人若シ行軍ノ速度ヲ以テ歩度ノ速サト同一視スルトキハ大ナル過誤ト云フヘシ

其五 旅次行軍、戰鬪行軍(警戒行軍)

作戰ノ大部分ハ行軍ニアリ此行軍施行ノ良否ハ戰鬪勝敗ノ數ニ關ス凡ソ行軍ニ於テ兵隊ノ體力ヲ保存シ常ニ戰鬪ニ供シ得ヘキ完全ノ状態ニアラシムルハ尤モ緊要ナルモノトス然レトモ戰術上ノ目的ト保育上ノ目的トハ常ニ相反スルモノニシテ兩ナカラ全キヲ得ル能ハス

爰ニ於テカ當時ノ狀況ニ從ヒ保育上ノ目的ヲ主トスヘキカ將タ又戰術上ノ目的ヲ主トスヘキカニ由テ其取ルヘキ方法ヲ決定セサルヘカラス
苟モ戰術上妨ケナキトキ假令ハ集中運動或ハ戰地ニ於ケル戰略上ノ第二線ニ於テスル運動等ハ成シ得ル限り保育上ノ目的ヲ主トシ即チ各兵種ヲシテ自然ノ歩度ヲ取ラシメ部隊ヲ小部分ニ分チ以テ行進ヲ容易ナラシメ給養ヲ便ニシテ元氣ヲ保養スルヲ要ス此方法ヲ以テスル行軍ハ即チ旅次行軍ナリ
敵前ニ於テスル行軍ハ最早保育上ヲ顧慮スルノ暇ナク專ハラ戰術上ノ顧慮ヲ主トシ即チ各兵種ヲ戰鬪ニ使用スルノ便否ヲ顧慮シテ行進セシメ敵ノ急襲ヲ豫防スル爲メ警戒法ヲ設ケテ行軍セサルヘカラス是レ戰鬪行軍(警戒行軍)ナリ

旅、次、行、軍、ニ於テ顧慮スヘキ諸件概テ左ノ如シ

- 一 軍ヲ數縱隊ニ分チ分進セシムルコト
- 二 成ルヘク速カニ豫メ設營隊ヲ派遣シ諸般ノ準備ヲナサシムルコト
- 三 給養ノ便ヲ測リ宿泊地ヲ定ムルコト
- 四 寒村ニ在ツテハ豫メ監督部員ヲ派シ糧食ノ準備ヲナサシメ食度ヲ設クル等ノ處置ヲナスヲ要ス
- 五 要スレハ衛生部員ヲ派シ惡疫ノ有無飲水ノ良否ヲ檢セシム
- 六 徒歩兵ハ尤モ捷路ヲ取ラシムルコト
- 七 騎兵ハ多少迂路ナルモ馬蹄ヲ損セサル如ク硬軟其度ニ適スル道路ヲ取ラシムルコト
- 八 砲兵ハ路質堅硬ナル大道ヲ撰フコト

戰、鬪、行、軍、ニ於テ顧慮スヘキ諸件左ノ如シ

- 九 各兵種ハ各步度ヲ異ニスル故他兵種ニ連繫スルコトナク各別ニ各自自然ノ步度ヲ以テ行進セシムルコト
- 十 行路沿道ニハ先發者ヲ派シ適當ノ飲水ヲ爲サシムル處置並ニ休憩ニ適當ナル位置ノ撰定ヲナサシム
- 十一 要スレハ地方人民ヲ使役シ或ハ工兵ヲ派シ道路ノ修繕若クハ架橋等ヲナサシム
- 十二 一縱隊中ニ於テ隊間距離ヲ大ニシ行進ヲ容易ナラシムルコト
- 十三 出發投宿ノ時刻ハ衛生上ヲ顧慮シテ定ムルコト
- 十四 日々ノ行程ハ略ホ同一ナルヲ良トス
- 十五 大行李ハ所屬隊ニ直從セシムルカ時宜ニ由リテハ先行セシメ成ルヘク投營ノ便ヲ計ルコト

- 一 保育上ノ願慮ハ第二トシ專ハラ戰術上ノ願慮ヲ以テ萬般ヲ規畫スルコト
- 二 縱隊ハ戰術上ノ編合ヲ以テ行進セサルヘカラス決シテ各兵種各別ニ分離スル能ハス
- 三 戰術上ニ適スル道路ヲ採用シテ行進スルコト各兵種保育上ニ適當ナル道路ヲ撰ムニ暇アラス
- 四 縱隊中ノ各兵種ハ戰術上ノ目的ニ適スル如ク行軍序列ヲ定ムルコト
- 五 適當ノ警戒部隊(前衛、側衛、後衛等)ヲ設クルコト
- 六 宿營地ハ給養上ノミヲ願慮スル能ハス作戰ノ便否ニ從フコト
- 七 出發、投營並ニ日々ノ行程等、一ツニ作戰ノ情況ニ關シ豫メ規定スルヲ得ス

八 作戰ノ煩累トナル大行李、輜重ノ如キハ纏メテ各一團トシ大距離ヲ隔テ、跟隨セシムルコト

其六 前進行、退却行、側敵行

前、進、行、ハ敵ニ向ツテ軍ヲ行ルヲ云フ此行軍ハ進ンテ地ヲ領シ先制ノ勢ヲ有スル故志氣ヲ振起シ尤モ利アルモノトス
 退、却、行、ハ敵ヲ背ニシテ軍ヲ行ルヲ云フ此行軍ニ在リテハ成ルヘク早ク敵ト遠隔セサルヲ得ス故ニ日々ノ行程ハ前進行ニ於ケルヨリハ尤モ永ク加之此行軍ハ志氣ヲ沮喪シ土地ヲ失フ等ノ不利頗ル大ナルモノトス
 側、敵、行、ハ敵ヲ側面ニ受ケテ軍ヲ行ルヲ云フ此行軍ヲナスノ兵隊ハ前進行或ハ退却行ヲナスモノニ比スレハ其展開迅速ナルヲ得ルモ兵隊

ノ大不便ハ側衛本隊、輔重等ヲ各別ニ行進セシムル爲メ夥多ノ稍、平行セル道路ヲ有スルヲ要スルニ在リ若シ是ヲ得サルトキハ此行軍ハ甚タ危険ナルモノトス

其七 行軍序列

戰地行軍ニ於テ各兵種ノ行軍序列ヲ定ムルニハ左ノ要求ヲ充足セシメサルヘカラス

- 一 敵ト衝突スルニ當ツテ使用スル各兵種ノ前後緩急ヲ豫察シテ時機ニ後レサラシムルコト
 - 二 各兵種本然ノ主務ヲ顧慮シ作戰上ノ用法適當ナラシムルコト
 - 三 行進ヲ容易ナラシムルコト
- 警戒隊ノ行軍序列ハ其警戒隊司令官是レヲ定メ本隊ニ在ツテハ全隊

總指揮官之レヲ定ム

團隊ノ長ハ前進ノ時ハ其部下團隊ノ先頭、退軍ノ時ハ其後尾ニ在ルヲ原則トス時トシテ其定位置ヲ去リ得ルト雖トモ長時間ニ互ルヲ許サス故ニ師團長前進ノ時前兵又ハ前衛本隊ノ所ニ在ルハ眞ニ特別ノ場合ニ於ケルノミ

騎兵ハ搜索ニ必須ノ兵種ナルヲ以テ地形及ヒ時機ノ許ス限リハ成ルヘク其大部ヲ敵ニ對シテ尤モ方位ニ用フヲ常トス
砲兵ハ戦闘開始ニ必須ノ兵種タルヲ以テ敵ト衝突ノ見込ミアルトキハ勉メテ敵ニ接近セル方位ニアリテ行進セシムルヲ常トス然レトモ小ナル技隊ノ前進行ニ於テハ從隊ノ後尾ニ置クモ妨ケナシ是レ戦闘開始ニ當リ前方ニ進出スルニ費ス時間小ナレハナリ何レノ場合ニ在ツテモ砲兵ハ防禦力ナキヲ以テ歩兵若干部隊ノ後方ニ位置セシメ直

接ノ敵襲ヲ豫防セシム然レトモ砲兵ヲ歩兵ノ中間ニ挿ムハ歩兵ノ團結ヲ破リ且ツ大ニ行進ヲ妨害スルモノナレハ其單位ト單位トノ中間ニ挿入シ(假令ハ歩兵第一大隊ト第二大隊ノ間或ハ第一聯隊ト第二聯隊ノ間等ノ如シ)同一小單位ノ中間ニ挿入セサルヲ可トス(假令ハ歩兵大隊中ノ中隊間ニ挿入スル如シ)蓋シ小單位中ニ挿入スルハ砲兵力前方ニ進出スルノ速度ニハ大差ナク(砲兵ノ前方ニアル部隊ノ長徑短力キヲ以テナリ)而シテ團結並ニ行進ヲ妨害スル事ハ尤モ甚タシケレハナリ通常師團本隊ノ行軍序列ニ於テハ先頭歩兵聯隊ノ次キニ位置セシムルモノトス

砲兵聯隊長ハ通常師團本隊ノ先頭ニ在ツテ師團長ト共ニ行進ス(小部隊ニ在テモ之ニ準ス)

本隊先頭ニアル歩兵ハ前衛歩兵ト同單位ノ部隊ナルヲ要ス假令ハ前

衛カ第一旅團ニ屬スル歩兵第一聯隊ナレハ同旅團ニ屬スル第二聯隊ヲ以テ本隊ノ先頭ニ位置セシムル如シ之レ前衛戦闘ヲ開クニ當リ時機ヲ失セス是レヲ増加スルニ同單位ノ部隊ヲ以テスルヲ得ルノ便アレハナリ

工兵ハ前進行ニアリテハ通常前衛ニ屬シ道路ノ開達及ヒ修理ニ任ス然レトモ亦一部ヲ本隊ノ後尾ニ置キ前行部隊ノ通過ノ爲メ破損シタル道路ヲ修理シ後續大行李輻重等ノ通過ヲ容易ナラシム又退却行及ヒ側敵行ニ在ツテ先發シテ道路ヲ修理セシム若シ要スレハ騎兵ノ護衛ヲ附シ車ヲ以テ運送ス

工兵大隊長ハ通常前衛ニ屬スル工兵中隊或ハ師團長ト共ニ行進ス衛生隊ハ或ハ全部本隊ノ直後ニ進ミ或ハ其一部ヲ前衛ニ派遣ス而シテ前衛ニ在ツテモ亦前衛本隊ノ後尾ニ位置スルヲ常トス

小行李ハ所屬隊ノ後尾ニ從フヲ常トス然レトモ步兵聯隊若シクハ旅團ノ小行李ハ集メテ一團トナシ其後方ニ直隨セシムルコトアリ
砲兵ノ第一段列ハ所屬中隊ノ直後ニ跟隨シ第二段列ハ集團シテ各編合部隊ノ(前衛又ハ本隊等)最後尾ニ從ハシム但シ特別ノ形勢ニ際シテハ第二段列ノ一部ヲ以テ第一段列ニ増加スルコトアリ
大行李ノ行軍序列ハ戰鬥序列ニ從ヒ勉メテ之レヲ變更セサルヲ要ス之レ命令ノ繁雜ヲ妨ケ且ツ各人ヲシテ常ニハ位置及順序ヲ暗記セシメ以テ發途ノ際混雜ナカラシメンカ爲メナリ而シテ大距離ヲ取ツテ(師團ニ在ツテハ通常千五百乃至二千米)戰鬥部隊ノ後方ニ跟隨セシム(退却行ニ在リテハ戰鬥部隊ノ前方ニ退却セシム而シテ其距離ハ前近行ニ比シ稍大ナルヲ要ス
大行李ハ軍隊俄ニ退却ヲ要スルノ際諸隊ノ退却ヲ妨害スルコトナキ

ニ深ク注意スヘシ故ニ行進中敵ニ遭遇シ戰鬥部隊ノ展開ヲ要スルニ至レハ大行李ハ行軍縱隊ノ儘途上ニ停止シ常ニ行進ノ準備ヲ保ツヲ要ス

輻重ハ通常二梯隊トナリ第一梯隊ハ大行李ヨリ、第二梯隊ハ第一梯隊ヨリ適當ノ距離ヲ取リテ跟隨ス

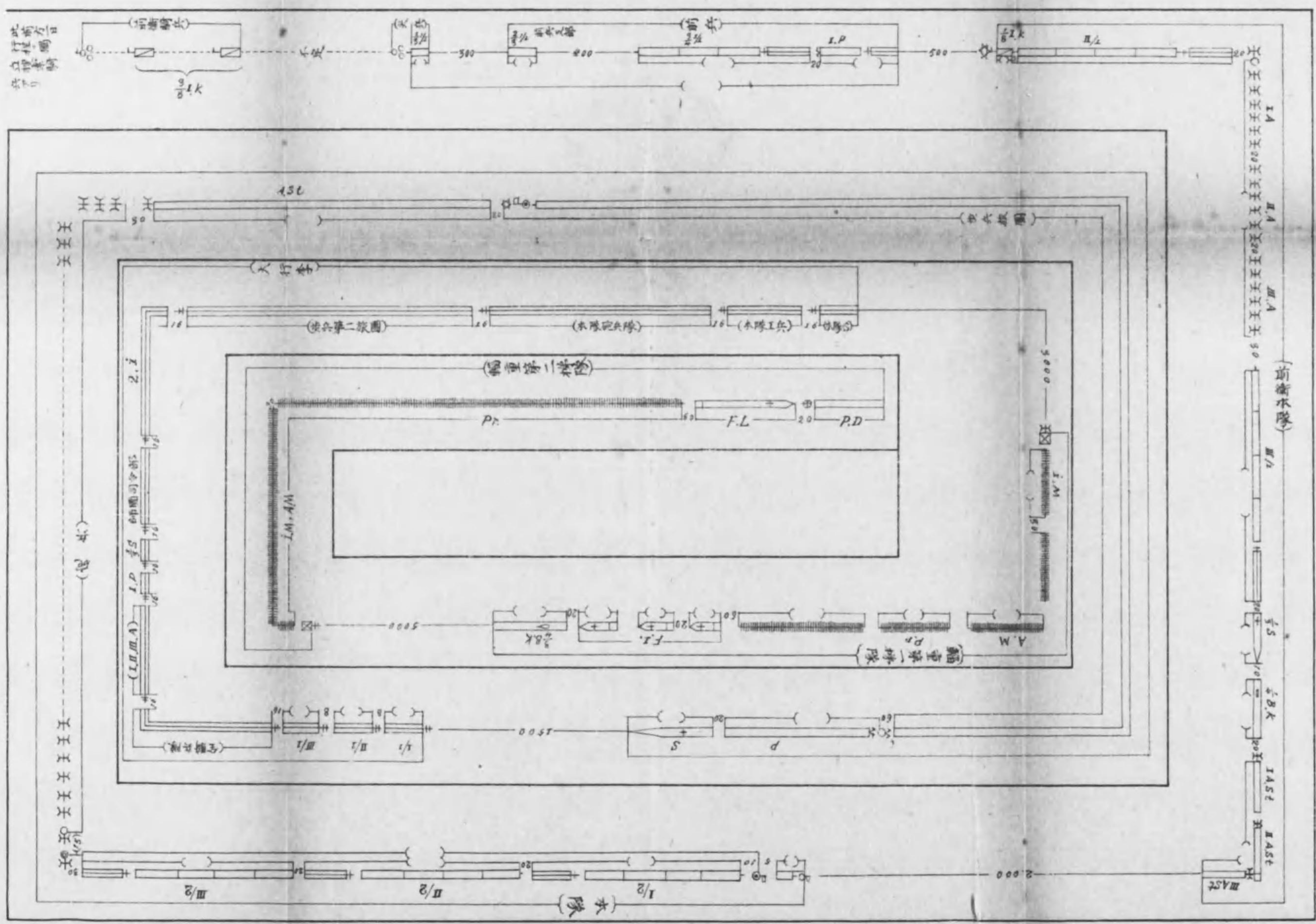
通常第一梯隊ハ大行李ノ後尾ヨリ三、千米、第二梯隊ハ第一梯隊ノ後尾ヨリ四、千米乃至五、千米ヲ以テ跟隨ス(退却行ニ在ツテ此距離ヲ若干増大ス)此ノ跟隨距離ヲ延長スルモ差間ヘナキト雖トモ師團本隊ノ後尾ヨリ第一梯隊ノ先頭マテ半、日、行程、第二梯隊ノ先頭迄一日、行程ヲ超ユヘカラス是レ補充給養ニ不便ナレハナリ

各梯隊中ノ行進序列ハ特別ノ形勢之レヲ要スルニ非ラサレハ通常彈藥縱列、糧食縱列、野戰病院、架橋縱列、馬廠、野戰電信隊ノ順序ニ從フモノ

トス然レトモ情況ノ必要上ニ從ツテハ此ノ順序ヲ變換スルモ妨ケナ
シ假令ハ開戦ノ見込ミヲ以テ前進スルトキ野戰病院ノ到着迅速ナル
ヲ要スルトキハ之レヲ梯隊ノ先頭ニアラシムルカ如シ
架橋縦列ハ時トシテハ其一部ヲ前衛或ハ本隊ニ隨屬セシメ或ハ又大
行李ト共ニ行進セシムルコトアリ
以上記スル所ハ前行進ニ於ケル大要ナリ退却行ニ在ツテハ之レヲ正
反スレハ可ナリ

圖畧軍行團師ノ般一通普ルステ以テ隊縱一單

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5



此行程之圖
供參考之用

●行軍ノ搜索警戒

其一 總論

敵ノ近傍ニアル軍隊ハ其兵數ノ多少ニ拘ハラズ敵ノ急襲ヲ豫防シ安寧ヲ保ツ爲メ敵ノ現在スル方向ニ警戒部隊ヲ出シ以テ本隊ノ戦闘準備ヲナシ或ハ戰ヲ避クルノ餘裕アラシメサルヘカラス此部隊ハ其掩護スヘキ縦隊ノ前方、後方、側方ニ在ルニ從ヒ前衛、後衛、側衛ト稱ス而シテ遠ク敵狀搜索ノ爲メ獨立シテ敵方ニ挺進スル騎兵ヲ獨立搜索騎兵ト云フ

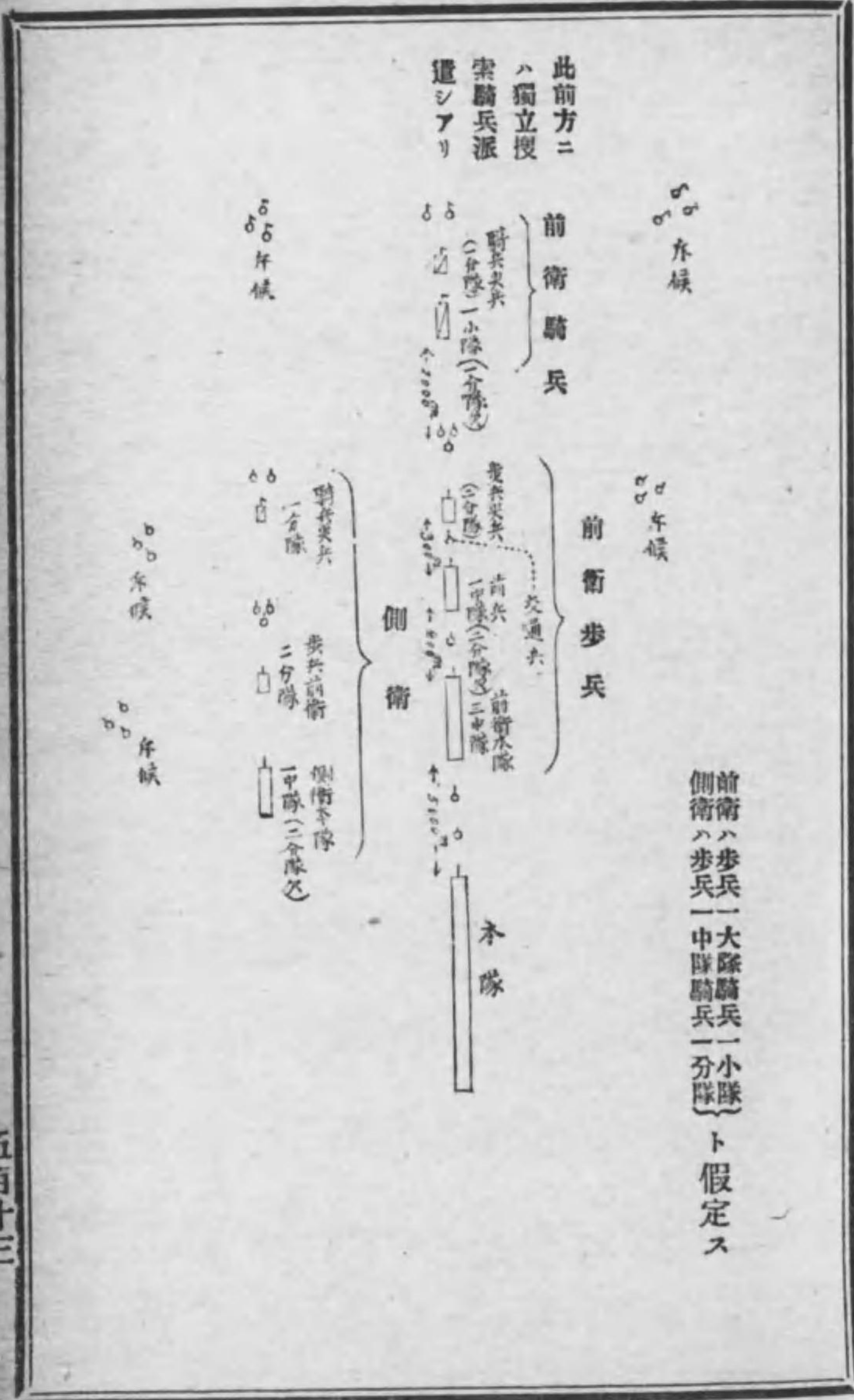
凡ソ警戒ノ首要ハ搜索ノ能ク至ルニアリテ警戒、搜索相待ツテ須臾モ離ルヘカラス而シテ搜索ハ主トシテ騎兵之レニ任シ警戒ハ步兵主ト

シテ之レニ任ス而シテ歩兵ニ砲兵ヲ附加スルトキハ攻撃及ヒ防禦力ヲ増進シ以テ容易ニ我展開ヲ掩護シ且ツ遠距離ニ支持シ又陣地ニ據ル敵ヲ驅逐スルヲ得故ニ大縦隊ノ行軍警戒部隊ニ通常砲兵ヲ附加スルモノトス

工兵モ亦通路ノ開達及ヒ破壊等特別ノ要務ヲ充タス爲メ諸兵連合ノ縦隊ニ在ツテハ之レヲ警戒部隊ニ屬ス

警戒ノ部署ハ大部隊ニ在ツテハ敵ニ近ツクニ應ジテ逐次小ナル數個ノ部隊ニ區分シテ重層配備ノ法ニ從フ然レトモ小部隊ニ在ツテハ僅ニ其警戒ニ要スル最少ノ兵員ヲ枝分スルニ過キサナリ

前進行ニ於テ其側面モ亦若干ノ警戒ヲ要スル場合ニ於ケル普通行軍警戒ノ部署ノ一例左圖ノ如シ



其二 搜索騎兵前衛騎兵

凡ソ軍隊時機ニ後レス諸種ノ情報ヲ得且ツ克ク其軍隊ノ安全ヲ保持セント欲セス騎兵ハ二種ノ勤務ヲ有ス搜索警戒是レナリ
 彼我遠隔セルトキハ搜索ニ任スル騎兵ハ縱隊長ノ直轄ニ屬シ遠ク軍ノ前方ニ進ミ獨立以テ敵情ヲ探リ狀況ヲ審ニシ且ツ同時ニ我軍ノ運動ヲ掩護ス

凡ソ搜索ニ任スル騎兵ハ進退自在ナルヲ肝要トス而シテ其進退自在ノ度ハ背後ニ繼續スル兵隊ニ關係スルコトナク且ツ之レカ爲メニ拘繫セラル、少ナキニ應シテ増進スルモノトス是レ騎兵ヲシテ獨立事ニ從ハシムルヲ要スル所以ニシテ尙ホ縱隊長ハ此騎兵ヲ以テ其耳目トシ是レヨリ得ル所ノ報告等ヲ查覈シ其任務及ヒ全隊ノ動作上ニ及

ホス影響ヲ察シ且ツ發生スル万事ヲ自ラ裁斷セサルヘカラス是レ此騎兵ヲ直轄スルコト肝要ナル所以ナリ
 然レトモ我軍敵ト甚タシク遠隔セス前方ニ行進スル騎兵戰端ヲ開キ前衛ヲ誘引シテ戰鬥ヲ交ヘシムルカ如キ場合ニ在ツテハ形勢前ト異ルヲ以テ搜索ト前衛開戰トノ合一ヲ失ハサルコト緊要ナリ故ニ此クノ如キ時機ニ於テハ行軍中騎兵ノ大部ヲ前衛騎兵トナシ前衛司令官ノ指揮ニ屬シテ搜索ノ勤務ヲナサシメサルヲ得ス其勤務ノ原則ニ於テハ敵軍遠隔ノ時ニ異ナラス唯タ其動作ノ範圍稍小ナルノミ
 今若シ搜索ニ任スル騎兵ノミヲ設クルモノトセンカ即チ遠距離ニアル諸情報ハ之レヲ知ルヲ得ヘシト雖トモ縱隊周圍ノ警戒充分ナラス故ニ若シ我搜索ニ任スル騎兵カ敵騎ノ爲メニ擊退セラル、カ或ハ敵兵大ナル迂回ヲナシ來ルカ或ハ我騎兵却テ某ノ目的ヲ達セン爲メ一

時縱隊ノ正面ヲ去ツテ敵ノ正面或ハ側面ニ向ツテ動作スルニ當リ敵
 騎ノ侵入點ト甚タシク遠隔スルトキハ我歩兵前衛ハ敵ノ急襲ヲ蒙ル
 固ヨリ論ヲ待タス假令是レ等ノ憂ナシトスルモ固ト此騎兵ノ最外線
 ハ甚メ緻密ナルモノニアラサルヲ以テ敵ノ斥候等ハ容易ニ我騎兵ノ
 注視ヲ脱シ我縱隊ニ接近シ得ルヲ以テ之レヲ遮止スル一網脈ナカル
 ヘカラス是レ搜索騎兵ノミナラス直接警戒ノ前衛騎兵ヲ要スル所以
 ナリ
 以上ノ如ク説キ來レハ騎兵ノ使用ハ自ラ一定ノ原則ニ從フコト明ナ
 ラン乃チ敵ニ遠キトキハ縱隊直接警戒ノ爲メ若干ノ騎兵ヲ前衛ニ付
 シ他ノ主力ハ縱隊長ノ直轄ニ屬シ遠ク之レヲ派遣シ獨立搜索ニ從事
 セシメ敵ニ近キ時ハ全騎兵ヲ前衛司令官ニ屬シ前衛歩兵ノ支援ヲ受
 ケツ、搜索警戒ニ任セシム

搜索及ヒ警戒ノ爲メ騎兵ヲ區分スルノ方法ハ騎兵ノ多寡、土地ノ形狀、
 其庇掩スヘキ縱隊ノ大小、縱隊ノ孤立セルト外翼若クハ中間ニ在ツテ
 行進スルトニ因テ異同アリ今普通ノ形勢ニ於テ師團孤立シテ動作ス
 ルトキニ於ケル騎兵隊ノ區分一例ヲ示サントス然レトモ是レ固ヨリ
 一定不變ノ者ニアラス唯タ其要領ヲ示スニ留マルノミ

(合場キ遠ニ敵)

騎兵全隊

約四分ノ三……………獨立搜索騎兵

約四分ノ一……………前衛ニ屬スル騎兵

側支隊ニ屬スル騎兵

縱隊指揮官ニ傳令用トシテ直接附屬

(合場キ近ニ敵)

騎兵全隊

約八分ノ七……………前衛騎兵

約八分ノ一……………

側支隊ニ屬スル騎兵

縦隊指揮官ニ傳令用トシテ直接附屬

獨立搜索騎兵

ノ行進法及ヒ隊形等ハ一ツニ騎兵隊長ノ所見ニ從ヒ時ノ情況ニ由ツテ種々變化スルモノトス然レトモ其騎兵隊自身ノ警戒ハ概ネ普通行軍隊形ニ於ケル如ク前衛及ヒ側衛ヲ設ケテ行進スルモノトス通常其兵力ノ三分ノ一乃至四分ノ一ヲ出シテ前衛トシ前衛ハ其三分一乃至四分一ヲ出シテ前兵トナシ之レヨリ又所要ノ尖兵ヲ出ス

騎兵隊長其任務ヲ盡サンニハ往々敵カ其配備及ヒ運動ヲ庇掩スルカ爲メニ張布セル騎幕ヲ突貫セサルヘカラスアルヲ以テ常ニ其兵ノ大部

ヲ集團シテ手裡ニ掌握シアルコト肝要ナリ實際ニ於テ騎兵ハ搜索ノ爲メニ處々ニ派遣セラレ兎角隊長ノ指揮ヲ脱シ離散シ易キモノナレハ隊長タルモノハ一旦任務ヲ與ヘテ若干騎兵ヲ派遣スルモ任務終レハ常ニ再ヒ集結手裡ニ復歸セシムルコトヲ勉メサルヘカラス

搜索面ノ幅ハ搜索ニ任スル騎兵及ヒ此騎兵ノ庇掩スヘキ縦隊ノ衆寡地形ノ難易道路ノ多少等ニ從ツテ變化スヘキ故一定ノ規則ヲ立ツルヲ得ス然レトモ其要其庇掩スヘキ縦隊ノ前方ハ勿論猶ホ兩側所要ノ地迄搜索セサルヘカラス而シテ其縦隊ヨリ遠隔スルニ從ヒ益々側面ノ搜索ヲ擴張セサルヘカラス之レニ反シ縦隊他隊ト連繫シテ進ムトキノ如キハ或ハ前方ト一側ノミヲ搜索スレハ可ナリ

此騎兵カ我カ縦隊ヨリ先行スヘキ遠隔ノ度ノ如キモ亦一定スルヲ得ス愈々遠ク敵方ニ進ムニ從ヒ愈々速カニ情報ヲ得ルノ利アルヲ以テ敵情

及ヒ地形之レヲ許セハ少クモ一日行程以上ノ距離ニ先行スルモノト
ス

抑モ此騎兵ノ任タル搜索ニ在ツテ戦闘ニアラスト雖トモ其任務ヲ盡
スニ他ノ手段ナキトキハ戦闘ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至ル而シテ一
旦幸ニ勝利ヲ得タル騎兵ハ益々恃頼心ヲ生シ能ク遠大ノ距離ニ搜索ヲ
ナシ縦隊長ヲシテ所要ノ情報ヲ得セシムルニ至ル之レニ反シ若シ強
衆ノ敵兵進來スルニ會スルトキハ猥リニ之レニ抵抗シ無益ニ我兵ヲ
損スル如キ動作ヲナサス直チニ之レヲ後方ニ報シ後方ノ兵隊ヲシテ
之レニ應スルノ所置ヲナスヲ得セシムル爲メ只々其行進ヲ遲滯スル
ノ措置ヲナシ或ハ陣地ヲ占メテ歩兵ノ到着ヲ待ち或ハ退イテ歩兵縦
隊ノ支援ヲ受ケサルヘカラス然レトモ其退却スルニ當ツテハ歩兵ノ
正面ヲ避ケ兩翼或ハ一翼ニ退却スヘシ

爰ニ注意スヘキハ大敵タリトモ必ラス騎兵ハ驚クヘカラス假令我騎
兵ハ劣勢タリト雖トモ騎兵勝利ノ運命ハ果敢猛烈指揮能ク至リ好機
ニ投スルニアルヲ以テ苟モ時機逸スヘカラサル好景況ヲ看破スルト
キハ直ニ之レニ投スヘシ騎兵隊長タルモノハ須ラク眼界ヲ廣クシ戰
略戰術上ノ判斷ヲ至當ニシ目前ノ狀況ノミニ精神ヲ奪ハレ眼界ヲ小
區域ニ限ルヘカラス又今日我邦ノ騎兵ハ少數ニシテ其補充困難ナル
カ爲メ騎兵ヲ愛惜シ無益ノ損害ヲ避クルノ精神カ過度ニ達シタル結
果或ハ騎兵ハ斷然威力ヲ以テ搜索スヘキモノニ非ラストノ感念ヲ生
スル嫌アリ假令少數ト雖トモ威力ヲ用ユヘキ時ハ宜シク猛烈ニ用ヒ
全軍ノ犠牲トナルモ避クヘカラサルナリ
夫レ同等ノ教育ヲ受ケタル對等ノ兵力ヲ以テ外部ヨリ敵ノ内部ヲ偵
知スルコトハ實際多クナシ難キモノトス故ニ正確ノ情報ヲ求メント

欲セハ猾智ヲ用ヒ又ハ兵力ヲ以テ遠ク前進シ敵ノ警備線内ニ侵入セサルヘカラス遠ク敵ト離隔スル間ハ猾智ト剛膽トヲ以テ敵地ニ侵入スルヲ得ルコト案外ニ屢之レアリト雖トモ敵ノ縦隊ト近接シ彼我ノ騎兵共ニ警備網ヲ以テ相接觸スルニ至レハ其網眼ヨリ侵入スルコト甚タ難ク此時ニ當リテ敵ノ内部ノ情報ヲ得ント欲セハ我ニ對抗スル警備網ヲ打破スルニ在ラサレハ其目的ヲ達ス能ハス然シテ敵モ亦必ラス我ト其希望ヲ同シフスヘキカ故ニ爰ニ彼我兵力ヲ以テ争フニ至ルヘキヤ明ナリ此時機タル實ニ騎兵ノ尤モ奮闘盡力スヘキ所ニシテ此瞬間ノ輸贏ハ爾後全軍ノ方策ヲ左右ス

然レトモ本邦ノ騎兵隊長タルモノハ聊カ顧慮ヲ要スルコトアリ前ニモ述ヘタル如ク我國ノ騎兵ハ甚タ少數ナリ歐洲大陸ノ軍ニ於ケル如ク騎兵師團アリ其後方ニ又師團騎兵アルモノト同一視スル能ハス歐
洲強國ノ軍ニ在ツテハ假令騎兵師團カ前方ニ於テ不幸ノ情況ニ陥ルモ猶ホ其後方ニ師團騎兵アルヲ以テ未タ全ク耳目ヲ失フニ至ラス之レニ反シ我邦ノ少數ナル騎兵聯隊カ一旦不幸ニ陥ルトキハ全ク耳目ヲ失フニ至ル故ニ騎兵隊長タルモノハ騎兵ヲ犠牲ニ供スル損害ト之レニ因ツテ得ル所ノ利益トヲ比較シ大ニ決心スル所ナカルヘカラサルコト前ニ論セル如シ

我邦ニ於テハ幸ニ地形カ騎兵固有ノ力ヲ逞フセシムルニ適セス換言スレハ騎兵ノ白兵衝突ヲナスヘキ地形少ナシ故ニ敵カ優勢ナル騎兵ヲ以テ我レニ戰鬪ヲ挑ム時ハ宜シク之レヲ避ケ敵カ其威力ヲ發揚シ能ハサル地形ヲ求メテ之レヲ拒止シ得ルノ便アリ即チ本邦ノ騎兵ニ於ケル騎銃ハ其功ヲナス場合多カラシ

騎兵カ敵ノ陣地ニ衝突シタル場合ニ於テハ敵ノ歩兵ニ對抗スルコト

ハ到底ナシ得ヘキ所ニアラス即チ此時ニ當リテハ敵ノ陣地ノ正面兩翼ヲ搜索シテ確實ナル情報ヲ速カニ縱隊指揮官ニ送ルコトヲ勉メサルヘカラス且ツ同時ニ前衛ノ運動ヲ掩護スルヲ要ス之レカ爲メ執ルヘキ搜索法ハ成ルヘク多クノ斥候ヲ出スヲ以テ最大緊要トナス蓋シ此時機ニ於テハ一斥候ノ云フ所ヲ以テ確實トナス能ハス是レ敵ノ諸隊ノ運動種々ニシテ其方針ヲ推測スルニ困難ナレハナリ故ニ多クノ斥候ノ報スル所ヲ收拾斟酌シテ始メテ適當ニ判斷スルノ材料ヲ得ルモノナリ

我縱隊開進シテ戦闘ヲ開クニ至レハ騎兵ハ左右側ヲ搜索警戒シ本軍ヲ掩護スルハ勿論ナリト雖トモ此ノ念慮ノ過分ナル爲メ戦闘結局ノ期ニ至リテ總司令官ノ掌握ヲ離ル、カ如キ遠距離ニ分散スルノ弊害ニ陥ルヘカラス若シ戰場ノ左右更ラニ騎兵ヲ用フルノ地ナキトキハ騎兵ヲ遠ク分散派遣スルヨリハ寧ロ豫備隊中ニ在ラシムルヲ可トス

前衛騎兵 搜索ノ爲メ前方ニ獨立派遣シアル騎兵ノ後方ニ於テ縱隊直接ノ警戒ニ任スル騎兵ハ決シテ背後ノ步兵隊ト連絡ヲ失フヘカラス然レトモ其之レト相距ルノ度ハ之レヲ一定セサルヲ良トス何トナレハ行進中騎兵ハ絶エス後方ニ跟随スル歩兵トノ距離ヲ保持セシカ爲メ後顧スルコトハ得テ爲ス可カラサレハナリ且ツ騎兵ハ縱令常騎ニテ行進スルモ歩兵ヨリハ迅速ナル故行進中歩兵トノ距離漸次延伸スルハ必然ノ勢ナリ然レトモ此距離ヲ保持センカ爲メ強テ蹶度ヲ短縮スルハ大ニ馬匹ノ疲勞ヲ致スモノナリ故ニ其ノ自然ノ速度ニ任シ且ツ時々少時間ノ早蹶ヲ混用シ距離非常ニ過大ナリト察スレハ少時ノ休止ヲナシ其ノ距離ノ短縮スルヲ待ツテ再ヒ行進ヲ起スヘシ然レトモ此ノ距離假令延伸シテ里餘ニ及フモ固ヨリ妨ケナキモノナ

リ
 此直接警戒ニ任スル騎兵ハ本軍行進路ノ正面ヲ放開スルコトナキハ
 尤モ緊要トス此事タルヤ前方ニ派遣シアル搜索騎兵ニ在ツテモ亦タ
 遵守セサルヘカラサル所ナレトモ此ノ搜索ニ任スル騎兵ハ元來獨立
 ノ性質ヲ有シ且ツ後方ニハ更ラニ直接警戒ノ前衛騎兵アルヲ以テ情
 況上利益ト認ムルトキハ正面ヲ去ツテ側面等ニ至ルコトナキニシモ
 アラス然レトモ前衛ニ屬スル直接警戒ノ騎兵カ一旦正面ヲ放開スル
 トキハ其後方ニ於テ最早掩護ニ任スヘキモノナシ
 從來騎兵ノ搜索ハ彼我共ニ側面ヨリ敵ヲ搜索センコトノミヲ勉メ一
 旦正面ニ於テ彼我衝突セハ直チニ主力ヲ以テ側面ニ迂回セントスル
 ノ傾アリ固ヨリ側面ヨリスル搜索ハ之レヲナサンコトヲ勉ムルモ可
 ナリ實ニ勉メサルヘカラス然レトモ唯一此念ノ爲メニ驅ラレ後方部

隊ノコト並ニ報告傳達路ヲ考慮セサルニ至ルアリ之レ尤モ不可ナル
 モノナリ猥リニ正面ヲ去ツテ側方ニノミ意ヲ注クトキハ正面ノ曝露
 ハ勿論假令側面ヨリ搜索シテ得タル好情報アルモ之レヲ後方ニ傳達
 スルノ途ナク敵ニ其交通ヲ絶タル、ニ至ルコトアルヘシ
 敵兵愈々近接シ獨立搜索騎兵カ最早獨立動作スルノ餘地ナク歩兵ノ支
 援ヲ要スルニ至リ前衛司令官ノ指揮ニ屬スルニ至リタルトキ此騎兵
 ノ動作ハ以上述フル所ノ外凡ヘテ獨立搜索騎兵ノ範圍減少シタルモ
 ノニ過キスシテ其大要ニ於テハ敢テ異ル所ナシ
 少數ノ騎兵ヲ有スル枝隊ニ在ツテハ此騎兵トシテ遠ク派遣スルモ其
 兵力僅少ナル爲メ稍々優勢ノ敵騎ニ遇ヘハ忽チ擊退セラレ其効少ナカ
 ルヘシ故ニ寧ロ始メヨリ前衛ニ屬シ歩兵ノ援助ヲ受ケツ、動作セシ
 ムルヲ反ツテ利アリトスルコト多シ

以上ハ概テ前進行ニ就テ述ヘシモノナレトモ退却行ニ於テモ猶之レニ準シ其區分ハ前進行ノモノト正反ス
側敵行ニ於テモ亦前述ノモノニ準ス

其三 前衛

前進行ニ於ケル前衛ノ任務概テ左ノ如シ

- 一 要地ニ據ル敵ノ支隊ヲ驅逐シテ本軍ノ爲メ通路ヲ開キ或ハ戰ヲ挑ンテ敵ノ衆寡希望ヲ發露セシム
- 二 退却スル敵ニ追蹶シテ彼ヲシテ已ムヲ得ス駐止展開セサルヲ得サルニ至ラシム
- 三 戰鬪ノ第一線トナリ敵ノ攻撃ヲ支ヘ本軍縱隊ノ開進及ヒ展開ヲ掩護ス

四 行進方向ヲ搜索警戒シ又路上ノ障礙ヲ除去シ道路ヲ開達ス

前衛ノ兵力ハ時ノ形勢地形縱隊ノ大小ニ從ヒ變化一ナラスト雖トモ大約歩兵ハ六分一ヨリ三分一ハ間ニ變化ス前衛ノ兵力過太ニ失スルトキハ前衛司令官ハ其兵衆ヲ特ニ或ハ縱隊長ノ意圖外ナル激戰ヲナスノ恐レアルヘシ

前衛ノ編組ハ諸兵種ヲ以テスルヲ可トス而シテ此編合ハ成ルヘク建制ヲ破ラサルコトニ注意スヘシ

前衛ニ砲兵ヲ附加スルコトニ就テハ兵家各論スル處アリ即チ今日集團砲兵ノ使用上成ルヘク砲兵ヲ分割セス又前衛ニ附シタル砲兵ハ縱隊指揮官ノ手裡ヲ脱シ前衛司令官ノ專恣ノ要ニ供スルニ過キストノ論アレトモ敵ト衝突ノ患アルトキハ砲兵ノ附加ハ必要ナルヘシ假令前衛ニ砲兵ヲ分附シ置クト雖トモ砲兵ハ歩兵ノ如ク離散収集シ難キ

兵種ニアラス何時ナリトモ縦隊指揮官ハ必要ナレハ干涉シ得ヘシ殊
 ニ前衛司令官其人ヲ得レハ決シテ專念ノ用ニ供スルカ如キコトナク
 若シ敵ノ砲兵優勢ニシテ劣勢ナル我カ前衛砲兵ヲ出ストキハ忽チ沈
 黙セシメラル、ノ患ヒアルトキノ如キハ相當ノ智力アル前衛司令官
 タルモノ焉ソ之レヲ出スノ不利ヲナサシヤ故ニ前衛ニ砲兵ヲ附シ
 置クモ敢テ不可ナシ有利ノ時ニハ之レヲ用ヒ不利ノ時ニハ之レヲ用
 ヒサルマテノコトナリ但シ僅カニ一中隊ノ砲兵ヲ分割シテ前衛ト本
 隊トニ置クカ如キハ嚴禁タリ
 前衛ハ前衛本隊及ヒ前兵ニ區別ス前兵ハ勉メテ建制部隊ヲ以テシ前
 衛歩兵ノ四分一乃至六分一及ヒ必要ノ騎兵工兵ヲ以テ編組ス
 大ナル前兵ニシテ且ツ其警戒益確實ナラシムルニ適當ト認ムルトキ
 ハ之レヨリ更ラニ一部隊ヲ前方ニ派遣ス之レヲ前兵支部ト云フ

前兵若クハ前兵支部ノ前方ニ歩兵ノ尖兵ヲ出ス此ノ歩兵尖兵ノ前方
 ニ尙ホ騎兵尖兵ノアルコトアリ或ハ前兵ノ騎兵アリテ之レヨリ直チ
 ニ騎兵ノ尖兵ヲ出スコトアリ
 歩兵ノ尖兵ハ一分隊以上ノ兵ヲ士官ノ指揮ニ屬シ以テ若干ク抵抗力
 ヲ備ヘ且ツ前兵ノ援助ヲ借ラスシテ廣ク搜索スルコト得セシム
 前衛各部隊間ノ距離ハ後續梯隊ノ展開及ヒ安寧ヲ庇掩スルニ必要ナ
 ルモノニシテ先行スル梯隊ハ後續スル梯隊ノ兵力大ナルニ從ヒ益々其
 後方ニ存スヘキ距離ヲ大ナラシメサルヘカラス然レトモ他方ヨリ論
 スレハ距離ノ過大ナルモ亦タ不可ナリ是レ前行梯隊率然強大ナル敵
 ノ攻撃ヲ受クルニ際シ後續梯隊ノ救援ヲ受クルニ先チ既ニ擊破セ
 ラル、ヲ以テナリ
 普通一般ノ標準トスヘキ各部隊間ノ距離左ノ如シ

前衛本隊ト本隊トノ間

八百乃至二千米

前兵ト前衛本隊ノ間

四百乃至八百米

前兵ト前兵支部トノ間

三百乃至四百米

前兵(前兵支部)ト尖兵トノ間

三百乃至四百米

前衛司令官ノ任務施行ノ爲メ、一般ニ遵守スヘキ普通ノ原則、左ノ如シ、

一 寡少ナル敵ニ遭遇セハ決意攻撃シ本隊ノ進路ヲ開ク

二 優勢ナル敵ニ遭遇セハ適當ノ陣地ヲ占領シテ戰ヲ支持シ本隊ノ展開ヲ掩護シ且ツ土地ト時間ノ餘裕ヲ得セシムヘシ

三 敵ト遭遇セハ速カニ敵線ノ廣狹兵力ノ配布及ヒ砲數等ヲ速カニ偵察スルヲ要ス

四 前衛ノ展開ハ後續本隊ノ展開ヲ顧慮シテ陣地ヲ占ムヘシ即チ換言スレハ本隊展開ノ餘地ヲ存シテ正面ヲ占ムルヲ砲兵ニ

於テハ殊ニ然リトス

前衛ノ戰鬥法ハ情況地形及ヒ任務ニ從ツテ種々差異アレトモ通常大別シテ四種ノ場合ヲ畧陳セントス

一、敗走セル敵ヲ追撃スル場合、前衛ハ毫モ敵ニ猶豫ヲ與ヘス隊伍ヲ整頓スルノ暇ナカラシムルコトニ努力スヘシ即チ騎兵及ヒ砲兵ハ成ルヘク多ク之ヲ用ヒ步兵ハ之ヲ支援シ騎兵ノ速力ト砲兵ノ遠距離射撃トヲ以テ敵ヲ潰走セシムヘシ

二、我レヨリ寡弱ナル敵ニ遭遇シタル場合、前衛ハ戰鬥ヲ始ムルニ躊躇スヘカラス即チ本隊ノ行進ヲシテ成ルヘク遅緩ナラシムル爲メ活潑ニ攻撃シ之ヲ驅逐スヘシ

三、優勢ナル敵ノ止陣セルモノニ遭遇スルトキ、前衛ハ戒慎ヲ加ヘ眞面自ノ戰鬥ヲナスヘカラス要スルニ敵ノ兵力陣地ノ形勢ヲ偵察

シ以テ本隊ノ開進及ヒ展開ヲ掩護スルヲ以テ度トスヘシ蓋シ本隊ノ到着ニ先チテ擊破セラレ或ハ交戰激烈ナル爲メ本縱隊指揮官ヲシテ其意圖ヲ枉ケテ前衛ノ動作ニ從ハサルヲ得サラシムル等ノ恐れアレハナリ但シ前衛カ早ク隘路ノ出口又ハ要點ヲ占領スルヲ要スル時ニ限り斷然攻勢ヲ取り所要ナレハ其全力ヲ展開スヘシ

四、優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受クルトキ、前衛ハ防禦陣地ヲ撰ミ地形ノ利ヲ占メテ頑強ニ敵ヲ抗拒シ本隊ヲシテ其時ノ形勢ニ應シ或ハ其兵ヲ展開スルノ時間ヲ得セシメ成ハ戰鬪ヲ避ケテ退却スルノ餘裕ヲ得セシムヘシ

退却行ニ於ケル前衛ハ甚タシク必要ナルモノニアラサレトモ退却路ノ障礙ヲ除去スル等ノ爲メ工兵一部隊若干ノ騎兵ヲ附シ成ルヘク速カニ之レヲ派遣ス若シ又土民ノ情態安全ナラサル地方ヲ退却スル等

ノトキハ諸兵種ヲ以テ編成シ行李輻重等ハ遠ク本隊ノ前方ニ在ツテ行進セシム

側敵行ニ於ケル前衛モ亦タ甚タシク必要ナルモノニアラス蓋シ警戒ノ主部ハ此ノ場合ニ於テハ側衛ナルカ故ニ前衛ハ唯タ行進路ヲ搜索シ障礙ヲ除去シ或ハ修繕スルニ在リテ其敵兵タル概ネ騎兵支隊或ハ別働隊タルニ過キス故ニ兵力ハ大約側衛ハ三分ノ一ヲ以テ足レリトス又編組區分ハ概テ前進行ノ前衛ト同要領ニ從フ然レトモ騎兵ノ大部ハ側衛ニ屬スヘキヲ以テ此側敵行ノ前衛ニハ唯タ必要ナル少數騎兵ヲ附シ得ルノミ工兵ハ成ル可ク一部隊ヲ附加スルヲ可トス砲兵ハ特別ノ場合ニアラサレハ之レヲ要セス

其四 後衛

退却行ニ於ケル警戒ノ主部ハ後衛ニシテ其特別ノ任務ハ前進行ニ於ケル前衛ノ任務ト自ラ異ナル所アリ

夫レ前進行ニ在ツテハ進ンテ戦ヲ求ムルニアリト雖トモ退却行ニアリテハ兵員敵ニ若カサルカ或ハ他ニ戰略戰術上不利ナル形勢アルニ由テ敵ノ銳鋒ヲ避クルニアルヲ以テ兵隊ノ志氣ハ自ラ沮喪ス故ニ後衛ノ任務タル勉メテ戰闘ヲ避ケ只タ諸種ノ手段ヲ廻ラシテ敵ノ追蹙ヲ遲滯セシメ彼若シ近接セハ之レヲ防止シ以テ我本隊ヲシテ敵ト離隔シテ安全ニ退却スルノ餘裕ヲ得セシムルヲ要ス

退却行ニ於ケル後衛ノ兵力及ヒ編組ハ概ネ前進行ニ於ケル前衛ニ準スヘシト雖トモ其異ナル所ハ概ネ左ノ如シ

- 一 前進行ニ於ケル前衛ヨリハ其兵力稍強大ナラサルヘカラス蓋シ後衛カ敵ヲ防止セサルヲ得サルニ至リテハ概テ優勢ノ敵ニ

對スヘク且ツ本隊ノ援助ヲ受クルノ望ミ少ナク孤立シテ戰闘スルヲ要スレハナリ

二 前進行ニ於ケル前衛ヨリ騎兵及ヒ砲兵ノ多數ナルヲ要ス蓋シ後衛カ任務ヲ盡ス爲メニハ敵ヲ遠距離ニ支持シ敵ヲシテ展開スルノ餘儀ナキニ至ラシメ或ハ又敵ノ迂回ヲ防止シ又速カニ戰闘ヲ中止シテ敵ト離隔セラルヘカラス即チ騎兵砲兵之レ等ノ目的ニ適スルモノナレハナリ

三 退却行ニ於ケル後衛本隊、後兵、尖兵、及ヒ後衛騎兵ニ區分ス是等ハ前進行ノ前衛ニ於ケルモノヲ正反スルモノナリ又後衛ト本隊トノ距離ハ本隊ノ行進ニ便ナラシムル爲メ通常前衛ニ於ケルヨリモ大ナルモノトス

後衛ノ戰術法ハ概シテ防勢的ニシテ是レ等ノ戰闘ヲナスハ固ヨリ寡

兵ヲ以テ優勢ノ敵ニ對スル事ナレハ地形ノ利ニ依頼スルハ甚ダ緊要ナリ又後衛ノ戰鬪久シキニ亘ルトキハ本隊トノ懸隔其度ニ過キ連絡全ク絶ユルノミナラス本隊ハ時トシテ後衛ノ急ヲ救フカ爲メニ其欲スル所ニ反シテ復タ歸リ來ラサルヲ得サル等ノ害アリ故ニ後衛ノ戰鬪ハ結局ニ及ホスヲ得ス早晚之レヲ中止スヘキモノナル故專ハラ砲兵騎兵ノミヲ以テ闘ヒ步兵ヲ闘ハシムルハ万已ムヲ得サル時ニ於テスヘシ蓋シ砲兵ハ一旦展開セハ再ヒ集合ンテ退却スルコト難キモノナレハナリ

後衛カ敵ニ追及セラレ已ムヲ得ス戰鬪ヲ交ヘサルヲ得サルニ至ル時ハ概ネ左ノ原則ニ從ツテ動作スルモノトス

- 一 最初ヨリ第一線ノ兵力ヲ強大ニシ全力ヲ以テ敵ニ頓挫ヲ與フルコトヲ要ス

二 防禦ニ不適當ノ土地ハ成ルヘク速カニ之レヲ通過シ堅固ナル據點ヲ求メテ敵ヲ支持シ以テ敵ヲシテ遠距離ヨリ展開セサルヲ得サルカ或ハ遠ク迂回スルノ餘儀ナキニ至ラシムヘシ

三 敵兵ノ切迫激烈ニシテ其接觸ヲ絶テ得サル時ハ一時猛烈果敢ノ逆襲ヲ以テ危急ノ域ヲ脱スルコト亦タ無キニシモアラス然レトモ此ノ動作ハ極メテ危険ナルモノトス

四 敵兵搜索ヲ忽ニシ輕舉盲進スルトキハ路傍ノ蔭蔽地ニ伏兵ヲ備ヘ之レヲ奇襲スルノ好時機ナリ

五 後衛陣地ニ適スル性能左ノ如シ

- 1 敵ノ追撃ヲ妨クルニ適當ナル地物ヲ前面ニ控ユルコト
- 2 側方ハ敵ノ近接シ難キ障礙ヲ有シ或ハ砲火ヲ以テ之レヲ制シ敵ノ迂回ヲ防止シ得ルコト

- 3 敵ヲ遠距離ニ支持シ得ヘキ砲兵陣地ノ良好ナルモノヲ有スルコト
- 4 不意ニ逆襲ヲ試ムルニ便ナル地點ヲ有スルコト
- 5 遮蔽セル退却路ヲ有スルコト
- 6 後衛陣地相互ノ距離最小限ハ砲兵ヲ有スルトキハ四吉米、歩兵ノミナレハ千米乃至千五百米トス
- 7 後衛陣地相互ノ位置關係ハ左圖ノ如クナルヲ可トス



△ハ迂回ニ困難トナ
ルカ或ハ全ク通過
スヘカラサル天然
地形ニ托セル翼
示ス

凡ソ後衛ノ戦闘ノ如キ困難ナルモノアラヌ故ニ之レカ司令タル者ハ
時ト場合ニ因ツテハ其身其兵ヲ擧ケテ全隊ノ犧牲ニ供スルノ覺悟ナ
カルヘカラス

前進ニ於ケル後衛ハ常ニ必要ナルモノニアラヌ然レトモ敵ノ騎兵
或ハ別働隊或ハ土民ノ爲メ我背後安寧ナラサル時ハ之レヲ設クル事
アリ然シテ其兵力ハ全ク背後危殆ノ大小ニ由ツテ定ムルモノトス

前進ニ於テ落伍兵及ヒ犯罪者ヲ搜索監視スル等ノ爲メ一ツノ風紀
支隊(大縦隊ニ在ツテハ憲兵ヲ附ス)ヲ縦隊ノ後尾ニ行進セシムルコト
アリ之レヲ以テ直チニ後衛ト誤解スル勿レ

側敵行ニ於ケル後衛ハ只タ敵騎ヲ防止スルニ過キス故ニ其兵員モ寡
少ニシテ足レリ蓋シ側敵行ニ於テ本隊ノ後尾ヲ脅カサンカ爲メニ來
ルモノハ多ク敵ノ騎兵ナリ又行李輜重ハ多クハ敵ニ反スル側方ノ平

行路ヲ行進スヘキカ故ニ後衛ノ任務ハ只タ敵騎ノ繞回ヲ戒シムルニ過キサレハナリ

其五 側衛

側敵行ハ尤モ危険ナル行軍ニシテ或ハ敢爲又ハ優勢ノ敵ニ對シ或ハ敵兵我カ附近ニアルトキハ殊ニ然リ故ニ側衛ノ任務ハ甚タ至難ナルモノニシテ敵ニ對シ我本隊ノ側進ヲ庇護シ且ツ敢テ欺騙シ敵襲ヲ受クルトキハ之レヲ拒支シ本隊ヲシテ安全ニ通過シ戰鬪ヲ避ケシムルヲ要ス

側敵行ニ於ケル側衛ノ任務夫レ斯クノ如シ故ニ此ノ側衛ハ退却行ニ於ケル後衛ト同様本隊ノ掩助ヲ心算スルヲ得ス其兵力ハ少ナクモ前進行ニ於ケル前衛ト等シカラシメ成ルヘク騎兵砲兵ノ多キヲ可トス其編組並ニ區分ハ前進行ニ於ケル前衛ニ準スヘク但シ其梯隊ハ前衛

カ其兵ヲ區分シテ前方へ出シタルモノヲ側方ニ出スニアリ
前進變シテ側進トナルトキハ從來ノ前衛ヲ以テ側衛トナシ要スレハ
新行進方向ニ更ラニ前衛ヲ出ス

側衛カ本隊ヲ掩護スルニ三法アリ

(一) 平行道路ヲ取り本隊ト並進ス

此法ハ本隊ノ行進ヲ遲緩セシメスシテ且ツ側衛ノ疲勞大ナラサルノ利アレトモ亦タ種々ノ不利アリ即チ左ノ如シ

- 1 騎兵及ヒ側衛自身モ亦タ側面ヲ露出シテ行進スルヲ以テ自己ノ安全確實ナラス
- 2 敵襲ニ對シテハ地形假令不利ナルモ直チニ其地ニ展開シテ敵ニ當ラサルヘカラス
- 3 行進シツ、敵ヲ警戒スルハ駐止スルトキヨリ一層困難ナリ

4 本隊中自己ト齊等ニ行進スル部隊ノ外ハ確實ニ掩護スルコト能ハス

5 側衛ノ諸部隊適宜ノ間隔ヲ取リテ行進シ得ヘキ夥多ノ平行路ヲ行進シ得ルコト甚タ難シ

以上ノ如ク此法ハ其掩護甚タ困難ナルヲ以テ敵ト遠隔スルトキ或ハ騎兵ノミヲ以テ側衛トスルトキニ用フルコト多シ若シ敵ニ近キ時ニ於テ此方法ヲ用フルトキハ容易ニ我行進ヲ發覺セラレハシ

(二) 適當ノ陣地ヲ占領シ本隊ヲシテ其背後ヲ通過セシメ以テ本隊ノ側進ヲ掩護ス

此法ハ敵ノ近傍ヲ通過スルニ當リ善良ナル陣地アルトキニ用フ終始一個ノ陣地ニ由リ縱隊ノ全行程ヲ掩護シ得ルトキハ殊ニ利アルモノニシテ本隊ノ安全ヲ計リ得ルコト尤モ確實ナリ

陣地ハ本隊ノ行進路ニ近接セルモノヨリハ遠隔セルモノカ比較的久シク本隊ヲ掩護スルヲ得且ツ屢陣地ヲ變換セスシテ可ナルノ利アルモ亦タ孤立シテ危險ニ陥ルコトアルヲ顧慮スヘシ
此掩護法ニ在リテハ成ル可ク騎兵ヲ遠ク派遣シテ敵兵ノ近接ヲ搜索セシムルヲ必要トスレトモ亦タ敵ニ我側進ヲ秘匿スル點ヨリ考察セハ却ツテ搜索ノ爲メニスル動作ニ由ツテ敵ニ我運動ヲ知ラル

、ノ患アルコトヲ考ヘサルヘカラス
(三) 牽制戰ヲ以テ本隊ノ側敵行ヲ敵ニ秘匿ス

此法ハ甚タ危險ナルモノニシテ已ムヲ得サル場合ニ用フルモノトス即チ優勢ノ敵兵我近傍ニアリテハ我側進ヲ秘匿スル能ハス爲メニ一時攻勢ヲ以テ敵ニ當リ時間ノ猶豫ヲ本隊ニ與フルモノニシテ之レカ爲メニハ猛烈ナル攻撃動作ヲ以テ敵ヲ躊躇セシムルヲ要ス

而シテ歩兵ハ戰闘ヲ中止シ速カニ敵ト離隔スルコト難キ兵種ナル
 カ故斯クノ如キ牽制動作ヲナスニハ勉メテ砲兵騎兵ヲ多ク使用ス
 ルヲ可トス
 即チ騎兵ハ諸方向ヨリ敵ヲ惱マシ彼レノ意向ヲ變セシムルコトヲ
 勉ムル間ニ砲兵ハ敵ヲシテ激烈ナル砲兵戰ヲ開カシメ以テ決戰ノ
 準備ヲナサシメ他點ニ向ツテ動作スルノ餘暇ナカラシム然レトモ
 敵カ單獨ナル我騎兵ト砲兵ノ戰闘ノミニテ其意ヲ我カ牽制戰ニ注
 カサルトキハ多數ノ歩兵ヲ戰線ニ加ヘ遂ニ眞面目ノ戰闘ヲナシ其
 結果タルヤ意外ノ危害ヲ招クニ至ルヘシ
 故ニ此法ハ寡弱ニシテ優柔不斷ナル敵ヲ正面ニ綴リ我本隊ハ彼レ
 ノ一翼ヨリ之レヲ攻撃セントスル時ニハ能ク其目的ヲ達シ得ヘキ
 モ勇敢ニシテ且ツ勝利ヲ得タル敵ノ近距離ニアルモノニ對シテハ

甚タ危険ナルモノナリ
 ●前進行ニ於ケル側衛ノ危殆ナルトキ是レカ掩護ニ任スルモノニシテ
 其編組區分及ヒ掩護法ハ側面危殆ノ度ニ應ジ前述ノ側敵行ニ於ケル
 側衛ノ要領ニ準ス
 ●退却行ニ於ケル側衛ハ優勢ナル敵ヲ背ニシテ退クニ當リ特ニ側面ノ
 掩護ヲ必要トスルトキ之レヲ用フルモノニシテ其要領亦タ前述側敵
 行ニ於ケル側衛ニ準ス

●行軍長徑並ニ開進展開

行軍長徑ト行軍縱隊ノ先頭ヨリ後尾ニ至ル延長ヲ云フモノニシテ此
 ノ長徑ノ大小ハ開進及ヒ展開ノ時間ニ大ナル關係ヲ有スルモノトス

長徑大ナレハ其開進ニ至大ノ時間ヲ要シ從ツテ展開ノ時機ヲ遅カラシム大縦隊ニ在ツテ敵ト衝突ノ際速カニ展開セント欲セハ豫メ戰鬪正面ニ等シキ擴張ヲ以テ數縦隊ノ分進ヲナスモ必竟行軍長徑ヲ各縦隊ニ配布シ各縦隊同時速カニ開進シテ展開セシムルノ主意ニ外ナラス

行軍長徑ハ人馬車輛伍數ノ長サ及ヒ後方距離ヲ基準トシテ積算スルニ由テ求メ得ヘシ

凡ソ行軍ニ於テ道路善良ニシテ且ツ兵卒行軍ニ熟練シ又縦隊中ノ各單位ハ能ク定規ノ距離ヲ保チ且ツ行軍規律能ク至ルトキハ各部隊ハ互ニ撞着スルコトナク又距離ヲ失フコトナク彼ノ横隊面ニ等シキ長サヲ以テ正シク行進シ得ルモノ、如シ然レトモ實際ニ於テハ到底縦隊ノ延伸ヲ免カレ難シ而シテ道路愈々惡シク縦隊愈々大ニシテ且軍隊

愈々疲ル、ニ從ヒ其延伸愈々大ナルモノトス而シテ又縦隊中ノ一隊ニ生スル延伸ハ假令小ナルモ漸次他ノ諸隊ニ關係ヲ及ホス大ナルヲ以テ諸部隊間ニ一定ノ距離ヲ存シテ之レヲ豫防スルヲ可トス是レ部隊間ニ存スル距離ハ尤モ必要ナル所以ニシテ即チ此部隊間ノ距離ヲ以テ撞着ノ爲メ一時失ヒタル隊列ノ伸縮ヲシテ容易ニ平均ヲ得セシムルモノナリ故ニ此距離ヲ絶エス墨守スルト、絶エス之レヲ廢絶シ或ハ之レヲ短縮スルトハ共ニ許サ、ル所ナリ

行軍長徑計算ノ基準數ハ概テ左ノ如クナルヲ適當トス

- 一人 ○米六〇
- 徒歩一伍 一米三〇(人距離〇米七〇)
- 乘馬 三米五〇(馬四二米五〇)
- 駄馬 四米〇〇(馬四二米五〇)

砲車

豫備品車

豫備砲架

二輪車

輜重車輛

四輪車

一五米七〇(駕馬及砲卒共)

六米

七米一五

(駕馬及距離共)

後方距離左ノ如シ

喇叭手ト隊長トノ間

司令部ノ後方

乘馬將校ト徒步者ノ間

砲車彈藥車ノ後方ニ

歩

五米〇〇

二米〇〇

工 兵中隊後

砲兵中隊段列後

歩 兵大隊

騎 兵中隊

砲 兵中隊

砲兵大隊段列

衛生隊

野戰病院

各兵聯隊

砲兵大隊

彈藥縱列

後ニ

一〇米〇〇

二〇米〇〇

三〇米〇〇

馬廠

旅團

架橋縱列後ニ

六〇米〇〇

糧食縱列

各小(分)隊間ニ

六米〇〇

縱列中

各半縱列間ニ

一二米〇〇

大行李中

同兵種中ノ各單位(中隊、大隊等ノ如シ)間ニ

八米〇〇

步兵聯隊間並ニ異兵種間ニ 一六米〇〇

行軍長徑ヲ精算セント欲セハ戰時編制ニ基キ人馬車輛等ヲ計算セサルヘカラス然レトモ是等ハ機密ニ屬シ吾人ノ知ル所ニアラス
學習上今一師團ノ行軍長徑ハ大略左ノ如ク記憶スレハ可ナラン
前衛步兵ノ先頭ヨリ師團本隊ノ先頭マテノ長徑ト師團本隊ノ先頭

ヨリ同後尾マテノ長徑ハ略ホ同等ナルモノト見做スモ大差ナク即チ各、八、千、米、ト概算シ前衛步兵ノ先頭ヨリ師團本隊ノ後尾迄ハ一、万、六、千、米、ト見做シテ可ナリ
師、團、大、行、李、ハ、約、六、千、米、輻、重、各、梯、隊、ハ、八、千、乃、至、一、万、米、
師團前衛步兵ノ先頭ヨリ輻重梯隊最後尾迄約五、万、米、即チ五十吉米

(約十二里強)

開進トハ縦長ノ隊形ヨリ横廣ノ隊形ニ移ルヲ云フモノニシテ展開ハ集合收縮ノ隊形ヨリ戰鬪隊形ニ横列排開スルヲ云フ
縦、隊、開、進、時、間、ヲ算スルハ最尾ノ部隊先頭ニ達スルニ費ス時間ヲ算スルヲ要ス即チ行軍効程(其三)ノ條ニ於テ示シタル各兵種一分間ニ於ケル歩度ヲ以テ行軍長徑ヲ除セハ以テ開進時間ヲ得ヘシ
師團良好ナル道路ニ於テ前衛步兵ノ先頭ニ開進スルニハ約、四、時、間、ト

算セハ大差ナシ

展開ヲナスニハ命令ヲ以テ展開スヘキ部隊及ヒ其位置、間隔ヲ示スモ
ノニシテ其展開方向ハ通常開進地ヨリ前方ニナスヲ可トス若シ其開
進線上ニ展開スルトキハ全ク側面行進ヲ以テ之レヲ行ハサルヲ得ス
即チ多クノ時間ヲ要シ且ツ危険ナリ
展開ハ情況ニ從ヒ其方法一様ナラスト雖トモ最初ノ展開ニアリテハ
常ニ正面ヨリ、縦長ヲ大ニスルコトハ一般ノ原則ナリ

● 戦闘序列、軍隊區分

戦闘序列ハ作戰ノ目的ヲ以テ兵團ノ編組ヲ定メ統御經理ノ關係ヲ示
シ獨立ノ作戰力ヲ有スル編合ニシテ其要各部隊ヲシテ居常其所屬單

位ト此單位中定規隊形ニ於ケル位置トヲ了知セシメ且ツ命令ノ連繫
ヲ定ムルニアリ即チ敢テ各兵種戰鬥ノ順序ト云フカ如キ意味ニ非ラ
ス蓋シ此ノ戰鬥序列ナル語ハ古ヨリノ沿革ニ由テ漸次其意義ヲ變遷
セシメタルモノ、如シ即チ大古投石機、擲槍機等ノ擲兵隊ヲ第一戰ト
シ接戰隊ノ之レニ續キ進ムカ如ク又印度ニ在ツテハ武裝セハ象隊ヲ
第一戰列トシ徒歩兵隊ヲ第二戰列トセシ如ク次キニ中古歩兵、騎兵、砲
兵ノ順序ヲ以テ戰ニ參與セシメシ等ノ時代ニ於テハ戰鬥序列ナルモ
ノハ所謂戰鬥ヲナスノ序列ト謂フカ如キ意味ヲ有セリ然レトモ今日
ニ在ツテハ全ク其意味異ナリ戰鬥動作ノ爲メニ編組セル一ノ兵團ノ
組織ヲ意味スルニ至レリ故ニ今日ニ在ツテハ戰鬥序列ト云フヨリモ
他ニ適當ノ名稱ヲ撰フヲ可トスレトモ古來ヨリノ習慣上未タ此名稱
ヲ改メス其儘襲用スル所以ナラン

夫レ今日ノ戰鬪ハ往昔ノ如ク各兵種獨立ノ戰列ヲ以テスル動作ヲ許
 サス各兵種長短相補ヒ協同一致所謂各兵種ノ連合配備ナラサルヘカ
 ラス此連合配備ヲナス爲メニハ適當ナル命令ノ連繫部團隊ノ組織ヲ
 要シ此組織ハ平戰兩時同一ナルヲ可トスレトモ是レ行政上種々ノ關
 係ニ由テ之レヲ充足スル能ハス故ニ平時ニ於テハ戰時ニ至リ直チニ
 組織シ得ヘキ戰鬪序列基礎ノ單位ヲ定設ス此單位ニ適當ナルハ師團
 若クハ軍團ナリ而シテ一朝有事ノ日ニ當ツテハ 大元帥陛下ノ勅命
 ニ由テ必要ノ戰鬪序列ヲ定メラルヽナリ

今戰鬪序列ノ意義ヲ更ニ分説スレハ左ノ如シ

- 一 戰鬪序列ハ戰鬪團隊ノ組織統御經理ノ連繫ヲ示スモノナリ
- 二 戰鬪序列ヨリ成ル團隊ハ獨立作戰力ヲ有スルヲ要ス
- 三 一時ノ軍隊區分ヨリナル各兵種ノ若干連合ヲ以テ直チニ一ツ

ノ戰鬪序列ト爲ス能ハス之レ經理給養等ノ諸機關ヲ缺クヲ以
 テ全ク獨立スルニ至ラサレハナリ

- 四 戰鬪序列ハ一兵種ヨリ成ルコトナシ是レ亦獨立作戰力ノ有セ
 サレハナリ

- 五 戰鬪序列ハ大ナレハ數師團ヲ合シ小ナルモ時トシテ師團以下
 ノモノアリ例ヘハ獨立混成旅團ニシテ經理機關及ヒ兵站諸機
 關等總ヘテ獨立作戰ノ要素ヲ充足シアルモノ、如シ

軍隊區分 ハ戰鬪序列ノ儘ニテ爲シ離キ作用ヲ補充スル爲メ或
 ル特別目的ニ因テ編組スル臨時ノ區分ナリ例ヘハ行軍ノ爲メニハ前
 衛、後衛及ヒ側衛等戰鬪ノ爲メニハ右翼隊、左翼隊、及ヒ豫備隊等ノ如シ
 此區分ハ慣習ノ命令連繫ヲ變更セサランカ爲メ勉メテ戰鬪序列ノ紊
 亂セサルヲ要ス換言スレハ建制ヲ破ラサルコトヲ勉ムルナリ

軍隊區分ヲナスニ就キ注意スヘキ件ヲ若干左ニ述ヘン

一、建制ヲ成ルヘク破ラサルコト

二、一團隊ヲ折半スルハ最モ危險ナルヲ以テ須ラク之レヲ避ケサルヘカラス例ヘハ一師團ヲ折半スレハ即チ二半師團トナリ兩方何レモ半派ノ編合ニテ虻蜂トラストナルナリ故ニ一師團ヲ分割スルトキハ甲ハ少々兵力少ナキカ或ハ命令ノ關係惡シキモ之レヲ忍ンテ分割シ其代ハリ、乙ハ甲ノ不完全ヲ補フ爲メ完全ノ團隊タラシムヘシ假令ハ一師團ヲ二縱隊ニ分ツニ當リ甲ハ步兵一聯隊騎兵一中隊砲兵一大隊工兵一中隊ヨリナルモノトシ之レヲ一旅團長ノ指揮ニ屬スルトキハ皆各部隊ヨリ分割セル一部ツ、ノ集合ニシテ不完全ナレトモ其代ハリ乙ハ師團長自ラ師團ノ大部分即チ首力ヲ掌握シ其指揮下ニ步、騎、砲、工兵隊長アリ此各隊長ハ一部ヲ甲縱隊ニ分遣シタ

リト雖トモ猶ホ大部分ヲ掌握シテ此大部分ハ命令ノ連繫一ツモ破ル、所ナク戰鬥力モ強ク團結ヲ維持シ得ル如シ

三、支隊ヲ諸方向ニ差遣スルヲ要スルトキハ必ラス之レヲ諸隊ヨリ取ルヲ良トス一團ノ兵ヲ各離散解シ交戦ノ際諸部隊悉ク團結ヲ保續シ能ハサルカ如ク爲スヘカラス譬ヘハ一師團其正面ト側面トニ於テ敵ノ脅迫ニ會フトキ步兵聯隊ヲ差遣シ以テ其一ヲ前衛ニ任シ他ノ一ヲ側衛ト爲ス此時ニ當リ一旅團中ノ二聯隊ヲ差遣スルハ不可ナリ之レヲ援助スルニ當リ他旅團ノ兵直チニ錯雜混入スルノ弊アリ之レニ反シ兩旅團各其一聯隊ヲ差遣シ此勤務ニ任スレハ交戦ノ際旅團ノ團結ヲ復スルコト容易ナリ陽ニ其團結ヲ分割スルノ觀アルモ却ツテ能ク之レヲ保續スルノ實アリ抑モ團結保續ノ要ハ行軍ヨリ寧ろ戰鬥ノ時ニアリ戰鬥ニ於テ隊次ヲ整頓シ能ク之レヲ統轄

スルハ固ク其團結ヲ保續スルヲ以テ基礎トス
 四、支隊ハ勉メテ其兵員ノ寡少ナルヲ要ス戰時誤ツテ大ナル支隊ヲ出
 スコト甚タ多シ最モ慎マサル可カラス騎兵ニ在テハ特ニ然リ凡ソ
 需要アレハ固ヨリ之レニ應セシムルコト勿論ナレトモ一團隊悉ク
 分解支離スルヲ避クルハ即チ用兵ノ緊要ノ事ナリ
 五、軍隊區分ハ固ヨリ一時已ムヲ得サル必要上ヨリ之レヲ爲スモノナ
 レハ其目的ヲ終リタルトキハ直チニ之レヲ舊團隊ニ復スルコトヲ
 勉ムルヲ要ス
 六、軍隊區分ニ於テ諸兵連合ノ比ハ任務ト地形トニ由ツテ戰術上ノ原
 則ニ從ヒ之レヲ定ムヘキモノトス
 軍隊區分ノ一例ヲ示ス左ノ如シ

軍隊區分

- 獨立搜索騎兵
- 騎兵第何々隊
- 前衛
- 司令官 某
- 歩兵第何々隊
- 騎兵第何々隊
- 砲兵第何々隊
- 工兵第何々隊(何隊缺ク)

右(左)側衛(支隊)

司令官 某

步兵第何々隊

騎兵第何々隊(何隊缺ク)

工兵隊何々隊

本隊同シク行軍序列)

騎兵第何々隊

步兵第何々隊(何隊缺ク)

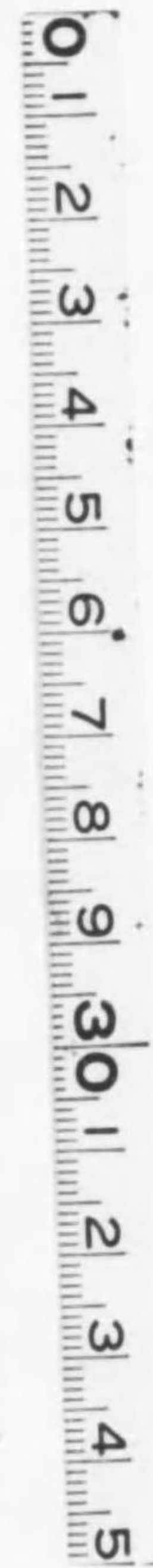
砲兵第何々隊(何々隊缺ク)

步兵第何々隊

工兵第何々隊(何々隊缺ク)

衛生隊

架橋隊列
衛



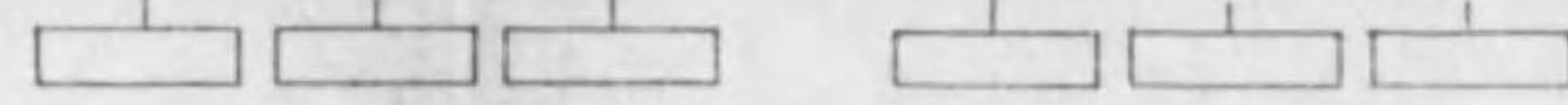
某軍第何師團戰關序列

步兵第何旅團 步兵第何旅團

第何聯隊 第何聯隊



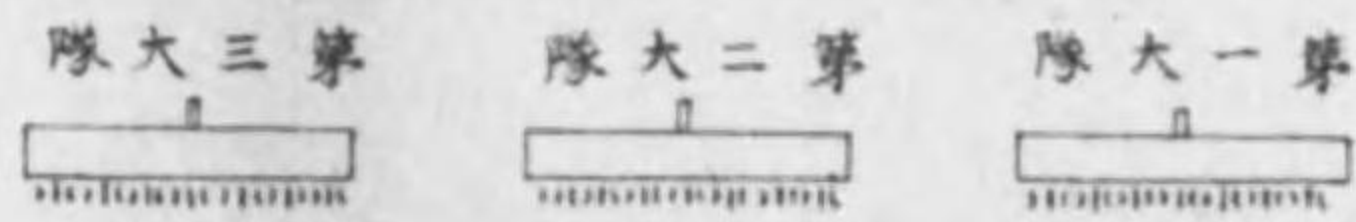
第何聯隊 第何聯隊



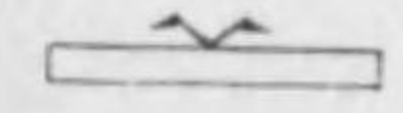
騎兵第何聯隊



野戰砲兵第何聯隊



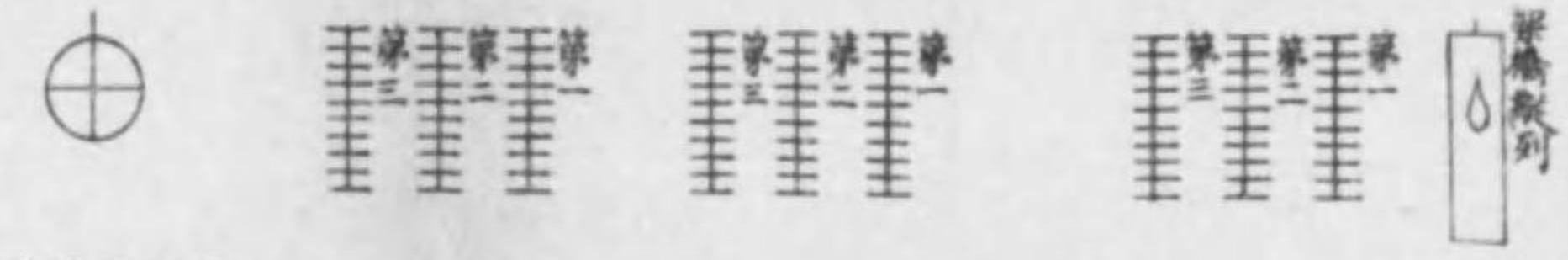
工兵第何大隊



師團輜重

彈藥大隊 輜重兵大隊

步兵強藥隊 砲兵強藥隊 糧食隊 馬房



野戰電報隊



野戰醫院 野戰醫院 野戰醫院 野戰醫院



衛生隊



兵站 兵站
兵站輜重 兵站部員

備考
各團隊號ノ下ニ其團隊指揮官ヲ記スル方式モアリ
騎砲工隊標ハ中隊ノ數ヲ明瞭ナラシムル如ク各中隊ノ數大ケ隊標ヲ記ス
此ニ記載セル者ハ眞ニ戰關序列記載方ノ一例ニ過キス隊標數ノ如キハ隨
意ニ決定シタル者ニ過キス

● 戦時給養

戦時給養ハ帥兵術中ノ一大問題ニシテ戦況困難ノ時ハ殊ニ然リ疾病
減員ハ主トシテ給養ノ不足ナルト、健康ニ適セサルト食品其人ニ慣レ
サルトニ由ルモノニシテ其夥シキコト激戦ニ於ケル死傷減員ヨリモ
遙カニ多キコト通例ナリ

夫レ戦時兵隊ヲ給養スルノ所置宜シキヲ得ルト得サルトハ大ニ作戦
ノ運命ヲ左右スルモノニシテ將帥タルモノハ巧ミニ有ラユル給養諸
法ヲ應用シ苟クモ缺乏ヲ訴フルコトナカラシムルハ實ニ重要ナル責
任ナリ

糧、ハ、其、地、ニ、因、ル、ト、ハ、古、來、ノ、原、則、ニ、シ、テ、蓋、シ、現、品、ヲ、後、方、ヨ、リ、輸、送、ス、ル、

ハ唯ニ繁勞ナルノミナラス戰況ニ因ツテハ全ク實施スル能ハサルコトアレハナリ左ノ如キ場合ニ於テハ給養ノ困難ヲ感スル殊ニ著シキモノニシテ此際ニ於テ軍ノ運動ヲシテ支障ナカラシメント欲セハ先ツ萬事ヲ措キテ第一ニ給養ノ方法ヲ顧慮セサルヘカラス

- 一 後方ノ連絡斷絶シ且ツ一地ニ永ク滯陣スルトキ
- 二 人民貧窶ニシテ且ツ稀疎ナル地方ニ於ケル運動戰ノトキ
- 三 大軍ヲ以テ道路惡シキ山地ニ戰爭スルトキ

戰時戰列兵ノ糧食ハ一日ノ量精米六合食鹽九匁梅干及ヒ魚菜若干トス又馬匹一日量ハ麥五百秭一貫五百目藁一貫目トス

戰時ノ給養法ハ宿舍給養、倉庫給養、徵發給養、縱列給養、携帶糧秣給養ノ五種トス

其一 宿舍給養

宿舍給養ハ兵隊ノ爲メニ最良ノ給養法ナリ然レトモ廣キ舍營ニシテ且ツ駐留ノ時日短少ナル時ニ非ラサレハ之レヲナスヲ得ス

宿舍給養ニ二種アリ甲種宿舍給養、乙種宿舍給養是レナリ

甲種宿舍給養(舍主炊爨)

此法ハ宿主ヲシテ給養ヲ擔當セシメ

其供饌ヲ受クルモノニシテ兵隊ハ行軍ヲ終リ舍營ニ就ク時食事ノ準備既ニ整頓ス假令否ラサルモ兵隊ハ其準備ニ關與スルコト少ナクシテ可ナルヲ以テ兵隊ヲ休養スルニハ尤モ便利ナリ然レトモ其食餌ハ地方ノ狀況ト其時ノ情況トニヨリ定量ヲ減セサルヲ以テ満足セサルヘカラス

舍主若シ膳部ノ器具ヲ有セサル時ハ兵卒各自ノ食器又ハ竹ノ皮包ミ等ヲ以テ之レカ供給ヲ受ケシム

乙種宿舍給養(部隊自炊)

此ノ法ハ通常密集セル舎營ニ用ユル

モノニシテ部隊ハ其携行スル炊爨具若クハ地方ノ炊爨具ヲ用ヒテ自炊シ而シテ其糧米ハ左ノ方法ニ由テ調達ス

- 一 地方ニ於テ購買ス此ノ法ニ由ルトキハ假令敵地ニ於テモ隱匿セル多量ノ物資市上ニ現ハレ實効ヲ見ルコト案外ニ安キコトアリ

- 二 地方官衙ヨリ供給セシム

- 三 各戸人民ヨリ供給モシム

右ノ如クシテ得ル所ノ糧米ヲ待ツテ部隊自炊スル時ハ兵隊喫食ノ時間大ニ遅延シ且ツ軍隊カ日々到着迄ニ達スルハ通常遅キヲ以テ先ツ大行李ニ携行スル所ノ糧米ヲ炊爨セシメ以テ速カニ食事ノ分配ヲ勉メ而シテ其地ニ於テ得タル糧米ハ翌日ノ携行糧米トシテ大行李ニ補

充スルヲ便トス

其二 倉庫給養

倉庫給養ハ一地ニ倉庫ヲ設ケ此ニ糧食ヲ貯集シ以テ軍隊ニ分配給養スルナリ此倉庫ノ糧食ハ左ノ法ニ由テ調達ス

- 一 近傍ノ市府ヨリ購買ス

- 二 徵發ニ由テス

- 三 地方官衙ニ命シテ供給セシム

- 四 背後ノ輸送ニ由テス此方法ハ背後連絡線良好便利ニシテ殊ニ鐵道ヲ有スルトキハ尤モ容易迅速ニ數十万ノ軍隊ヲ供給スヘキ糧食ヲ貯積シ得ヘシ

倉庫給養ヲ施行スヘキ時機ハ概テ左ノ如シ

- 一 軍隊一地ニ永ク駐留スルトキ
- 二 軍隊寒村僻地ヲ通過スルトキ其宿營地ノ資物不足スルトキ豫
メ其地方ニ倉庫ヲ設ケ之レヲ補助ス
- 三 糧食縦列及ヒ諸隊ノ携帶糧秣ヲ補充スル爲メ野戰軍ノ近傍ニ
倉庫ヲ設ケ各隊ニ補充ス

倉庫ノ設置ハ一定ノ日數ヲ限リ舍營地ノ近傍ニ定置シ否ラサルモ舍
營地ヲ距ルコト大約十二、三、里ヲ超過スヘカラス是レ各部隊其所
屬ノ駄馬ヲシテ糧秣領收ノ爲メ一日間ニ往復シ得セシメン爲メナリ

其三 徵發給養

徵發給養ハ地方ヨリ糧食ヲ徵集スルモノニシテ大縱隊ニ在ツテハ富
饒ニシテ未タ他隊ノ徵集ニ應セサル所ノ地方ニ於テノミ施行シ得ヘ

ク又駐留ノ舍營ニ在ツテハ此法ヲ用ユルヲ得ス是レ其地方ノ資物ヲ
皆無ニ屬スルノミナラス到底其局地方ノミニ於テ満足スル丈ケノ物
資ヲ徵集スル能ハサレハナリ

徵發法ヲ分ツテ官憲徵發、部隊徵發ノ二種トナス

官憲徵發

ハ司令官其監督部長ヲシテ一定ノ地ニ於テ糧秣ヲ徵
發セシメ而シテ之レヲ各部隊ニ分配スルモノトス此法ハ軍紀ヲ紊サ
ス正實ニ爲シ得ルヲ以テ成シ得ル限リハ此徵發法ニ由ルモノトス

部隊徵發

ハ軍隊自ラ徵發ヲ行フモノニシテ此法ハ動モスレハ
奪掠ニ流レ軍紀風紀ヲ紊亂スルヲ以テ万已ムヲ得サル時ニ非サレハ
之レヲ行フコトナシ而シテ之レヲ行フ時ニハ各部隊ニ徵發スヘキ一
定ノ地域ヲ失シ其限界ヲ明カナラシムルヲ要ス

一般ニ徵發權ヲ有シ徵發命令ヲ出シ得ルモノ左ノ如シ

陸軍大臣

軍司令官

師團長(師團カ獨立セルトキカ或ハ軍司令官ヨリ特ニ分任セラレタルトキ)

特ニ獨立任務ヲ帶ヒテ派遣セテレタル獨立隊長

其四 縦列給養

縦列給養ハ軍隊携行スル所ノ縦列ニアル糧食ヲ以テ軍隊ヲ給養スルモノニシテ此給養ヲ用フルハ概ネ左ノ場合トス

- 一 宿舎給養ヲ行ヒ難キトキ
- 二 地方ニテ供養スル物資ノ不足ヲ充タスノ途ナキトキ
- 三 近傍諸村ニ賦課シテ物資ヲ得ルノ途ナキトキ

四 他ノ給養法ヲ施スノ餘裕ナキトキ

抑モ軍隊携行セル所ノ糧食縦列ハ非常ノ場合ニ於ケル豫備ニシテ案リニ使用スヘキモノニアラス之レヲ用フル場合ニ於テモ縦列ハ遠ク後方ニ在ル故多クハ先ツ大行李ノモノヲ使用シ而シテ第一梯隊進ンテ大行李ヲ補充シ此補充終リ空虛トナリタルモノハ直チニ第二梯隊ニ至リ補充ヲ受クルモノトス第二梯隊ノ補充ハ倉庫ノ補充法ト同一ノ手段ニ由ル但シ尋常ノ場合ニ於テハ兵站糧食縦列ノ運搬ニ由ツテ兵站地ニ設クル倉庫ヨリ補充セラル、モノトス

其五 携帶糧秣給養

携帶糧秣給養ハ各人自ラ携帶セル食品ヲ以テ給養スルモノナリ此携帶糧秣ヲ貯存スルノ必要ハ糧食縦列ノモノヲ貯存スルノ必要ヨリハ

一層緊要ナルモノニシテ之レヲ用フルハ如何ナル給養法モ爲ス能ハ
 スシテ万々已ムヲ得サルノ時機ニ於テスルノミ而シテ之レヲ用ヒタ
 ルトキハ速カニ糧食縦列ヨリ之レヲ補充スルヲ要ス
 携帶行口糧一日分ハ精三合、燒鹽若干トシ又時トシテハ乾麵麩或ハ精
 米ヲ以テ代ユルコトアリ
 携帶馬糧一日分ハ玄米二升五合トス

● 戰時衛生

軍人ノ健康ヲ保護スルハ經理官及ヒ隊長ノ要務トス諸戰役ニ於ケル
 實見ニ徴スルニ軍中病者ノ數ハ戰鬪ニ由テ生スル死傷者ヨリモ遙ニ
 多シ意ヲ衛生ニ用ヒテ軍隊ヲ保護スルハ勝利ヲ收ムルノ基本ナリ

戰時衛生ノ機關中其野戰隊ニ屬スルモノハ隊附醫官、衛生隊、野戰病院、
 トス而シテ猶ホ後方勤務ニ於ケル衛生事業ハ兵站病院、戰時定立病院、
 豫備病院等ノ諸機關ニ由ツテ施行セラル
 戰鬪間ニ在ツテハ隊附醫官ノ一半(新參ノ者)ハ戰鬪線ニ至リ看護長及
 ヒ看護手ヲ指揮シ傷者ヲ搜索シ補助擔架卒(衛生隊ノ擔架卒到着スレ
 ハ之レト交代シ原隊ニ歸ルヲ普通トス)ヲシテ繃帶所或ハ假繃帶所ニ
 運搬セシム隊附醫官ノ他ノ一半(高級古參ノ者)ハ假繃帶所ヲ設置シ傷
 者ヲ收容シ救急法ヲ施行ス而シテ衛生隊カ到着シテ繃帶所ヲ開設ス
 ルニ至レハ之レト合併ス但シ戰線ヨリ繃帶所ニ傷者運搬ノ不便ナル
 トキハ中間ニ此假繃帶所ヲ存置スルコトアリ
 開戰ニ當ツテハ師團軍醫部長ハ繃帶所及ヒ野戰病院ノ設置ニ關シ師
 團長ニ意見ヲ具申シ其命ヲ受ケテ之レヲ實施セシム而シテ師團長ハ

其位置ヲ部下諸隊ニ布達ス
衛生隊戰場ニ到着スレハ通常一個ノ繙帶所ヲ設置ス然レトモ師團ノ
戦闘地廣濶ナルカ或ハ師團二分シテ戦闘スルトキハ二個ノ繙帶所ヲ
設置スルコトアリ

衛生隊カ繙帶所ヲ開設スルニ當ツテハ衛生隊ニ屬スル擔架卒ノ一部
ハ戦闘線ニ進ミ要スレハ各部隊ノ補助擔架卒ト俱ニ傷者ヲ繙帶所ニ
搬送シ他ノ一部ハ又之レヲ野戰病院ニ搬致ス
繙帶所ノ位置ハ左ノ要件ニ準シテ撰定スヘシ

- 一 戦線ニ接近スルヲ要スト雖トモ亦銃砲火ノ危害ヲ蒙ラサルコト
- 二 其所在ノ認識容易ナルコト
- 三 傷者ヲ運搬スルニ便ナルコト

四 其近傍ニ清水アルコト

五 降雨、烈風、炎熱ニ對シ掩蔽セラルコト

六 傷者ヲ收容スルニ適當ナル場所アルヲ要ス

繙帶所ハ兵隊前進スルニ當ツテハ速カニ之レニ跟随スルヲ要スルヲ以テ成ルヘク速カニ傷者ヲ後方ニ搬致シ常ニ發途ノ用意ナルヘカラス若シ傷者ノ數夥多ニシテ悉皆之レヲ後方ニ運送シ能ハサルトキハ少ナクモ其一半ヲ搬送シ爲メニ空手トナリシ衛生隊ノ半部ハ兵隊ト共ニ前進シ得サルヘカラス
重傷者ハ一旦繙帶所ニ於テ救急法ヲ施シ之レヲ後送スト雖トモ輕傷者ニ在ツテハ直チニ野戰病院若クハ其後方ニ至ラシムルモノトス
繙帶所若シ敵ノ脅迫スル所トナリ敵ノ捕獲ヲ避ケ能ハサルトキハ醫長ニ命令ヲ下シ醫官及ヒ助手中所要ノ人員并ニ治療ノ要品ヲ殘置シ

赤十字條約保護ノ下ニ在ツテ傷者ヲ看護セシム
野戰病院ハ別シテ輻重第一及ヒ第二梯隊中ニアルヲ常トス然レトモ
開戦ヲ豫期スルトキハ第一梯隊ノ病院ハ大行李ノ所ニ進ミアルヲ利
トス夫レ隊附醫官并ニ衛生隊ノ主務ハ救急ノ事ニ從ヒ一時傷者ノ看
護ヲナスニ止マル故其長時間ヲ要スル傷者ノ治療ハ野戰病院ノ任ス
ル所ナリ

野戰病院ハ衛生隊ノ傷者及ヒ戰線ヨリ直チニ來ル傷者ヲ收容シ又之
レヲ暫時看護ノ後後方兵站病院ニ搬送ス師團長前進スルニ當リテハ
兵站部ニ在ル衛生豫備員及ヒ衛生材料ヲ以テ野戰病院ヲ交代シ速カ
ニ師團ニ跟随セシム而シテ其交代シタルモノハ之レヲ戰地定立病院
ト稱ス

野戰病院ヨリ後方ノ傷者運搬ハ徵發ノ人馬材料ヲ以テス擔架卒不足
ナルトキハ野戰病院ヨリ前方ノ運搬モ亦タ徵發人馬材料ヲ以テ之レ
ヲ補助ス

兵隊一地ニ永ク駐留スルトキハ特ニ舍、營、病院ヲ設クルコトアリ
野戰病院ヨリ後方ノ衛生事務ハ概ネ兵站事業ニ關スルモノナルヲ以
テ此件ハ別冊ヲ以テ更ニ説ク所アルヘシ但シ今其關係ヲ明瞭ナラシ
ムル爲メ一般ノ大要ノミヲ左ニ掲ク

兵站病院ハ戰鬪地直後ニ在ルモノ及ヒ兵站管區内ニアルモノヲ收容
シ其職員ハ衛生豫備員又ハ特志看護者ヲ以テス

豫備病院ハ平時ノ衛戍病院ヲ擴張スルカ或ハ特ニ之レヲ設ケ戰地ヨ
リ後送スル患者收容スルモノニシテ通常本國ニ設クルモノトス
兵站線路ニ於ケル患者輸送ノ事務ハ患者輸送部之レヲ司ルモノトス
戰時衛生部ノ位置ハ赤十字條約ニ由テ中立タルノ徽章トシテ國旗及

ヒ赤十字ノ標旗ヲ立テ夜間ハ更ラニ赤色ノ燈ヲ掲ク又衛生部ノ人員及材料ハ白地ニ赤十字ヲ畫ケルモノヲ附着シ以テ中立ノ徽章トナス但シ補助擔架卒ハ赤布ヲ右腕ニ帶フレトモ中立ノ資格ヲ有スルモノニ非ラス

●命令

〔精細ノ實例ハ下卷ニ於テ想定ヲ設ケテ適切對照説明スル所アルヘシ〕

其一 總說

命令ハ司令ノ權ヲ有スルモノヨリ出スモノニシテ乃チ作戰ノ基礎ナリ作戰成績ノ可否ハ實ニ命令ノ可否ヲ證明スル鏡影ナリ凡ソ命令ヲ下スノ困難ナルハ之レヲ服行スルノ比ニアラス曖昧ニシテ誤解セラレヘキ命令ハ必ラス誤解セラレ嚴格ナラサル命令ハ動モスレハ下命

者ノ威嚴ヲ失フニ至ルヘシ必竟命令ハ號令ノ長キモノニ過キス活音、單簡嚴確ヲ以テ號令スルト同様、命令ニ於テモ單簡明瞭嚴確且ツ意志ノ徹底完全ナラサルヘカラス夫レ號令號音ハ密集小部隊ヲ指揮スルモノニシテ豫メ之レヲ規定シ得ルト雖トモ大部隊ニアリテハ到底號令號音ノミヲ以テ指揮スル能ハス蓋シ其指揮セントスル事件ハ小部隊ノ運動ニ於ケル如ク單一ナルモノニ非ラサルヲ以テ豫メ之レヲ規定シ得サルノミナラス聲音モ亦タ普及セサルヲ以テナリ爰ニ於テカ命令ノ必要ヲ生スル所以ナリ
命令ノ性質夫レ斯クノ如シ其命セントスル事ハ情況ニ應シ千種萬別豫メ一定ノ方式ヲ定ムル能ハス適切ノ時機ニ於テ迅速適當ニ完全ナル命令ヲ下スハ實ニ天稟ト習練ニアルモノトス
命令ハ作戰ノ目的ヲ達スル爲メ受令者ノ自ラ所斷スル能ハサル事項

ヲ指示スルモノニシテ其實行手段ハ受令者ニ一任スルヲ常トス豫メ諸般ノ戰況ヲ憶測シ細カニ之レニ應スル方法ヲ定ムル如キハ到底實行出來サルノミナラス偶以テ下令者カ憶測シタル情況ニ反スル狀態ヲ呈スルニ際シテハ先キニ命シタル事ハ齟齬シテ實施スヘカラス遂ニ不嚴格ナル命令トナリ下令者ノ威信ヲ損スルニ至ルモノナリ乃チ下令者ハ宜シク自己ノ意圖ヲ明示シ不時ニ現出スル諸般ノ情況ニ際シテハ受令者ニ獨斷ノ餘地ヲ與ヘ作戰一般ノ目的ヲ誤ラス下令者ノ意圖ヲ實行スルヲ以テ満足セサルヘカラス例外ノ場合ニ於テハ多少其ノ實行手段ヲ牽束スルコトアルモ細事ニ至ルマテ檢束スルトキハ受令者ハ其能力ヲ發揚スルニ餘地ナク兵力ハ萎靡スルニ至ルヘシ要スルニ關涉ニ過クレハ兵隊活氣ヲ失ヒ機先ヲ制スル能ハス放任獨斷ニ委スルコト其度ニ過クレハ往々兵力分離ニ至リ或ハ下令者ノ

意圖ニ反スル所置ヲナスニ至ルヘシ即チ此ノ關涉ト獨斷ノ餘地ヲ與フルトノ限界ハ甚々難キモノニシテ恰モ琴糸ヲ張ルカ如シ宜シク寬嚴其度ヲ得サルヘカラス必竟スルニ下令者ハ受令者ノ能力ヲ發揚セシムルニ足ルヘキ獨斷ノ餘地ヲ鑑ミ受令者ハ下令者ヨリ委セラレタル獨斷ノ餘地ヲ以テ專恣ノ誤用ニ陥ルコトナキニ注意セサルヘカラス

命令緩嚴ノ度ハ固ヨリ戰況任務地形等ニ應シテ差異アレトモ猶ホ左ノ諸件ヲ顧慮シテ斟酌セサルヘカラス

- 一 受命者ノ才能ニ應スルコト即チ有爲顯智ノ者ニハ獨斷ノ責任大ナルヲ得セシムルヲ得レトモ小心機先心ニ乏シキ者ニハ多少精密懇篤ニ關涉的指示ヲ要スルカ如シ
- 二 受命者ト下命者トノ所在地ノ關係即チ距離遠キニ從ツテ下命

者ハ屢々命令ヲ與フルコト能ハサルヲ以テ獨斷ヲ許スモ亦大ナラサルヘカラス

三 比隣部隊ト共同一致ノ動作ヲナサシムル爲メ之レニ要スル前限ノ如何

命令ノ下達ニ於テ常ニ記憶スヘキ原則左ノ如シ

- 一 單簡ナリト雖モ完全ヲ缺クヘカラス冗長ナレハ常ニ其要領ヲ得サルモノトス然レトモ必要ノ件ヲ確實ニ明示スル爲メ文字數ノ夥多ナルヲ以テ直チニ以テ之レヲ冗長ト誤解スル勿レレ必要ノ言辭ヲ省クハ是レ冗長ヲ防キ單簡ナラシムル所以ナリ一意單簡ヲ希望スルノ餘リ却ツテ必要ノ文字迄省略スルニ至リ不完全不明瞭ノ誤リニ陥ル勿レ
- 二 到低實行ナシ難キ事ヲ要求スルハ不嚴格不信用ノ命令トナリ

軍紀ヲ紊スノ基ナリ故ニ下令者ハ果シテ幾何ノ程度迄ハ要求ヲ爲シ得ルヤヲ慎重ニ考慮セサルヘカラス

三 曖昧ナル指命ハ受命者ヲシテ其方針ニ迷ハシムルモノナリ故ニ受命者ヲシテ實施セシメント欲スルコトハ明瞭ニ之レヲ指示シ而シテ又一旦命シタル上ハ嚴ニ之レヲ實施セシメ少シモ寬假スル所ナカルヘシ

四 命令ハ時機ト場合ニ應シ緩急其事項ヲ斟酌セサルヘカラス事急ニシテ細部ヲ命セハ大ニ其遲緩ノ恐アルトキ假令ハ進撃退却ノ場合ニ於テハ必要ナル事項ノミヲ尤モ速ニ命セサルヘカラス

凡テ命令ハ各司令部ニ於テ自ラ之レヲ作り其目的ニ適スル如クシ明瞭ニ必要ノ事件ノミヲ示スヲ要ス高等司令部ヨリ受ケタル命令ヲ其

儘ニ部下ニ轉達スル如キ或ハ高等司令部ノ命令ニ自己ノ意見ヲ附シテ其部下ニ與フル如キハ不可ナリ是レ蓋シ命令ハ各其受令者ニ適當スル如ク作ラレアル者ニシテ甲ノ受令者ニ適當スル命令ハ乙ノ受令者ニ適當セシムル能ハス之レヲ例セハ師團司令部ヨリ旅團ニ下ス命令ハ旅團長カ任務履行ニ適當ナル如ク命令カ作ラレアリ此命令ヲ聯隊長ニ與ヘタラハ聯隊長任務履行ノ爲メニ適切必要ナル事項ノ指示ハ不完全ニシテ反ツテ不必要ノ指示多キナリ故ニ旅團長ハ更ニ此師團命令ニ由テ自己ノ任務ト其任務履行ノ手段ヲ考ヘ此考ヘニ基キテ各聯隊長ニ必要ノ命令ヲ與ヘサルヘカラス又旅團長カ師團命令中ニ指示シアル事項ニ對スル意見ヲ彼此説明シタル命令ヲ發スヘキモノニアラス旅團長ハ自己ノ所信解釋ニ從ツテ部下ニ任務ヲ課シ之レヲ指揮スレハ足レリ部下ハ唯々是レ命是レニ從フヘキモノナリ決シテ

意見ヲ陳述シテ部下ニ示スノ必要ナシ今戰史ニ例スルニ千八百七十年八月十三日即チコロンベール戰鬪ノ前日モルトケ將軍ハ大本營命令ヲ發シタリ此命令ハ第一第二兩軍ノ區署ニ關スル者ニシテ其中第一軍ニ關スル事項ハ左ノ要旨ナリシ

第一軍ハ現在ノ地附近ニ停止シ前衛ヲ派遣シテ敵兵ノ進退如何ヲ監視シ又敵カ南方即チ第二軍ノ方向ニ突進スル場合アラハ側面攻撃ヲ以テ之レヲ防止スヘシ

右ノ如キ要領ヲ意味セル命令ヲ受ケタル第一軍司令官ハ別ニ第一軍命令トシテ此任務履行ニ適スル所要ノ事項ヲ各部隊ニ命令スヘキ軍命令ヲ作り以テ部下ニ與フルコトナク唯々大本營命令ヲ其儘ニ紙末ニ於テ諸隊ハ今日其陣地ヲ停止スルヲ要スルナラント云フ一語ヲ附シテ部下ニ與ヘタリ是レ甚々誤レルモノト云フヘシ

大部隊ニ在ツテハ軍隊ノ直接進退ニ關スルコトヲ命スルハ概ネ師團命令ヲ以テ基礎トナスモノトス夫レ師團ハ會戰單位ナリ軍ハ作戰單位ナリ即チ大部隊ニ於テ最高等司令部ノ指揮ハ戰略上ノ統帥ニシテ戰術上軍隊ノ各進退ヲ逐一命令スヘキモノニアラス否ナ大軍ニ在ツテハ煩雜ニシテ悉ク命令出來サルナリ即チ軍隊ノ進退ハ最大限ニ於テ師團命令ニ由ツテ初メテ指揮セラル、ナリ即チ師團命令ヲ基礎トシテ之レニ由ツテ各團隊各目的ニ適スル如ク進退ヲ命令スヘキナリ故ニ約言スレハ師團命令ニ由ツテ軍隊ノ進退基礎ハ定マルナリ命令ハ指揮官ニ直屬スルモノニ下スヲ通常トス然レトモ事急ナルトキハ順序ニ因ラス直チニ中間受令者ヲ超ヘテ下命スルコトアリ然ルトキハ此旨ヲ中間直屬受命者ニ通報ス

師團司令部ノ自ラ命令ヲ下スハ通常左ノ各隊トス

步兵兩旅團、騎兵聯隊、砲兵聯隊、工兵大隊、衛生隊、大行李、輜重、其他前衛、側衛、側支隊等軍隊區分ニ由ツテ成立セル部隊

高等指揮官ノ軍隊統御上ニ關シテ下ス所ノ命令ハ筆記スルヲ定規トス

戰時用フル所ノ命令ハ之レヲ分ツテ二種トナス曰ク作、戰、命、令、曰ク日、々、命、令、是レナリ

日、々、命、令、ハ軍隊ノ内務、人事等直接作戰ニ關係セサル命令ニシテ某師團日々命令、某旅團日々命令トシ作戰命令ト區分スルモノトス

作、戰、命、令、ハ作戰ニ關スル命令ニシテ各司令部ノ部名或ハ軍隊區分ヨリナリタル部隊ノ名稱ヲ冠シ之レヲ區別ス發令ノ月日時時刻發地等ハ某團又ハ某部隊命令ノ下ニ細記スルヲ常トス

作戰命令ニハ合同ノ命令ト各別ノ命令トノ二種アリ合同ノ命令ハ同

一ノ命令ヲ各部隊ニ知得セシムルモノニシテ部下諸團隊ニ連合ノ動作ヲ命セントスルトキハ之レヲ用ユルヲ可トス蓋シ各隊ノ特別任務ヲ各指揮官皆知悉スルノ益アレハナリ而シテ之レヲ下ニス二法アリ一ツハ諸團隊ノ副官ヲ召致シテ之レヲ筆記セシムルナリ一ハ各指揮官ヲ會合シテ之レニ口達スルナリ各別命令ハ各部隊各個ニ所要ノ件ヲ命スルモノニシテ之レヲ筆記スルモ迅速ニシテ又口達スルモ簡短ナルノ便アリ

作戰命令ハ口達ト筆記トヲ論セス左ノ事項ヲ明示ス

- 一 敵狀 (但シ授受令者ノ爲メニ緊要ナルモノノミ)
- 二 我軍目的ノ大要 (之レ部下指揮官ヲシテ我軍ノ目的ヲ標準トシ且ツ實況ニ應シ獨立動作スルコトヲ得セシメンカ爲メナリ但シ受令者ニ傳フルヲ要スル事ノミ)

三 軍隊區分ニ由テ成立セシ各部隊ノ任務

四 大行李輻重ニ關スル件 (但シ軍隊ニ關シ必要ナル事項ノミトス又特別ナル訓令(倉庫ノ交通等ノ事ニ關シ)ハ只タ之レニ關係アルモノ、ミニ類與スヘシ)

五 運動發起ニ當ツテ發令者ノ位置 (報告ノ來達ヲ便ニスル爲メナリ)

此他命令者ハ終末ニ署名ス署名ナキ命令ハ無効ナルモノトス臨時退却ノ命令ハ一般ノ志氣ヲ沮喪セシメサル爲メ關係アル指揮官ノミ竊ニ分與スヘシ
小部隊ニ在ツテハ概ネ單簡ナル事ヲ命スルノミニシテ時間モ掛ラス各部隊ヲ集合シタル時ニ於テ隊長カ直接ニ口達スルヲ迅速便宜トス故ニ唯タ集合ニ關スル時刻地點等ヲ豫メ命令シ置ケハ足レリ

電信命令ハ尤モ簡單ニシテ無用ノ尊稱等ハ之レヲ省クモ妨ケナシ
命令中ニ示ス敵狀並ニ我目的ハ受令者ノ或ル情況ニ於テ獨斷ヲナス
ノ基礎トナリ又比隣部隊ノ任務ヲ知ラシムルハ協同一致ノ動作ヲナ
スニ必要ナルモノナリト雖トモ是等ハ唯タ必要ノ件ノミニテ足ルモ
ノトス若シ悉クノ情況ヲ示ストキハ徒ラニ命令ヲ冗長スルノ嫌ヲ生
スヘシ

凡ソ命令ヲ發達スルハ其司令部ニ宛ツルヲ法トス若シ官姓名ヲ以テ
スルトキハ其人不在ナレハ他人之レヲ披閱スル能ハス遂ニ其期ヲ誤
ルコトアルヘシ
軍隊區分ハ命令詞ト判然區別スルヲ可トス其區分中ニハ各兵種ヲ揭
ケテ明記スヘシ

例外ノ場合ニ於テ筆記命令中直チニ行軍序列ノ指示ヲ要スルトキハ

行軍序列ノ順序ニ從ツテ軍隊ヲ記載スヘシ然ルトキ軍隊區分若クハ
本隊ノ題語ノ下ニ同ク行軍序列ノ六字ヲ附記シ之ニ括弧ヲ加ヘ以テ
明瞭ナラシムヘシ

軍隊區分ナル題語ノ下ニ同ク行軍序列ナル大字ヲ附加スルトキハ軍隊區
分ヨリ成立スル各部隊ニマテ行軍序列ヲ命スル譯トナリ即チ命令ノ關係
上各部ニ干涉シタル如キ譯トナリ或ハ難問或ハ辯論アレトモ必竟意義ヲ
狹義ニ解釋シタルモノニ過キス我業務令ノ精神ハ狹義ニアラス廣義ナリ
何レノ場合ニモ其範圍廣ク應用ノ餘地ヲ與フルモノニシテ決シテ統帥者
ヲ束縛セス故ニ之レカ解釋モ亦タ容易ナルモノニシテ即チ指揮官ハ時ト
シテ時ノ情況ニヨリ各部隊ニ干涉シテ行軍序列ヲ命スルノ必要モアルヘ
ク蓋シ此干涉ハ餘程己ムナ得サル場合ニテ普通爲スヘキモノニアラスト
スルモ尙ホ其他ニ必要ノ場合アルヘシ假令ハ軍ノ集中等ニ當ツテ警戒法
ヲ設クス旅次行軍ノ如キ有様ヲ以テ行軍スル時ハ警戒ノ目的ニアラス唯
タ行進ノ便利ヲ圖リ左ノ如ク軍隊ヲ區分シ其行軍序列ハ皆指揮官ヨリ命
スル等ノコトアルヘシ

軍隊區分(同ク行軍序列)

第一梯團(或ハ第一縱隊)

騎兵何々

歩兵何々

第二梯團(或ハ第二縱隊)

歩兵何々

砲兵何々

其二 行軍命令

行軍命令ハ戰爭中屢下スモノニシテ最緊要ナルモノナリ

敵軍ノ動靜我兵ノ行軍ニ影響ヲ及ホサ、ル狀況ニ在ツテハ司令官ハ
 數日間連用スヘキ行軍諭示ト行軍豫定表トヲ下ス之レニ反シテ敵前
 ニ於テハ日毎ニ運動ヲ指示命令ス
 行軍ノ際分離セル兵團ニ干涉スルハ困難ニシテ又時間ヲ空費スルノ
 害アリ故ニ分離ノ始メニ於テ敵狀、我目的並ニ任務ヲ明示シ置クヲ要
 ス、長時日分離スル時ノ如キハ要スレハ訓令ヲ以テ精細ノ諭示並ニ司
 令官ノ希望ヲ述フルモノナリトス
 到着迄ニ達スル前途中ニ於テ眞面目ノ敵軍ニ衝突スヘキ兵團アルト
 キハ或ハ戰鬪ヲ以テ前路ヲ開キ行軍ヲ完成スヘキヤ或ハ戰否ヲ其指
 揮官ニ委任スルヤ或ハ斯ノ如キ戰鬪ヲ避クヘキヤノコトヲ命令中ニ
 明載シ一點ノ疑ナキヲ要ス
 至大ノ戒慎ヲ要シ或ハ後次ノ報告ヲ待ツ等ノ如キ特別ノ場合ニ於テ

行軍ノ一部ノミ施行セント欲スルトキハ總軍ヲ某線上迄進メ或ハ各兵團ヲ某地點迄進メ其地ニ留マツテ後命ヲ待タシムルコトアリ但シ若シ命令來ラサレハ各指揮官ノ意見ヲ以テ進止ヲ決スルノ自由ヲ得ヘキ時限ヲ確定スルヲ肝要トス

假令ハ何時迄某所ニ停止シ別命ナケレハ再ヒ前進シ得ヘシト云フカ如シ

敵前ニ於テ各師團ヲシテ相關係シテ後進セシムルコトヲ要スルトキハ其各兵團ニ出發ノ時刻ト地點ヲ確示スルヲ要ス而シテ之レヲ示スニハ其兵團ノ前衛若クハ本隊ノ先頭ノ出發時刻ト地點トヲ掲グルヲ長トス斯ノ如クスレハ其兵團ノ指揮官ハ行軍縱隊ヲ編組シ並ニ之レヲ準備セシムルニ完全ノ自由ヲ得ヘシ

假令ハ何隊ハ何時其先頭ヲ以テ何點ヲ出發シ何隊ノ後方ニ隨行ス

ヘシ(或ハ又何方向ニ前進スヘシ)ト云フ如シ

所望スル方向ノ搜索或ハ縱隊相互ノ連絡等ハ一定ノ兵團ニ命シテ施行セシメ其責任ヲ明ニスルヲ要ス

後方道路ノ分配ニ付キ一點ノ疑ナキトキハ輻重ノ爲メニ之レヲ使用スルノ方法ヲ一切各縱隊ニ委附ス然レトモ敵前ニ於テ一般ノ行軍正面ヲ縮メント欲スルカ或ハ正面變換、側敵行軍若クハ退軍ヲナサント欲スルトキハ輻重ノ爲メニ一般ノ區署ヲ命令スルヲ要ス然ラサレハ互ニ相交叉シ或ハ道路ヲ擁塞シテ軍隊ノ通過ヲ妨クルノ患アリ

前進ノトキ大行李ヲ集ムルニ二法アリ曰ク軍隊運動ヲ始ムル前後方ニ集合セシム、或ハ後尾ノ兵隊前進スルニ應シテ前方ニ集合セシム第一法ハ行李ノ亂雜ヲ防クニ宜シ然レトモ舍營區域延長ナルトキハ其前方ニ在ル兵隊ハ出發以前ニ於テ早クヨリ既ニ其行李ヲ出スヲ要ス

ルノ不快ヲ感スヘシ

第二法ハ屬施行スル方法ナレトモ前隊ノ行李ヲ以テ後隊ノ通路ヲ擁塞スルノ恐アリ故ニ命令ニ於テ能ク之レヲ豫防セサルヘカラス之レカ爲メニハ兵隊ノ行軍長徑ヲ顧慮シ其後尾カ宿營地ヲ放ル、時間ヲ以テ大行李ノ集合ヲ始ムル時間トシ其集合ヲ始ムル時間ヲ示スヲ可トス若シ是レニ反シ集合終ルノ時間ヲ示ストキハ各隊ノ行李或ハ早クヨリ集合ヲ始メテ出發シツ、アル軍隊ト衝突スルノ恐アリ又往々大行李ニ命スルニ諸隊出發ノ後某所ニ集合セヨト云フコトアレトモ之レハ小部隊ノ爲メニ差支ヘナケレトモ大部隊ノ爲メニハ甚タ宜シカラス何トナレハ今假リニ甲乙丙三團ノ兵隊カ宿營シアリトスルトキ互ニ各隊ノ出發シ終リタル時刻ヲ明瞭ニ知り得ス乙ノ未タ出發セサル前ニ申ハ既ニ自己ノ隊カ出發シタル故他隊モ最早出發シタルナ

ラント思意シテ集合ヲ始メ丙モ亦之レト同シ考ヘニテ集合ヲ始ムル如キコトアリテ遂ニ衝突ヲ起スコト往々發生スレハナリ即チ大部隊ニ在ッテハ左ノ如ク命スレハ可ナラン

大行李ハ何時ヨリ某所ニ集合シ何米突ノ距離ヲ以テ跟隨スヘシ(要スレハ何隊ノ通過シ終ル迄ノ路外ニ在ルヘシト命ス)

退軍ノ時ハ軍隊ノ集合スル前大行李ヲシテ八吉米以上ニ先發セシム左ニ普通行軍命令ニ於テ記載スヘキ要件ヲ示ス

一 敵狀ノ大要

各部隊カ任務ヲ實行スル爲メニ知リアルヲ要スルモノハミ
敵情ハ精確疑ヒナキモノノミヲ示シ時宜ニヨリ審確ナラサル情報
ハ疑ヒノ意ヲ以テ示スコトアリ

我軍情況ノ大要

我部隊ノ事ニシテ一般ニ通知ヲ要スル件並ニ某部隊カ任務施行ノ

爲メ知ルヲ要スル我軍情ノ大要ヲ示スナリ假令ハ前方ニアル部隊ノコト(假令ハ騎兵ノ如ク)後方ニアル部隊ノコト(假令ハ後續部隊ノ如シ)比隣縱隊ノコト等ナリ

二 我目的

前令發スルノ後異狀ナケレハ畧スルヲ得

三 獨立搜索騎兵ニ關スルコト

獨立搜索騎兵ニ命スヘキ行進路並ニ動作等ハ精密ニ規定スヘカラス唯タ搜索目標及ヒ此目標ニ至ルニ取ルヘキ一般ノ方向並ニ特ニ注意搜索スヘキ地點ヲ示セハ可ナリ
時宜ニヨリ電信、鐵道、橋梁、道路ノ破壞、信書電信等ノ奪取ヲ命ス
數日行程遠ク獨立派遣スヘキ時ハ特ニ訓令ヲ以テ指揮官ノ意圖ヲ望テ明カニスルコトアリ

四 前衛ニ關スルコト

出發時刻及ヒ地點ハ通常其歩兵先頭ヲ以テ規定ス
行軍ノ目標ヲ示スハ其之レニ違スルコト確定ナル時ノミトス其他

ノ場合ニ於テハ只々取ルヘキ道路及ヒ目標ヲ指示ス
特ニ搜索スヘキ地點
要スル場合ニハ前哨集收ノ件
要スレハ速ニ偵察報告スヘキ道路或ハ渡場等
比隣縱隊トノ連絡

五 側衛ニ關スルコト

前衛ノ者ニ準ス其他側衛行ニ於ケル側衛ニ在ツテ陣地ヲ占メ本隊ノ側衛行ヲ掩護スル場合ニハ敵ニ對シテ駐立スヘキ時間(通常最尾ノ部隊、大行李或ハ縱列及輜重ノ其地ヲ通過シ去ルノ時ニ至ル)

六 本隊ニ關スルコト

集合ノ時刻並ニ地點ノミヲ示シ出發ハ通常現地ニ於テ命ス
時宜ニ由リ逐次出發セシムルトキハ其出發スヘキ地點ト時刻ヲ示シ且ツ跟隨スヘキ距離並ニ前行部隊ヲ示ス
一條ノ道路ヲ行進スル師團ニ於ケル集合梯團ハ前衛ヲ以テ第一梯團トシ、本隊ノ先頭ナル歩兵聯隊及ヒ砲兵聯隊ヲ以テ第二梯團トシ

本隊最後尾ノ旅團、工兵、衛生隊ヲ以テ第三梯團トシ各梯團ヲシテ出發シツ、行軍縱隊ニ入ラシムル如ク各團ノ先頭通過スヘキ地點及ヒ時刻ヲ示ス

若シ二條ノ行軍路相交又スルトキハ各行軍縱隊ノ交叉點ヲ通過スヘキ時刻ヲ定ムルヲ其トス此法ハ數團隊ノ兵隊橋梁等ヲ通過スルカ爲メニモ亦適用ス

七 大行李ニ關スルコト

集合時刻、地點、出發時刻又ハ本隊ニ跟隨スヘキ距離

前衛、側衛等ノ如キ警戒部隊ニハ大隊大行李ノ序列中ニ入ルヘキ地點ヲ示ス

大行李長ニハ特別ノ教示ヲ與フルコトアリ但シ命令中ニ記載セス

八 輜重梯隊ニ關スルコト

出發時刻(要スレハ出發地)前進スヘキ目標地

時宜ニヨリ彈藥縱列、野戰病院等輜重ノ一部ヲ前方ニ招致スルトキハ其到着スヘキ地點時刻或ハ出發時刻地點

九 行進間指揮官ノ所在

以上ハ大部隊ニ下スヘキ命令ノ標準ヲ示スモノナレトモ小枝隊ニ在ツテハ通常左ノ件ノミヲ命シ置キ他ハ集合所ニ於テ口達スルモノトス

敵狀並ニ我目的ノ大要、 前哨撤収ニ關スル件

集合ノ場所及ヒ時刻、 大行李ニ關スルコト

指揮官ノ所在地(通常何時ヨリ集合所ニアリト命スル如シ)

此他要スレハ軍隊區分及ヒ騎兵ニ關スルコト等ノ豫令ヲ下シ置キ其指揮官ヲシテ考慮研究ノ餘裕ヲ與フルニ便スルコトアリ

其三 宿營命令

敵ニ就キ願慮ナク各縱隊各個ニ行軍スル時ノ宿營ハ日々宿營命令ヲ下スコトナク豫メ計畫セル宿營計畫表ニ從ヒ各縱隊ヲ宿營セシム之

レニ反シ敵ニ近ク日々下令スルヲ要スルトキハ其宿營命令ハ成ルヘク早ク之レヲ下シ各部隊ヲシテ速ニ警戒法ヲ設ケ又休憩ニ就カシムルヲ要ス故ニ縦隊指揮官ハ行軍中ニ之レヲ下スカ或ハ遅クモ駐止ト共ニ之レヲ下スヲ要ス而シテ完全ナル宿營命令ヲ下シテ警戒法ヲ取ラシメントスルトキハ大ニ其部署遅キニ至ルヲ以テ縦隊ト指揮官宿營ニ決心セハ直チニ先ツ警戒ニ關スルコトノミヲ其隊長ニ命シ警戒ノ部署ヲナサシメツ、アル間ニ更ニ完全ナル宿營命令ヲ製シ一般ニ下達スルヲ可トス

左ニ普通宿營命令ニ記載スヘキ條項ヲ示ス

- 一 二項ハ行軍命令ノ項ニ準ス
- 三 警戒隊ニ關スルコト

警戒隊(搜索騎兵、前衛、若クハ側衛或ハ前)ノ宿營スヘキ位置、警戒スヘキ位置(哨等ニシテ要スレハ項ヲ分ツ)

四 本隊ノ宿營地及ヒ宿營法ニ關スルコト

キ地區特ニ搜索スヘキ方向者クハ地點及ヒ占領スヘキ地點等
各部隊宿營地區、宿營ノ種類、警急大集合所ノ指示、舍營司令官ノ任命、要スレハ施スヘキ工事

五 給養ニ關スルコト

給養ノ種類
官憲徴發又ハ倉庫或ハ縱列ニ由ルトキハ其糧米ヲ分配スヘキ地點及ヒ時刻ヲ示ス若シ豫メ分配ノ時刻ヲ定ムル能ハサルトキハ迫テ分配ノ時刻ハ別命スト下令シ置クナリ
部隊徴發ニ在ッテハ各部隊ニ其徴發區域ヲ分配指示ス

六 輜重梯隊ノ宿營地ニ關スルコト

輜重梯隊ハ通常道路ニ沿フテ宿營セシメ且ツ其細部ハ其隊長ニ一任スル者ナルカ故ニ其宿營地ノ區域ハ大畧先頭ト後尾トノ位置ヲ以テ指示スレハ可ナリ假令ハ第一梯隊ハ某村ヨリ某村ノ間ニ第二梯隊ハ某村ヨリ某村ノ間ニ宿營スヘシト云フカ如シ

要スレハ彈藥或ハ糧食補充ノ爲メ招致スヘキ地點及ヒ時刻並ニ空
縦列トナリタル者ノ復歸宿營スヘキ地點ヲ示ス

七 指揮官ノ所在地

翌日ニ係ル命令下附ノ時刻

舍(露營)司令官カ舍營勤務員並ニ要スレハ各隊ノ命令受領者(多クハ設
營隊長)ニ下スヘキ口達命令ノ要項概ネ左ノ如シ

舍(露營)地ノ配分、警急集合所及ヒ之レニ至ルヘキ道路、内部衛兵ノ
位置及ヒ兵數、戰備ノ度(急舍營ニ於テ要スレハ一部隊ヲ閉塞スル等)、外衛
兵ノ兵數位置、時宜ニ因リ炊事場及ヒ厨園ノ位置設定或ハ轉置ヲ
命ス、井泉飲馬場ノ配當、風紀維持ノ爲メニ所要ノ件、舍(露營)内
諸ノ勤務ノ規定、舍(露營)司令官ノ宿舎
右ノ外露營ニ在ツテ火ノ消滅、起床、歸營等諸號音ノ規定

戰鬪後宿營ニ就クトキニ於テハ彈藥ノ補充、戰場ノ掃除(死者、斃馬ノ埋
葬尙ホ殘留セル傷者ノ搜索、戰利品集拾ノ件等)捕虜ノ處置等ハ時機ヲ
失セズ指揮官ヨリ指命スヘキモノトス

其四 前衛命令

前衛命令ハ縦隊指揮官ヨリ下サレタル行軍命令若クハ宿營命令ニ基
キテ前衛司令官カ其部下ニ下ス所ノモノナリ而シテ其行軍命令ニ在ッ
テハ多クハ翌日集合ニ要スル件ノミヲ命令シ置キ他ハ概ネ集合所ニ
於テ口達ス又宿營命令ニ在ツテハ縦隊司令官ヨリ警戒ニ關スル大略
ノ訓旨ヲ受ケタル後先ツ其訓旨ニ從ツテ前哨ニ關スル大要ヲ前哨司
令官ニ訓旨シ速ニ前哨配布ヲ爲シ得ル如クシ然ル後縦隊指揮官ヨリ
完全ナル宿營命令下ルヲ待ツテ完全ナル前衛命令ヲ下スモノトス

左、宿營ニ關シ、普通前衛命令ニ記スヘキ條項ヲ示ス

一 敵狀ノ大要(警戒ニ關シ部下ノ知ルヲ要スルコトノミ)

本隊ノ目的及ヒ宿營地ノ大要

其他一般ニ通知ヲ要スヘキ我軍ノ狀況

二 前衛本隊ノ目的ノ大要及ヒ宿營地

三 警戒隊ニ關スルコト(要スレハ項ヲ分ツテ記載ス)

前哨部隊ノ任命、警戒線ノ大要、前哨本隊ヲ置クヘキ概略ノ位置、前哨司令官ノ任務ヲ實施スルニ要スル特別ノ諭示假令ハ敵襲ニ當リ取ルヘキ處置特ニ固守スヘキ地點、尤モ搜索又ハ監視ヲ要スル地點方向等

其他要スレハ前衛騎兵ニ關スルコト

四 前衛本隊宿營地及ヒ宿營法ニ關スルコト

前宿營命令(其三)ノ四項ニ準ス

五 給養ニ關スルコト

給養ノ種類

徵發、倉庫、糶列給養等ニ在ツテハ糧秣ノ分配ヲ受クヘキ地點時刻部隊徵發ナレハ各部隊ニ徵發區域ヲ指示ス

六 前衛司令官ノ所在

翌日ニ係ル命令下附ノ時刻

左、行軍ニ關シ、普通前衛命令ニ記スヘキ條項ヲ示ス

一 敵狀ノ大要

本隊ノ目的ノ大要

一般ノ通知ヲ要スヘキ我軍ノ狀況

獨立搜索騎兵、側衛、或ハ比隣部隊ノ關係等ノ如シ

二 前衛ノ目的

三 前衛騎兵ニ關スルコト

前衛騎兵ヲシテ前衛歩兵出發以前ニ出發セシメントスルトキハ出發時刻、地點、進路、殊ニ搜索スヘキ地點方向等
前衛騎兵寡少ニシテ歩兵ノ前方近距離ニ進マシムルニ過キスシテ歩兵ト共ニ出發セシメテ足ルトキハ集合時刻地點

四 前哨ニ關スルコト

前哨ノ撤去時間、若クハ前衛歩兵先頭ノ前哨線ヲ通過スルマテ前哨ヲ現在セシムルトキハ其撤去集合シテ續行スヘキ部隊ヲ指示ス

五 前兵又ハ側衛ニ關スルコト(要スルトキノミ命令シ置クナリ多クハ集合所ニ於テ口達スルヲ常トス)

六 前衛本隊ニ關スルコト

集合時刻、地點要スレハ隊形

七 大行李ニ關スルコト

集合時間、地點及ヒ本隊大行李ノ序列ニ入ルヘキ地點等

八 前衛司令官所在地

其五 前哨命令

前哨命令ハ前哨司令官カ受ケタル任務ニ由テ警戒部署ヲ定ムル爲メ部下ニ命スル所ノモノニシテ多クハ現地ニ於テ口達スルヲ常トス其命スヘキ要目概ネ左ノ如シ

一 敵狀ノ大要

我軍ノ目的及ヒ宿營地ノ大要其他警戒ノ爲メ部下ノ知リアルヲ要スル我軍ノ狀況

二 前哨隊ノ目的

三 前哨騎兵ニ關スルコト

警戒線ノ大要及ヒ此騎兵ノ嚴ニ警戒スヘキ道路、晚ニ至リ前哨本隊ニ退クヘキ騎兵ニ就テノ濫定又夜間ニ於ケル騎兵ノ任務等

四 前哨中隊ニ關スルコト(要スレハ項ヲ分ツテ記ス)

警戒スヘキ地ノ區域及ヒ其位置ノ概略、傳令騎兵ノ分配及ヒ歩兵部

隊ニ配布スヘキ騎兵部隊、要スレハ查哨ヲ置クヘキ道路、連絡ヲ取ルヘキ比隣哨所、敵襲ニ當リ取ルヘキ處置假令ハ現地ヲ固守スヘキカ或ハ退却スヘキカ等

五 前哨本隊ニ關スルコト

宿營地、宿營法、要スレハ前哨本隊ヨリ直チニ出ダス警戒兵(小哨獨立下士哨等)ノ指定、戰備緩急ノ度及ヒ道路閉塞等ノ如キ特別處置

六 前哨司令官ノ所在地或ハ報告ヲ送ルヘキ地點

前哨中隊長ハ亦タ前哨命令ニ基キ所要ノ命令ヲ口達シ部署ヲ定ム其命令ノ要目ハ概ネ右前哨命令ニ準ス

其六 開進命令

開進ハ前衛ノ掩護ニ由テ爲スモノニシテ其開進地ハ爾後ノ戰鬪動作ニ便ナル位置ヲ撰ヒ縱隊ヲ爰ニ開進セシムルモノナレハ通常單簡ナ

ルモノナリ其要目ヲ掲クル左ノ如シ

- 一 敵狀ノ大要
- 二 我目的ノ大要
- 三 前衛ノ占ムヘキ地域並ニ開進掩護ノ爲メニ要スル指示
- 四 騎兵ノ搜索スヘキ點
- 五 本隊ノ開進スヘキ地點(要ゾレハ砲兵隊長ニ陣地偵察ヲ命ス或ハ直チニ陣地ニ進出セシム)
- 六 所要ノ工事
- 七 衛生隊開設ノ準備
- 八 大行李ヲ停止セシムヘキ地點
- 九 野戰病院、彈藥縱列ノ一部ヲ招致スヘキ地點、時刻
- 十 輜重梯隊ノ停止スヘキ地點
- 指揮官ノ所在地若クハ報告ヲ送ルヘキ地點

其七 攻撃命令

攻撃命令ハ豫メ計畫セルトキハ合同命令ヲ以テス然レトモ遭遇戦ノ如キ場合ニ於テ急ヲ要スルトキハ通常開進ト同時ニ各別命令ヲ以テ攻撃ノ部署ヲ定ムルモノトス
左ニ示ス攻撃命令ノ條項ハ合同命令ノトキニ於ケル一例ナントモ各別命令ノ時モ亦タ之レニ準ス

一 敵狀ノ大要殊ニ敵ノ砲兵陣地ヲ示スコト必要ナリ

一般ニ通知ヲ要スヘキ我軍ノ狀況

二 我目的

三 助攻ニ關スルコト

助攻ニ任スヘキ部隊、進路、攻撃目標、攻撃開始時刻其他必要ノ指示

四 本攻ニ關スルコト

助攻ノモノニ準ス

五 砲兵ニ關スルコト

陣地、砲火開始時刻、射撃目標等

六 騎兵ニ關スルコト

兩翼ノ搜索警戒ニ任スヘキカ或ハ豫備隊中ニアルヘキカ等ニ由テ其任務及ヒ占位シアル位置ノ概略或ハ搜索スヘキ方向等

七 總豫備隊ニ關スルコト

總豫備隊ノ編組、收撃隊ニ續行スヘキ距離或ハ占ムヘキ位置等

八 要スレハ交通路ノ開設、收容陣地ノ構成等施スヘキ工事

九 衛生隊、野戦病院、彈藥縱列ノ彈藥分配補充ノ位置

十 大行李ニ關スルコト

十一 輜重梯隊ニ關スルコト

其六開進命令ノモノニ準ス若シ既ニ開始命令ニテ命シアレハ下令スルニ及ハス

十二 指揮官ノ位置

各攻撃隊ノ區分ヲ命令文中ニ記セスシテ單簡ナラシムル爲メニハ軍隊區分ヲ以テ別令スルヲ可トス

其八 防禦命令

防禦命令ハ通常豫メ陣地ヲ撰定シ計畫ヲ定メ合同命令ヲ以テスルモノトス其記スヘキ條項概テ左ノ如シ

- 一 敵狀
 - 一般ニ通知スルヲ要スル我軍一般ノ狀況
- 二 我目的
- 三 防禦地區ノ分配、其守備ニ任スル部隊ノ任命、配備ヲ始ムル時刻
(是等ハ要スレハ項ヲ分ケ明瞭ニ記ス)
- 四 砲兵位置、主トシテ射撃スヘキ方向

- 五 騎兵ノ搜索方向或ハ側面ノ警戒スヘキ要點等
 - 六 總豫備隊ノ編組並ニ占位スヘキ位置
 - 七 防禦工事並ニ工兵隊ヲ各隊ニ工事誘導ノ爲メ分配スヘキヤ或ハ工兵隊ヲシテ一ツノ獨立工事ヲ爲サシムルカ等
 - 八 衛生隊、野戰病院ノ開設準備並ニ開設スヘキ時刻地點等
 - 九 大行李ノ停止シアルヘキ地點
 - 十 彈藥縱列ノ彈藥ヲ分配補充スヘキ地點並ニ同縱列ノ同地點ニ到着シアルヘキ時刻輻重諸隊ノ停止シアルヘキ位置
 - 十一 指揮官ノ所在若クハ報告ヲ送ルヘキ地點
- 命令中此部隊ノ編組ヲ記セス單簡ナラシムル爲メニハ別ニ軍隊區分ヲ令スルヲ可トス

其九 退却命令

退却命令ヲ正當ニ下シ得ルハ隨意退却ノトキニアラサレハ能ハス敗戦ノ時ニ於ケル退却ハ指揮官カ唯一般ノ退却方向ノミヲ示シ各兵隊ハ一先ツ戦線ヨリ直角ニ迅速シ各個退却スルノミ而シテ敵ト觸接ヲ免レタル後ニ於テ始メテ隊伍ヲ整ヘ退却部署ニ從ツテ退却スルヲ得ルモノトス左ニ示ス退却命令ノ條項ハ未タ敵ニ甚ダシク接觸セラレズ正當ニ退却シ得ルトキノ一例ニ過キス

- 一 我軍目的ノ大要
- 二 收容隊若クハ後衛ノ任命、占ムヘキ地點、尤モ永ク抵抗スヘキ地點、若クハ抵抗ヲ持續スル時間、更ニ退却スルニ當リ取ルヘキ一般ノ方向
- 三 騎兵ヲ獨立シテ使用スルトキハ此騎兵ニ關スル任務

- 四 工兵隊ニ命シ施スヘキ工事假令ハ收容陣地ノ構成或ハ要點ノ破壞等
- 五 諸隊ノ退却順序、取ルヘキ退却方向、或ハ更ニ停止集合スヘキ地點
- 六 綑帶所、野戰病院等ノ退却ニ關スルコト假令ハ衛生部員ノ若干ヲ遣シ赤十字條約ニ委スルカ或ハ全部ヲ遣スカ等
- 七 大行李ノ退却スヘキ方向、道路、到着點等
- 八 輜重梯隊ニ關スルコト(大行李ノモノニ準ス)
- 九 指揮官ノ所在

其十 戰闘中止對敵徹夜ノ場合ニ於ケル命令

戰闘ヲ中止シ對敵シテ夜ヲ徹スル場合ニ於ケル命令ハ宿營命令トハ

其趣キヲ異ニシ所謂戰鬥準備ノ隊形ヲ以テスル陣地露營ナリ故ニ其命スル所モ比較的單簡ニシテ其要目概テ左ノ如シ

- 一 敵狀(各部隊既ニ知ル所ノモノ必要ナシ)
一般ニ通知ヲ要スヘキ我軍ノ狀況
 - 二 我目的
 - 三 諸隊露營ノ位置警戒スヘキ區域
 - 四 彈藥補充ノ地點時刻補充ヲ受クル各隊ノ順序
 - 五 給養ノ種類(通常携帶糧秣給養ナリ他ノ給養ナルトキ)
ハ其指示ノ要件宿營命令ノモノニ準ストキ
 - 六 大行李ノ宿營位置
是等ハ通常各別命令トシテ一般ニ命令セサルモ可ナリ
 - 七 輜重梯隊宿營ノ位置
 - 八 指揮官ノ所在
- 翌日ニ關スル命令下附ノ時刻

右ノ要目ニ從ツテ普通ノ命令文ノ一例ヲ示ス左ノ如シ

第何師團命令 何月何日何時 某地ニ於テ

- 一 前面ノ敵狀異ルナシ
我増加隊トシテ何々隊ハ明日拂曉迄ニハ某地ニ到着スル筈ナリ
- 二 師團ハ戰鬥ヲ中止シ明拂曉更ニ攻撃ヲ續行セントス
- 三 諸隊ハ現在ノ地ヲ守備シ夜ヲ徹スヘシ
但シ左ノ諸隊ハ左ノ如ク露營スヘシ
某隊ハ某地
某隊ハ某地
、、、、、
- 四 位置ヲ轉スヘキ諸隊ノ運動ハ日沒ヲ待ツテ施行スルヲ要ス
某隊、某隊、、、ハ以上ノ順序ヲ以テ午後何時ヨリ某地ニ

- 於テ彈藥ノ補充ヲ受クヘシ
- 五 携帶糧秣ヲ用ユヘシ
- 六 大行李ハ某地ニ至リ宿營スヘシ
- 七 輜重第一梯隊ノ内彈藥何々縦列ハ何時迄ニ某地ニ至リ諸隊ニ彈藥ノ補充ヲナスヘシ而シテ補充ヲ終リタル空縦列ハ某地ニ至リ宿營スヘシ
- 輜重第一梯隊ノ殘餘ハ某地ヨリ某地ノ間ニ、同第二梯隊ハ某地ヨリ某地ノ間ニ宿營スヘシ
- 八 余ハ某地ニ在リ
- 午後何時命令ヲ與フ

師團長某

其十一 追擊命令

追擊命令ハ概テ急ヲ要スルモノナレハ各別命令ヲ以テスルヲ常トス若シ合同命令ヲ以テスルトキハ前陳行軍命令ニ準ス但シ縦列行軍命令中ノ前衛ニ關スルコトヲ追擊隊ニ應用スレハ可ナリ又各別命令ノトキハ此要領ヲ各別各隊長ニ下令スレハ足レリ今各別命令ニ於ケル一般普通ノ命令文ノ一例ヲ左ニ示ス

追擊隊長ニ與フルモノ

第何師團命令 何月何日何時
某地ニ於テ

- 一 敵ハ某地方ニ退却ス
- 二 師團ハ敵ヲ追擊セントス
- 三 某ハ何々隊ヲ帥ヒ某街道ヲ某處ニ向ツテ追擊スヘシ
- 騎兵何隊ハ某地ニ於テ貴官ノ指揮ニ入ル筈ナリ

四 余ハ何々隊ヲ帥ヒ貴官ニ續行ス

師團長某

騎兵隊長ニ與フルモノ

第何師團命令 何月何日何時
某地ニ於テ

一 同前

二 同前

三 貴官ハ追撃長某ノ指揮ニ屬スル爲メ某地ニ至ルヘシ

四 余ハ本隊ノ先頭ニアリテ追撃隊ニ續行ス

師團長某

衛生隊長ニ與フルモノ

第何師團命令 全全

前前

一 全時

二 全時

三 衛生隊ハ某所ニ向ヒ前進スヘシ

四 余ハ本隊ノ先頭ニアリ

師團長某

殘餘ノ諸隊ニ與フルモノ

第何師團命令 全全

前前

一 敵ハ某地方向ニ退却ス

某ノ帥ユル追撃隊ハ敵ヲ追撃ス

二 師團ハ追撃隊ニ續行セントス

三 各隊ハ速ニ隊伍ヲ整頓シ左ノ順序ヲ以テ某所ニ集合スヘシ
何々隊 何々隊 何々隊 、 、 、 、 、 、
四 余ハ本隊ノ先頭ニ行進ス

師團長某

大行李ニ與フルモノ

第何師團命令全

何月何日何時
某地ニ於テ

一 敵ハ某地方向ニ退却ス
二 師團ハ敵ヲ追撃セントス
三 大行李ハ某地ニ向ヒ前進スヘシ
四 余ハ本隊ノ先頭ニアリ

師團長某

輜重ニ與フルモノ

第何師團命令同

前前

一 同前
二 同前
三 輜重第一梯隊ハ其先頭ヲ以テ某地ニ、同第二梯隊ハ某地ト某地ノ間ニ至リ停止シアルヘシ
四 同前

師團長某

●訓令

〔精細ケノ實例ハ下ノ卷ニ於テ想定
ラ設ケノ對照説明スル所アルヘシ〕

訓令ハ唯々其目的ヲ示スノミニシテ其施行ノ方法ハ全ク受令者ニ委任シ之レニ充分ノ自由ヲ與フルニ用ユルモノニシテ必竟命令ノ範圍廣キモノニ過キス凡ソ戰畧上ノ統帥ニ至ツテハ各軍ト大本營ハ遠隔シ時々刻々命令ヲ與ヘ得ヘキモノニアラス且ツ戰畧上ノ機變ニ至ツテハ其大方針ヲ設ルコトナクシテ其時々ニ生スル參畫ノ如キハ各軍各部ヲシテ獨斷事ニ從ハシムルニ非ラサレハ到底機先ヲ制シ宜シキヲ得ヘキモノニアラス即チ大本營ヨリ軍司令部軍司令部ヨリ師團司令部ニ與フルハ概ネ訓令ヲ以テス又假令小部隊ト雖トモ遠ク派遣セラレ且ツ永日獨立スル枝隊ノ如キハ訓令ヲ以テ其任務ヲ示シ且ツ指揮官ノ希望ヲ述ヘ置キ其他ハ訓令ノ主旨ニ基キ臨機ノ處置ヲ爲サシムルモノトス

即チ訓令ハ任務ト一般ノ目的トヲ標準トシテ其施行ノ方法ノ如キハ

指揮官ノ干涉セサル所ナリト雖トモ受令者ノ任務施行ニ關スル教示ヲ與フルハ妨ケナシ而シテ其教示ニ對シ受令者ハ適宜ニ之レヲ斟酌取捨シ得ルモノトス

訓令ノ記載方ハ畧ホ命令ニ準スト雖トモ其嚴格ノ度ハ大ニ寬ナルモノナリ且ツ其要目ノ如キモ一定セス要ハ敵狀我目的ヲ明示シ受令者ノ任務ヲ確示シ要スレハ指揮ノ希望ヲ述ヘテ臨機獨斷ノ參考ニ資スルモノトス今左ニ普通スヘキ要點ヲ示サン

- 一 敵狀我軍ノ狀況 （命令ニ比シ稍精密ナルヲ要ス殊ニ受令者ノ參考トナルヘキ件ハ必ラス之レヲ示スヲ要ス）
- 二 我目的 （受令者獨斷ヲ施行スルニ當リ決心ノ基礎トナルモノナリ）
レハ明ニ現在ニ於ケル指揮官ノ目的並ニ要スレハ將來ヲ示スモケル目的ヲ
- 三 受令者ノ現在並ニ將來ニ於テ服膺スヘキ任務ノ指示
- 四 指揮官ノ現在並ニ將來ニ於ケル希望並ニ計畫ノ大要

五 要スレハ非常ノ場合ニ於テ執ルヘキ權限ノ委任假令ハ重大ナル交通線ノ破壞或ハ又指揮權ナキ部隊ニ向ツテ命令ヲ發シ得ル權利ヲ委任スルカ如シ

六 報告ヲ送ルヘキ場所或ハ指揮官ノ所在地
此他一般發令下達ノ原則ハ命令ノ條ニ於テ說示セルモノニ準據ス

●通報報告

通報ハ通常同等階級ノ者相互ニ通信シ若クハ其以上ノ者カ下階級ノ者ニ通信スルヲ云フ假令ハ甲乙兩師團ノ通信或ハ軍司令部ヨリ師團司令部ニ發達スル通信等ノ如シ但シ下級者ヨリ上級者ニ爲ス通信ヲ通報ト稱スルモノモアリ是レハ全ク命令ノ連繫ナキ部隊相互ノ間ニ

存スルナリ假令ハ海防艦長カ見聞シタルコトニテ其事項カ恰モ其附近ニ作戰スル某軍ニ必要ナル情報ナルトキハ此艦長ハ其軍司令官ニ其事ヲ通報スル如シ
報告ハ命令ノ連繫ヲ有スル下級者カ上級者ニ爲ス通信ナリ假令ハ聯隊長ノ旅團長ニ旅團長ノ師團長ニ爲ス報告ノ如シ
約言スレハ通報者ハ働キ掛ケ報告者ハ受ケ身ノ如シ
凡ソ命令ヲシテ正ニ其時機ニ適合セシメンニハ情況ヲ審ニスルニアリ情況ヲ明カニシテ初メテ爾後ノ判斷處置カ決セラル、ナリ此ニ於テ命令カ作ラル、ナリ故ニ命令カ適切ナラン爲メニ判斷ノ適切ナルヲ要ス判斷適切ナラン爲メニハ情況ヲ審ニスルヲ要スルヤ明ナリ即チ此情況ヲ明ニスル爲メニハ通報報告ヲ以テ最緊要ノモノトス
高等司令部ハ一ツノ任務ヲ部下團隊ニ與ヘテ動作セシムルト同時ニ

諸種ノ情報ヲ諸種ノ手段ニ由テ搜索探求シツ、アルモノナリ故ニ其得タル情報中一定ノ任務ニ服シアル某團隊ノ爲メニ參考トナルヘキモノハ之レヲ通報スルナリ

俘虜及ヒ遺棄シタル傷者ノ言ハ大ニ候察ノ端緒トナリ通報報告ノ好材料タリ故ニ之レヲ審問スルニ左ノ件々ハ必要ナルモノトス

所屬部隊 之レヲ知レハ以テ敵ノ兵力分配部署ヲ知ルニ足ル例令ハ東京附近ノ戰場ニ遺棄シタル傷者カ第三師團ニ屬スル者ナリトセハ敵ハ

近ノ戰場ニ遺棄シタル傷者カ第三師團ニ屬スル者ナリトセハ敵ハ名古屋地方ノ團隊ヲ既ニ東京附近ニ招致シタルコトヲ知り得ヘキカ如シ

其部隊ニ連繫スル他ノ部隊 是レ又敵ノ兵力部署ヲ知ルニ足ルモノニシテ假令ハ第一師團ニ第二師團カ連繫ニアルモノトセハ敵ハ東京仙

臺地方ノ兵ヲ合シ使用シアルコトヲ推知シ得ヘシ

高等指揮官ノ姓名 高等指揮官其人ニ由テ用兵上ノ大畧ヲ推知シ得ヘシ假令ハ甲處ノ戦闘ニ敵タリシ將帥ハA將軍ナリシカ今ヤ此乙處ノ

軍隊指揮官カ同シクA將軍ナリシトセハ敵ハ甲處方面ノ軍隊ヲ此乙處方面ニ移シ甲處ニハ後備兵ヲ備ヘシナラン又此方面ニA將軍カアルナラハ敵ハ常ニ防勢的動作ニ出ツルナルヘシ等ノ如キ判斷ヲ爲シ得

前夜ノ宿營 敵軍運動ノ情況ヲ知ルノ材料トナスヘシ

行軍ノ状態 敵軍運動ノ遲速帥兵上ノ整否等ヲ推知スルヲ得

志氣ノ振否 敵軍ノ強弱ハ志氣ノ振否盛衰ニ大影響ヲ有スルナリ

凡ソ指揮官ハ某時刻ニ於テ臆定シタル事件或ハ了知シタル事件ハ自然變化セサルヤ又ハ何地ニモ敵ノ在ラサルヤヲ豫メ辨知スルヲ要ス

ルコト屢々之レアリ故ニ絶テ特別ノ變事アラサルモ豫定ノ時限ニハ必ス報告スルヲ要ス

例令ハ師團長ハ甲地ヲ出發スルトキニ於テ前衛司令官ニハ乙地マテ

前進スヘキヲ命シ行進ヲ起シタリトセンカ前衛司令官ハ乙地ニ達ス

ルマテ形勢ノ變化ナク異狀ナキモ必ス先ツ未タ敵兵ヲ見ストカ或ハ

異狀ナシトカノ報告ヲナスヲ要ス何トナレハ師團長ハ初メハ多分乙地附近ニ於テハ敵ノ抵抗ヲ受クルコトナラント判断シ先ツ乙地ニ向ツテ前進ヲ命セリ而シテ今ヤ形勢變化ナク乙地ニ達シタレハ更ニ兩地ニ前進セシメントスルヤモ知レス即チ此丙地ニ前進ヲ命スルハ乙地ヨリノ報告ニ由ツテ定マレハナリ其他前哨ニ於テモ亦タ然リ今夜ヨリ明朝迄ノ形勢變化ナキモ之レヲ報スルヲ要ス蓋シ右等ノ場合ニ於テ異狀ナシト云フ一語ハ實ニ爾後ノ判断ニ必要ナルコトアレハナリ

又報告ハ能ク既往ノ通報ヲ確實ニシ大ニ利益ヲ得ルコトアルモノナリ假令ハ先キニ軍司令部ヨリ左ノ通報アリタリト假定ス

間諜ノ報ニヨレハ敵ハ甲地ヨリ乙地ニ向ヒ一昨日來鐵道輸送ヲナシツ、アルモノ、如シ

而シテ後チニ我搜索騎兵カ乙地附近ニ至リ敵ノ微弱ナル歩騎兵ニ遭遇スト云フ報告アリタリトセハ此報告ハ即チ前ノ通報ヲ確ムルモノニシテ此搜索騎兵カ遭遇セシ敵ハ先着輸送部隊ナラント云フコトヲ判断シ得ヘキカ如シ

粗忽又ハ無根ノ通報報告ハ軍機ヲ誤ル大罪ナリ凡ソ尤モ確實ナルハ自ラ目撃セシモノニアリ傳聞、推測ハ確實ナラス故ニ之レ等ヲ區別シテ報告スルハ受報者ヲシテ判断ヲ誤ラシメサル爲メ緊要ナルモノナリ乃チ通報報告者ハ左ノ件々ヲ常ニ服膺スルヲ要ス

- 一 彼我ニ關スル過去現在ノ狀況ヲ記スルコト
- 二 報告者ノ將來施サントスル處置ヲ記スルコト
- 三 確乎疑フヘカラサル事件ト他人ヨリ傳聞セシコト、風説臆測ニ係ル事件ヲ詳細ニ區別スルコト

四 報告ハ時機ヲ誤ラサルコトヲ必要トス機ニ遅レタル報告ハ無効ナルモノナリ

五 報告者ノ署名、時刻、場所ノ記載ハ欠クヘカラサルコト
報告ハ唯タ敵ヲ見タリト云フノミニテハ價值少シ其兵員ハ如何又、何レノ地點、何レノ時ニ先頭或ハ後尾カアリテ何レノ方向ニ運動スルト云フコトカ知レサレハ判断ノ基礎タルニ充分ナラス固ヨリ此等ノコトヲ充分ニ搜索スルハ難キ所ニシテ殊ニ兵員ノ數ヲ知ラントスル如キハ多クハ種々ノ障礙ノ爲メ満足ノ結果ヲ得サルモノナリト雖トモ勉メテ是等ノ搜索ヲ完全ナラシムルコトニ努力スルヲ要ス又其先頭ト後尾トノ到着點如何ハ尤モ大ナル關係アリ假令ハ我ニ向ツテ前進スル敵ノ先頭ヲ我先頭ヨリ八吉米ノ點ニ見タリトスレハ彼我ノ先頭カ衝突スルハ約一時間後ナルコトヲ判断シ得ヘク之レニ反シテ同

點ニ敵ノ後尾ヲ見タリトスレハ若シ其縱隊カ四千米ノ長徑ヲ有スルモノトセハ三十分後ニハ最早衝突スヘシト云フコトヲ知り得ルナリ此先頭ト後尾トノ差ニ由テ衝突時間ノ差異ヲ來タス如キハ遭遇戰ニ於テ尤モ判断ノ重要部分ナリ
諸種ノ兆候或ハ一部ノ視察或ハ見聞ニ由テ得タル情報ハ到底充分ニ敵狀ヲ確ムル能ハサルモノナリ之レカ充分ノ情報ヲ得ルハ戰鬪ニ由テ敵ノ兵力意圖ヲ暴露セシムルニ如クモノナシ故ニ戰鬪ハ情況判断ニ有効ナル材料ヲ供スルモノナルヲ以テ即チ其局ニ當リタル部隊長ハ勉メテ慧眼ヲ以テ敵狀ヲ視察シ速ニ報告スルヲ要ス必竟前衛戰ノ如キハ此等ノ情況ヲ得ルノ任ニアルモノニシテ指揮官ハ此報告ニ由テ戰鬪ノ計畫ヲ定メ得ヘキナリ
戰鬪局ヲ結フトキハ敵幾團隊我ニ對セシヤ敵ノ我ニ對スル團隊ハ何

ナリシヤ、敵ノ状態如何ナリシヤ、何レノ方向ニ退却セシヤヲ詳細ニ報告スルヲ要ス蓋シ是等ハ爾後ノ作戦ヲ計畫スルニ尤モ有効ナル材料ニシテ又尤モ確實ナルモノナリ

火急ノ場合假令ハ側方ニ派遣シアルトキ騎兵カ不意ニ敵ノ來襲ヲ認メタリトセンカ此事ハ所屬隊長ニハ無論報告シ其他敵ノ來襲方向ニアル各部隊ニモ速ニ報告セサレハ忽チ危殆ニ陥ル如キトキニハ同時ニ諸方ニ報告ス而シテ其報告ニハ既ニ諸方へ報告セシコトヲ記載スルヲ要ス何トナレハ其報告ヲ受ケタルモノヨリ更ニ他方へ報告シニ重ノ徒勞ナカラシムル爲メナリ

報告ハ元來聯隊ヨリ旅團司令部ニ、旅團司令部ヨリ師團司令部ニ、順次斯クノ如ク順ヲ追フヲ以テ正規トス然レトモ旅團司令部所在地ハ遠隔シ爲メニ順序ヲ追フトキハ、報告遅緩スル等ノトキハ此中間司令部

ヲ省キ直チニ師團司令部ニ報告シ別ニ又此旨ヲ旅團司令部ニ報告スヘシ

●命令通報報告ノ傳達

- 一 距離ノ遠近ト其地ノ景況トニ從ヒ電信、筆記若クハ口演ヲ以テス
- 二 傳令使ハ事ノ輕重ニ因リ單行ノ將校若クハ下士卒ヲ用ユ所要ナレハ之レニ若干ノ護衛兵ヲ付ス
- 三 緊要ナル命令、通報、報告ハ時宜ニ依リ二三通ヲ製シ數道ヨリ數使ヲ以テ傳送ス而シテ書中發送ノ數ヲ記スヘカラス
- 四 距離長遠ナルカ又ハ夜間ニ在ツテハ將校ニ步兵若干名ヲ屬シ

- 五 人力車或ハ馬車ヲ用ヒテ差遣スルヲ利アリトスルコトアリ
信書ヲ敵ニ奪取セラル、恐レアルトキハ之レヲ破壊スルヲ以
テ豫メ傳達者ニ書中ノ趣旨ヲ説明シ置クヲ可トスルコトアリ
- 六 傳達ノ途中ニ於テ形勢變遷シ齋ス所ノ命令既ニ機ヲ失シタル
ヲ覺知スルトキハ受令者ニ其當時ノ形勢ヲ陳述スルヲ要ス
- 七 路程至大ナル地ニ信書ヲ送ルニ電信ノ設ケナキトキハ遞騎線
(山地ニ在ツテ)ヲ設ケルヲ必要トス
- 八 發信者ハ其使者ニ確切ニ左ノ諸項ヲ示スヘシ
此命令或ハ報告ハ某ニ傳フヘシ曰ク某道路ヲ經由スヘシ曰ク
某所ニ歸ルヘシ
- 九 報告ハ往々途中ニ於テ他ノ司令部ニ知ラシムルヲ適當トスル
コトアリ此クノ如キ場合ニ在ツテハ別ニ傳令使ニ諭示スヘキ

- 十 モノトス若シ然ラスシテ傳令使ノ途中ニ滯留スルハ唯々特別
ノ時機ニ際シ傳令將校自ラ其責ニ任シテ爲スヲ得ルノミ
傳令使ハ上官ニ遇フモ依然其步度ヲ變スルコトナシ又信書ヲ
傳達進呈スルニハ下馬ヲ要セス
 - 十一 傳令使ハ乘馬、自轉車、馬車、人力車等ニ乘行シ若シ之レヲ得サル
トキハ脚力強健者ヲ撰拔ス
- 乘馬傳令使ノ速度左ノ如シ
- 並(速歩ノ常歩混用) 七分時ニ一吉米 (十)
 - 急(速歩) 五分時ニ一吉米 (十)
- 至急ハ馬力ノ耐ユル限リ迅速ヲ要ス (十)
- 自轉車ヲ用ユルトキノ速度左ノ如シ
- 道路尤モ良好ナルトキ 二十八吉米(七里)

一時間ノ速力

道路中等ノトキ

二十吉米(五里)

道路尋常ノトキ

十六吉米(四里)

道路悪シキトキ

程度ニ從ツテ漸次減少ス

夜間ハ其効力著シク減シ最大速力ヲ出ス能ハス

馬車ノ速度ハ二馬輓一馬輓等ニ由テ變スレトモ概テ騎兵ノ者ニ準ス

人力車ノ速度ハ天候道路ノ景況ニ由テ變スレトモ普通中等ノ形勢ニ

於テ一時間八吉米(二里)トス

徒歩傳令使ノ速度左ノ如シ

並(速)歩) 十二分時ニ一吉米 (十)

急(駆)歩ト速歩ト混用)九分時ニ一吉米 (十)

至急ハ脚力ノ耐ユルマテ迅速ヲ要ス (十十)

遞騎哨

遞騎哨ノ距離ハ通常八吉米ナリ人員ハ二三騎トス然レトモ長時間ノ爲メニスルハ人員ヲ増シ下士一人兵卒六人乃至十人トシ前記ノ距離ヨリ遠大ニ設ク
遞騎簿ハ其哨所ヲ撤セシ後之レヲ其部隊ニ保存スヘシ

● 詳報

詳報ハ通常室内ニ於テ多分ノ時間ヲ費シテ記載スルモノニシテ多クハ短簡ナル報告ヲ増補シテ之レヲ詳密ナラシムルモノトス但シ其記載法ニ於テハ概テ報告ニ準ス
詳報者ノ間接ニ耳目ニ觸レタルコト及ヒ敵軍ノ遺セル形迹ニ因テ得タルコトヲ報スルコト亦緊要ナリ此等ノコトハ時トシテ特ニ詳報セ

サルヘカラサルコトアルモノナリ
 戦闘後ニハ單簡ナル戦闘報告ヲ呈出スルモノニシテ此報告ノ不足ヲ
 補ヒ戦闘情况ヲ精細ニ報告スルハ戦闘詳報ニアリ此詳報ハ成ルヘク
 速カナルヲ要スルヲ以テ各上級司令部若クハ本部ハ部下各部隊ノ詳
 報ヲ呈出シ來ルヲ待ツコトナク先ツ其司令部若クハ本部ノ詳知セル
 件ノミヲ記シテ報告スルモ妨ケナシ實際ニ於テ大隊ノ詳報ヲ聯隊ニ
 經メ聯隊ノモノヲ旅團ニ經メテ而シテ後報告スルトキハ大ニ遲緩ヲ
 來タスヲ以テ聯隊ハ大隊ヲ待タス旅團ハ聯隊ヲ待タスシテ詳報ヲナ
 シ後チ其部下ヨリ呈出セル詳報ヲ閱シ先キニ製シタル詳報ト組語ス
 ルコト或ハ又加除スルコトアレハ更ニ之レヲ報告シテ可ナリ
 戦闘詳報ハ各部隊カ諸方面ニ於テ戦闘シ其區域廣大ナル時ハ其方面
 毎ニ各別ニ記載ス例ヘハ右側支隊ノ方面、左側衛ノ方面、脅威隊ノ方面

等ノ如シ

● 掌圖略圖

掌圖ハ一地區ノ地形地物ヲ某目的ニ應シ詳細ニ描畫スルモノニシテ
 堡壘築設草案圖、或ハ架橋軍路開設ノ計畫草案圖、或ハ要塞偵察ノ報告
 圖、或ハ攻圍線各陣地ノ草案圖ノ如シ又時トシテハ地圖不足ノ部分ヲ
 補フニ供ス
 略圖ハ多クハ筆記ノ煩ヲ省キ或ハ之レヲ補足スルモノニシテ精密ナ
 ルヨリハ筆口迅速ナルヲ主トス然レトモ決シテ粗略ニテ可ナリト云
 フ意ニ非ラス略圖ノ略圖タル所以ハ不要ノ部分ヲ省キ必要ノ部分ノ
 ミヲ記スルト云フニアリ故ニ必要ノ點ハ明瞭單簡ニ記セサルヘカラ

ス乃チ其描畫スヘキ要部ト不要部トヲ判別スルコトカ略圖ノ奥義ナ
 リ假令ハ行軍縱隊ノ位置ヲ現ハス爲メノ略圖ノ如キハ道路左右ノ地
 形、地物等ハ最モ簡省シ縱隊ノ先頭後尾等ノアル位置ヲ示スヲ以テ足
 レリトシ前哨宿營等ノ位置ヲ顯ハス爲メノ略圖ハ戰術上ニ關スル價
 値ナキモノハ之レヲ省略シ前哨抵抗線、前哨部隊ノ位置(例ヘハ森林ノ
 後方或ハ獨立家屋ノ背後等)等戰術上ノ價值ヲ有スルモノハ明瞭ニ之
 レヲ記載スルヲ要スル如シ
 略圖ヲ以テ報告スルトキ其受報者正確ナル地圖ヲ有スル時ハ略圖ハ
 殊ニ單簡ニシテ足レリ何トナレハ受報者ハ所有ノ地圖ニ照合シテ觀
 察スレハナリ要スルニ急忽ノ場合ニ於テ特ニ然リ之レ略圖ノ精巧ナ
 ルヨリハ寧ロ迅速ヲ主トスレハナリ
 必要ナル距離間隔ハ註記ヲ以テ之ヲ示シ正シク梯尺ニ適合セシメサ

ルモ可ナリ

如何ナル略圖ニ於テモ左ノ件々ヲ記入スルコトヲ忘ルヘカラス

- 一 略圖ニ記載スル所ノ目的ノ要何々村前哨配備ノ略圖、何々村陣
 地占領ノ略圖等)
- 二 概略ノ梯尺
- 三 方位
- 四 敵ノ方向(小矢ニFノ字ヲ附シテ標記ス)
- 五 作業者ノ姓名
- 六 註記符號等ハ北ヲ上ニシテ記ス
- 七 彼我ノ隊標ハ通常赤色ヲ以テ敵ヲ顯ハシ藍色ヲ以テ我ヲ顯ハ
 ス
- 八 部隊ノ運動方向ハ矢標ヲ以テス

九 防禦或ハ攻撃ノ爲メニスル略圖ハ敵ノ砲兵陣地ト推測スル位

置ヲ示シ又我砲兵ノ射界ヲ示スヲ要ス

十 前哨配布ノ略圖ニ在ツテハ前哨抵抗線ヲ示スヲ屢々必要トスル

コトアリ

凡テ略圖ハ光明不充分ナル時ニ於テモ猶ホ是レヲ通讀シ得ル如ク明瞭ナルヲ要ス細微巧妙ノ美術的ノ描畫ハ望ム所ニ非ラス
略圖上ニ描畫シ得サル件ハ備考トシテ註記ヲ以テ之レヲ現ハスナリ
然レトモ成ルヘクハ圖上ニ描畫シ備考ノ註記ヲ減スルヲ可トス

●陣中日誌

記載スヘキ事件ヲ其事件カ發生セシ時直チニ記スルカ尤モ可ナリ蓋

シ時ヲ經ルニ從ヒ其當時ニ於ケル感動ハ漸次薄クナリ或ハ失念スル
コトモアリ當時ノ形勢ヲ適切實際ニ記述スルハ其當時ノ刺激感動カ
未タ腦髓ヲ去ラス目前ニ現出描影セラレアル時ニ若クナシ

戦闘報告、戦闘詳報陣中日誌ニ關スル精細ノ件ハ高等勤務令

注意ニ就テ了解セラレヨ該令ニ關スルコトハ爰ニ記載スル能ハ
ス

●通信ノ記載注意

一 文章ヲ短簡ニシ奇異ノ語ヲ避クヘシ

二 右、左、前、後、此方、彼方等ノ語ハ其語意分明ニシテ疑ナキ時ニ於テモ尙
ホ能ク注意ヲナスヲ要ス

三右側、左側右翼、左翼ノ語ハ敵ニ對スル方向ヲ基準ト爲シテ稱呼スルモノトス

四同一ノ命令又ハ報告中同日ノ月日ハ其列記ノ順序ニヨリテ或ハ之レヲ省略スルヲ得ヘシト雖トモ午前若クハ午後ノ語ハ必ス時刻ニ冠スルヲ要ス

五某日ノ夜ト記スルトキハ某日ノ黄昏ヨリ拂曉マテノ間ヲ意味スルモノナリ

六地名ハ殊ニ明瞭ニ記シ且ツ地圖ト同文字ヲ用ユルヲ要ス地名ノ誤リハ最大關係ヲ有ス

一地方ニ於テ同一ノ地名アルトキハ精密ニ記シテ疑ナカラサラシムヘシ(何村ノ東北何吉羅米ニ在ル何村ト記スルカ如シ)

七字或ハ俗稱ニシテ地圖ニ記載ナク之レヲ用ユレハ其地點明瞭ナル

トキニ於テモ必ス先ツ地圖ニ記載アルモノヲ記シ其下ニ括弧ヲ置キ字何々或ハ俗稱何々ト記シ又讀ミ難キ地名(我孫子飯富等ノ如シ)ニハ傍訓ヲ附スハシ

八道路ハ疑ナキ街道(中山道、東海道等ノ如シ)ノ外ハ二個ノ地名ヲ以テ記スヘシ(何村ヨリ何村ニ至ル道路ト記スルカ如シ)

九命令或ハ報告中地形ニ關スルコトヲ記載スルニハ地圖ニ據テ其名稱ヲ指示スルヲ要ス縦令受令者又ハ受報者ノ地圖ヲ携帶セサル時ト雖トモ亦タ然リ然レトモ地圖ヲ参照スルニ非ラサレハ了解スヘカラサル所ノ指示ハ受報者又ハ受領者同一ノ地圖ヲ携帶セルコト確實ナル時ニ於テノミ之レヲ爲スヲ得此時ニ於テハ其用ヒタル地圖ノ名稱ヲ示スヘシ

十標高ニ依テ一地點ヲ指示スル件ハ常ニ補足ノ語ヲ用ヒテ他ノ標高

ト混セサルヲ要ス(何村ノ西北何米突ニ在ル標高何々ト記スルカ如シ)

十一一地區域ハ軍隊ノ位置ヲ示スニハ順次其右翼ヨリ始ムヘシ

十二一地區域ハ軍隊ノ位置ヲ示スニハ順次其右翼ヨリ始マルヘシ

司令部及ヒ軍隊ヲ示スニ當リ凡テ明瞭ヲ缺カサル略語ハ之レヲ用ユルコトヲ得然レトモ其略記法ニ於テハ之レカ爲メ更ニ規則ヲ設クルコトナシ

十三一部ヲ缺キタル所ノ軍隊ヲ示スニハ第何大隊或ハ第何中隊ヲ缺クナル語ヲ括弧内ニ記シ又若シ其一半若シクハ其以上ヲ岐分シタルトキハ右ノ如クセスシテ本部及之レニ屬スル部隊ノミヲ舉示スヘシ假令ハ左ノ如シ

步兵第一聯隊(第三大隊缺ク)……………一聯隊中ヨリ一天隊ノミヲ缺クトキ

步兵第一聯隊本部並ニ第一大隊……………一聯隊中二大隊ヲ缺クトキ

十四凡テ書類ハ鮮明ニ筆記シ光明不充分ノ時ニ於テモ尙ホ通讀シ得ヘカラシムヘシ

●諸判斷、決心及ヒ意見具申

諸判斷ハ適當ニ所置ヲナシ、適當ナル命令ヲ下サンカ爲メニナスモノニシテ其判斷ヲ立ツルニハ固ヨリ一定ノ方式アルコトナシ然レトモ居ル所ノ位置異ナルニ從ヒ或ハ現在スル時機ノ如何ニヨリ其判斷ノ主眼トスヘキモノ相異ナルハ自然ノ勢ヒニシテ亦タ爭フヘカラス爰ニ於テカ種々判斷ノ種類ヲ生スルナリ
假令ハ防禦ノ爲メニ地形ヲ判斷スルニ敵ノ所在未タ確カニ知レ渡ラ

ナル場合ニアリテハ防禦陣地ヲ何レノ所ニ撰定シテ可ナルヤヲ知ラサルヘカラス即チ防禦ノ目的ヲ以テスル地形判斷ヲ要スルナルヘシ此判斷ニ於テハ陣地ヲ撰定スルコトニ就テ主眼ヲ置カサルヘカラス又タ敵ノ所在既ニ明カニシテ我カ防禦陣地モ既ニ決定シタル場合ニ於テハ敵ノ攻撃ヲ受クルニ當リ尤モ我カ痛痒ヲ感スル部分ハ何レノ處ニアルヤヲ判斷セサルヘカラス茲ニ於テ即チ陣地判斷ノ必要ヲ生スルナリ此判斷ハ陣地ノ正面翼側等ニ就テ微細ニ利害ヲ研究シ翼ヨリ攻撃ヲ受クル時ハ如何、正面ヨリ攻撃ヲ受クルトキハ如何、之レニ應スル所置ハ如何ナルコトヲナスヘキヤ等ヲ判斷セサルヘカラス攻撃ノ爲メ地形ヲ判斷スルモ亦然リ凡ソ敵ノ陣地既ニ定マリ我兵既ニ準備陣ヲ布キ而シテ其眞攻撃ハ愈、何レノ點ニ施スヘキヤヲ適當ニ決セン爲メ即ハチ攻撃ノ目的ヲ以テスル地形判斷ヲナスノ必要ヲ

生ス此ノ判斷ニ於テハ敵ノ翼ニ迫ルニハ如何、正面ニ當ルニハ如何、等ノ如ク敵陣ノ各部ニ就キ判斷ヲ下シテ其尤モ攻メ易キ所ニ攻撃點ヲ決定スヘキナリ若シ又敵ノ陣地ノ概畧ノミヲ知り之レニ近接スル爲メニ猶ホ行進ヲナサルヘカラス場合ニ當リテハ敵ノ陣地ニ接近スル爲メニ如何ナル方向ヲ撰フヘキヤノ判斷ヲナスヲ以テ主眼トナサルヘカラス

然ルニ攻撃ノ爲メ地形ヲ判斷スルニ其判斷ノ下シ方ニ就テ聊カ注意スヘキコトアリ夫レ防禦陣地ノ判斷ニアリテハ前地正面翼側内地後地等ニ付キ皆ナ之レヲ判斷論究スルヲ要ス蓋シ之レ等ハ悉ク我所有地ニシテ一々戰鬪上ニ關係ヲ及ホスヲ以テナリ然レトモ攻撃者ヨリ云フ時ハ然ル能ハス防者ノ前地ハ即チ攻者ノ運動地ナリ故ニ前地トシテ論スルヨリハ攻撃運動ノ爲メニ此地形如何ナル關係ヲ有スルカ

ヲ論スルヲ以テ至當トス又内地後地ニハ防者ハ如何ナル作業モ施シ得ヘク攻者ハ固ヨリ之レヲ知ルニ由ナキヲ以テ如何ニ判断シ置クモ此判断ハ敵ノ爲メニ随意ニ變化セラル、ヲ以テ到底利益ナカルヘシ只タ一般ノ攻撃方向ヲ判断スルヲ以テ足レリトス

作戰ノ情況ニ從ヒ前進スヘキカ、退却スヘキカ、停止スヘキカ等總ヘテ爾後ノ作戰動作ヲ決定セントスル時ニ當リテハ如何ニセハ作戰目的ニ適スルヤ或ハ我ニ利益アルヤ或ハ不利ナルヤ等種々ノ關係ヲ判断スルノ必要ヲ生ス茲ニ於テカ情況、判断ヲナサ、ルヘカラス又敵情疑ハシキ種々ノ情報ニ由テ之レヲ判断シ爾後ノ方針ヲ定メン爲メニハ敵カ果シテ如何ナル情況ニアルヤヲ判断セサルヘカラス爰ニ於テカ敵狀、判断ノ必要生ス

以上ノ如ク防禦ノ爲メニスル地形判断、攻撃ノ爲メニスル地形判断、陣

地判断、情況判断、敵狀判断ト云フカ如ク種々ノ名稱ヲ附スレトモ其目的ハ皆一ニシテ即チ利害ヲ判断シ其判断ノ結果即チ作戰方針ノ決心及ヒ之レニ對スル適當ノ處置ヲナスニアリ

總テ判断ハ敵狀、任務、地形ノ三者ヲ主トシ此ノ各々ニ就テ利害得失ヲ論究スルモノナリ而シテ其中敵狀ヲ判断スルニ當リテ敵ノナスヘキ動作ニ就キ種々ノ臆測假想ヲ設ケ敵カ斯様ニスル時ハ如何彼様ニスル時ハ如何ト想像推察的ノ研究ヲナストキハ限リナキコトナリ故ニ諸情報ニ關シ確實ニ我ノ知リアルコトノミニ就テ至急ニ判断スルヲ要ス決シテ空想ヲ以テ判断ヲ左右スヘカラス

或ル情況ニ際シテ指揮官カ爾後如何ナル方針ヲ取ルヘキヤノ諸決心ハ必竟前述判断ノ結果ニ依テ定マルモノナリ故ニ至當ノ決心ヲナサント欲セハ先ツ至當ニ情況判断ヲナサ、ルヘカラス

意見、具申ハ下級者カ上級者ノ参考ニ供スル爲メ自己ノ意見ヲ呈出スルモノニシテ此ノ意見ヲ呈出セントセハ先ツ適當ノ判斷ヲナシ此ノ判斷ノ結果ヲ具申スルモノナリ

諸判斷、諸決心、意見具申ノ如キモノハ概ネ參謀ノ職ニアルモノ司令官ノ顧問ニ應シテ之レヲ爲スコト屢ニシテ多クハ口演ヲ以テ其顧問ヲ答フルコト多シ然レトモ單簡速カニ其要ヲ顯ハス爲メ口演ト筆記トヲ問ハス先ツ判斷ニ由ツテ生シタル判決若シクハ決心ノ要點ヲ述ヘ次キニ其理由、次キニ其判決ニ依テ生シタル所置ノ大要ヲ述フルモノトス

理由ヲ述フルニ一定ノ方式ナシト雖トモ要スルニ敵狀、任務、地形ノ各々ニ關スル判斷ノ理由ヲ區別シテ項ヲ分ツヲ可トス

前述ノ事ニ關シテハ下之卷ニ於テ實際ノ情況ヲ設ケ精細ニ說述スル

所アルヘシ今單ニ普通一般ノ書式順序ノ一例ヲ示サントス

(一) 防禦ノ目的ヲ以テスル地形判斷
判決

師團ハ某地ヨリ某地ニ亘ル線ヲ占領スルヲ要ス
理由

- 一 敵狀ニ就キテ云々(要スレハ項ヲ分ツ)
 - 二 我任務ニ就キ云々(右ニ同シ)
 - 三 地形ニ就キ云々(右ニ同シ)
- 以上ノ理由ニ依ツテ左ノ處置ヲナス
- 一 何隊ハ何々道路ヲ取り何々方面ニ前進シ某地ヨリ某地ニ亘ル間ヲ占領セシム

- 二 何隊ハ何々、
- 三 、、、、、、、、

(二) 陣地判断

何地ヨリ何地ニ亘ル陣地ハ攻勢防者ニ適ス

理由

- 一 敵狀ニ就キ云々(前ニ同シ以下之レニ準ス)
- 二 我任務ニ就キ云々
- 三 陣地ノ前地ハ云々
- 四 同正面ハ云々
- 五 同兩翼ハ云々

- 六 同兩側地ハ云々
 - 七 同内地ハ云々
 - 八 同後地ハ云々
- 以上ノ理由ニ依リ左ノ處置ヲナス

- 一 何隊ハ何々
- 二 何々、、、、、
- 三 、、、、、、、

注意〔此陣地判断ハ陣地ノ各部利害ヲ判断スルヲ以テ主トスルカ故ニ前例ノ如ク各地區ニ就キテ精細ニ研究判断スルヲ要ス〕

(三) 攻撃ノ目的ヲ以テスル地形判断

判断

師團ハ某地方ヨリ某高地ニ向ツテ攻撃スルヲ要ス

理由

- 一 敵狀ニ就キ云々
 - 二 我任務ニ就キ云々
 - 三 敵ノ右翼ニ向フハ如何
 - 四 敵ノ中央ニ向フハ如何
 - 五 敵ノ左翼ニ向フハ如何
 - 六 、、、、、、、、、
- 以上ノ理由ニ依リ左ノ處置ヲナス
- 一 何隊ハ何々
 - 二 何ハ何々、、、、
 - 三 、、、、、、、、、

注意〔此判斷ハ攻撃方向ノ地區ニ就テ
微細ニ判斷スルヲ要ス〕

(四)

何月何日何時ニ於ケル情況(敵狀)判斷

判決

師團ハ一部ヲ以テ某地方面ヨリ敵ヲ牽制セシメ主力ヲ以テ某地ニ向
ヒ前進スルヲ要ス

理由

- 一 敵狀ニ付キ云々(敵狀判斷ノトキハ殊ニ此項ヲ至當微細ニ研究
判斷スルヲ要ス)
 - 二 任務ニ付キ云々
 - 三 地形ニ付キ云々
- 以下前ニ同シ

(五)

何月何日何時ニ於ケル師團長ノ決心
師團ハ即時某地ニ向ヒ退却スルヲ要ス

理由

以下前ニ同シ

(六)

意見具申

- 一 師團ノ給養ハ何月何日ヨリ何月何日迄ハ倉庫給養トシ此ノ準備ノ爲メ監督部員某及ヒ某々ヲ某地ニ派遣スルヲ便トス
- 二 第二梯團ハ某所ヨリ行軍豫定表ヲ返還シ某所ヨリ其所ニ向フテ鐵道輸送ヲナスヲ要ス輸送計畫ハ別紙ノ通り(別紙略ス)
- 三 第一梯團内何々隊ハ某ノ指揮ニ屬シ某地方向ノ警戒ニ派遣ス

ルヲ要ス

四 何々、、、、、

五 何々、、、、、

理由

何々、、、、、

注意

意ヲ見具申ノ書式並ニ他ノ諸判斷時ニ決心トシハ少キニシテ是等ノ理由
即チ見具申ノ書式並ニ他ノ諸判斷時ニ決心トシハ少キニシテ是等ノ理由
置トハ互ニ連繫シ且ツ其條件種々ナリ
テテ煩雜ナルモノナレハナリ

● 諸計畫

作戰上ノ諸計畫ハ統帥部ニ於テ豫定參書シ行動ノ準繩トナスモノナ

リ而シテ其種類ハ目的ニ從ツテ一ツナラスト雖トモ要スルニ作戰機
動ヲシテ遺算ナカラシムル爲メ諸般ノ規畫ヲナサ、ルヘカラス而シ
テ其畫策スヘキ方法、種別等ハ下卷ニ於テ諸種ノ情況ヲ設ケ之レニ適
スル例式並ニ説明ヲナサントス今爰ニ示ス所ノモノハ下卷ノ研究ヲ
ナス基礎ノ爲メ其原則ノミヲ摘記セントス

其一 鐵道輸送計畫

夫レ鐵道ハ方今軍ノ行動上必要無二ノ機關ニシテ實ニ一國兵力ノ首
要ナル素質タリ

作戰上ニ於ケル鐵道ノ効用ハ左ノ如シ

- 一 在郷兵ノ召集ヲ迅速ナラシム即チ動員ヲ速カナラシム
- 二 軍ノ集中ヲ迅速ナラシム

三 作戰地ニ向ツテ軍ノ前進ヲ迅速ナラシム

四 軍ノ作戰地ヲ轉スルコト容易ナリ

五 捕虜ノ後送ニ多數ノ護衛兵ヲ要セス

六 患者ノ後送安穩ニシテ輸送中ト雖トモ治療ヲ施スヲ得

七 普通ノ行軍ニ比スレハ人馬疲勞セス武器、裝具、材料ハ破損スル
コトナシ

八 總テ輸送ハ發着ノ時刻ヲ誤ラス確實ニ且ツ迅速ニナシ得

九 輸送ノ統一ヲ維持スルヲ得指揮監督容易ナリ

鐵道ノ効用大ナル夫レ此ノ如シ然レトモ此鐵道機關タルヤ實ニ英敏
ナル丈ケ夫レ丈ケ誤差失策ノ生スルコトモ亦大ニシテ之レカ輸送計
畫ヲナスニ當ツテハ須ラク細心微細ノ注意ヲナサ、レハ完全ニ此機
關ノ効力ヲ發揚セシメ能ハサルノミナラス反ツテ紛亂錯誤ヲ生スル

コト多カルヘシ

鐵道ノ事務ニ關係スヘキ陸軍官衙ハ左ノ如シ

運輸通信長官部

野戰鐵道提理部

鐵道線路司令部

停車場司令部

運輸通信長官部ハ兵站總監ノ指揮ヲ受ケ鐵道全般ヲ指揮ス

野戰鐵道提理部ハ戰地ノ鐵道ヲ指揮スルモノニシテ亦タ特ニ配屬サレタル鐵道隊ヲ指揮ス

鐵道線路司令部ハ内地鐵道ノ運行ヲ指揮スルモノニシテ且ツ其線路内ノ停車場司令部ヲ指揮ス

停車場司令部ハ乗車、下車、患者等ノ處置ヲ管理シ又驛員ト列車輸送指

揮官トノ中間ニ立ツテ互ニ職務ヲ全カラシム

鐵道線路中、軍事専用ノ部分ト軍民共用ノ部分トノ境界ニアル停車場ヲ轉遷停車場ト云フ

輸送計畫ヲナスニ當リ其要素トナルヘキモノヲ列記スレハ概テ左ノ如シ

(一) 平時ニ於テ豫メ調査研究スヘキモノ左ノ如シ

軌道 單線ナルヤ複線ナルヤ、廣軌道ナルヤ狹軌道ナルヤ、軌道ノ傾斜曲形、路盤強弱ノ度、隧道橋梁等ノ如キ術工物ノ狀態等

停車場 發車停車場、下車停車場、乗換停車場、用便停車場、補給停車場、繼立停車場、給養停車場、轉運停車場等ニ通スルヤ否ヤ要スレハ戰時ニ於テ新設スヘキ停車場位置ノ撰定、各停車場相互ノ距離關係如何、卸載ノ便否、停車場近傍ノ地形、停車場ニ至ル道路、近傍ノ人家ハ軍隊ノ宿營ニ通スルヤ否ヤ、給養品ノ多寡、停車場前傍何ノ軍隊ヲ入レ得ルヤ、車馬ハ何レヨリ通行シ得ルヤ、軍隊集合所、醫馬場、用水、飲馬場及ヒ園

停車場内ノ諸術工場

圖ノ有無、必要ニ照シ爲スヘキ諸工事ノ種類人員時間等
 要ス)列車組立線、交線通信機、諸倉庫工場ノ整否、轉線機、運車臺、轉車臺、貯水器、石炭積入臺、量積機、起重機、秤量器、信號機等ノ有無状態、乘車臺ノ長短廣狹、要スレハ之レヲ急造スル人員時間、

乘車臺ハ殊ニ緊要ナルモノニシテ其高サハ軌道ノ上面ヨリ三呎、六吋(一米突餘)ナルヲ適當トス之レ客車貨車ノ車床ト略ホ同高ナルモノナリ而シテ人員ノ爲メニハ之レヲ二呎(踏板稍下方)トナスヲ得ルト雖トモ馬匹ノ爲メニハ成ルヘク三呎、下ラサルト其トス之レ踏板ヲ用ヒサルカ爲メ若クハ踏板ヲ大ナラシメサル爲メナリ又側板轉轉セサル無蓋貨車ノ爲メニハ乘車臺ノ高サヲ其側板ノ上様ト同高ニナスヲ便ナリト雖トモ此ノ如クスレハ他ノ車輛ニ對シ大ニ不便ナルカ故ニ到底望ムヘカラサルコト、ス

乘車臺ノ長サハ最長列車ノ長サヲ超ユルヲ要ス今尋常客車二十三輛(四十六軸)緩急車二輛及ヒ機關車二輛ヲ以テ組成セル列

車ヲ最長ノモノトセハ乘車臺ノ長サハ約七百呎、約二百十五米突)ナルヲ要ス

本邦ニ於テハ最長列車ノ車數(機關車及ヒ緩急車ヲ除ク)二十輛即チ四十軸ニ制限スルヲ通常トス且ツ實際ニ於テハ客車ノミヲ以テ列車ヲ編成スルモノニ非スシテ必ラス多少ノ貨車ヲ混合スルカ故ニ實際ハ乘車臺ノ長サハ六百呎ヲ以テ充分ナルヘシ戰時急造ノ乘車臺ニ在ツテハ屢數、十米ノ長サヲ以テシ要スルトキハ逐次列車ノ一部宛テ其側ニ導テ搭卸スルヲ以テ満足セサルヘカラス

乘車臺ノ幅ハ三米、突、以上ナルヲ要ス然レトモ乘車臺ノ前方ニ沿フテ整列場ヲ有シ且ツ人馬砲車等ノ之レニ登ルコト容易ナルトキ即チ恰モ乘車臺ノ踏臺ノ如ク使用スル場合ニ在ツテハ歩兵ノ爲メニハ二米、突、ヲ以テ足ルヘシ乘車臺ノ前方ニ餘地ナキ場合ニ於テ多數ノ馬匹又ハ野砲等ヲ迅速容易ニ乘車セシメシニハ其幅六米、突、以上ナルヲ要トス

諸材料業務ノ人員

吏員ノ多寡、機關車ノ數、噸數、牽引力、貨車、客車ノ

敷、枕材、帆、鐵等ノ豫備材料ノ多寡、石炭ノ多寡

(二) 列車ノ車輛數

通常軍用ノ一列車ハ機關車及ヒ緩急車ヲ除キ廣軌道ニ在ツテハ四十輛狹軌道ニ在ツテハ二十輛トス是レ大極ナリ
各部隊ノ建制ヲ破ラサラント欲セバ右ノ大極限列車數ニテ之レニ過不及ナク一杯ニ積載スルコト難ク戰術上ノ顧慮大ナルニ從ツテ益、困難ナリ

(三) 人員馬匹材料搭車ノ容積

普通ノ客車及貨車ノ一輛ヲ以テ軍隊ヲ輸送シ得ル平均數概ネ左ノ如シ

將校或ハ相當官

二十四名

客車

下士兵卒

四十名(武裝シタル兵員ノ坐積ハ普通旅客ノ十分ノ八ヲ領ス)

横臥スル患者

十名

褌牀スル患者

三十名(輕傷症者ナレハ健康兵ノ坐席三分ノ二トス)

馬匹

六頭(看守兵二名ヲ含有ス)

野砲砲車或ハ彈藥車

一輛ト二分ノ一

豫備品車

一輛

貨車

山砲兵材料(駄鞍共)

十六駄

行李荷物(駄鞍共)

二十駄

一馬輓車輛

三十六輛

一馬輓車輛ノ荷物

十六輛分

重量ヲ以テ算スルトキハ五噸(二百六十貫)ト概算ス

(四) 一列車ノ輸送力

列車ノ客積ヲ前記定規ノ如ク使用シ軍用列車ニ連ネ得ル軸數概ネ四

十軸汽罐車及緩急車ヲ除クト假定シ一列車ヲ以テ輸送シ得ル概數左ノ如シ

歩兵半大隊弱

騎兵半中隊

野砲兵一中隊第二段列及ヒ大行李ヲ除ク或ハ第二段列及ヒ大行李

山砲兵一中隊第二段列及ヒ大行李ヲ除ク及大隊若クハ聯隊本部或ハ第二段列并ニ大行李及大隊若クハ聯隊本部

工兵一中隊半

衛生隊三分二

架橋縱列四分一

歩兵彈藥一縱列ノ二分一

尤モ概算ニシテ學習上ノ標準ニ供スルニ過キス

砲兵彈藥一縱列ノ三分二
糧食一縱列ノ三分一

戰時一師團ヲ輸送スルニ戰術上ノ顧慮ナキ場合ニ於テ廣軌道ニ在ツテハ約四十二列車、狹軌道ニテハ約八十五列車ヲ要スルナラン

(五) 上車下車給養並ニ輸送集合等ノ時間

軍用一列車ノ搭車ハ左ノ時間内ニ行ハシムルヲ要ス

徒歩兵ニ在ツテハ一時間内

騎兵若クハ砲兵ニ在ツテハ二時間内

彈藥縱列及ヒ輻重ニ在ツテハ三時間内

通常兵員ノ下車ニ許スヘキ時間ハ下車及ヒ隊列ヲ整フル爲メニ十分乃至十五分ヲ要シ各車同時ニ馬匹ヲ卸下スルニ十分乃至二十分、車輛ノ各車ニ二十分乃至三十分ヲ要ス而シテ騎兵砲兵及ヒ輻重ニ

在ッテハ此他其列ヲ整へ或ハ車輛ニ馬ヲ駕シ或ハ物品ヲ馬ニ馱シ以テ停車場ヲ去リ整列場ニ至ルマテニ更ニ十分乃至二十分時ヲ要スヘシ

即チ軍用列車カ到着點ニ於テ凡テノ下車ヲナシ其空列車カ歸途ニ就クニハ到着時ヨリ約一時間後ト概算ス

列車運行ハ給水、石炭積入若クハ機關車交換或ハ往復兩列車行違ヒノ待合セ等ノ爲メ少時間停車スルノミニシテ其他成ルヘク停車セス直行スルヲ可トス而シテ若シ休憩ノ必要アレハ乗換或ハ給養等ノ時期ヲ利用シ約一時間ノ停止ヲナシ此間ニ喫食ヲナシ且ツ大休止ヲナサシム

全隊ハ輸送ニ要スル時間ハ每列車ハ發車間隔ニ最終列車ノ運行時間ヲ加ヘタルモノナリ譬ヘハ一師團ヲ輸送スルニ約九十列車ヲ要スル

モノトセンカ其發車間隔ヲ一時間トセハ最初ノ列車カ出發スル時間ヨリ最終列車カ出發スル迄ハ九十時間(約四日間)ヲ要スヘシ而シテ其最終列車ノ目的點ニ達スル運行時間ヲ一日トセハ即チ全隊ノ集合終結ハ約五日間ヲ要スル如シ

(六) 速力

軍用列車ノ速力ハ僅少ノ停止時間ヲ算入シ廣軌道ニ在ッテハ十八哩、狹軌道ニ在ッテハ十二哩ヲ少極ト考フルヲ得ヘシ

軍用列車ノ速力ハ過度ニ之レヲ迅速ナラシメントスルハ蓋シ無益ナルヘシ夫レ鐵道輸送ノ主ナル點ハ衆多ノ軍隊ヲ或ル目的地ニ迅速ニ集合スルニアリ而シテ此集合時間ノ計算ハ前陳ノ如ク最先頭ノ輸送ヨリ最後輸送ノ軍隊カ到着スルマテノ時間ナリ故ニ今一師團ヲ輸送スルニ當リ其輸送一列車ニハ一定ノ積込ミ制限定量アルヲ以テ全師團

ヲ到底一度ニ輸送スルコト能ハス之レヲ數十回ニ積込ミ以テ輸送セサルヘカラス然ルトキハ其積込ミヲナスニ當リ如何ニ列車運行ノ速力ヲ増スモ毎列車發車間隔ニハ制限アリ(各停車場間隔及ヒ信號等ノ爲メ)故ニ此制限ニ從ツテ毎列車ニ積込ムトキ全師團ノ爲メニハ四日ヲ要スル者ト假定セン即チ最初ヨリ四日ニシテ全部ノ積込ミヲ終レリ最終列車ノ運行時刻ヲ一日トセハ全隊集合ニハ五日ヲ要スル譯ナリ(前陳(五)參照)此ニ於テカカ如何ニ運轉速力ヲ迅速ナラシムルモ積込ミ込ミ時間ニハ差異ナク必竟最終列車ノ到着時間ヲ若干早クスルノミニテ全隊集合時間上ヨリ云ヘハ敢テ一日以上ノ差異ハ生セサルヘシ乃チ軍事輸送ヲ迅速ナラシメン爲メニハ列車運轉速力ヲ早ムルヨリハ他ニ至大ノ要素アルアリ曰ク乗車下車時間ノ節減、石炭、給水ノ便、信號區劃ノ整理、機關車、客車、貨車其他材料ノ充足、軌道廣ク複線ニシテ一

回ノ列車ニ最大ノ積載ヲナス等ニアリ

(七)發車間隔

逐次ニ發車セシムヘキ列車ノ數ハ兩停車場間(停車場間ニ非ラサルモ各信號機所在地ナレハ此間ヲ一區トスルモ可ナリ)ニ一列車ヨリ多ク在ラシメサルヲ法トス故ニ運搬力ニ停車場間(若クハ兩信號機間)ノ遠近ニ關係ス即チ全線路中ニ停車場間(兩信號機間)ノ距離最大ナルモノヲ採リ列車ノ之レヲ通過スル時間ヲ計リ以テ逐次ニ積發スル列車ノ發車間隔ヲ定ムルモノトス

諸事完全ナル時單線ニテハ一時間一回、複線ニテハ二十分乃至三十分毎ニ一回發車シ得ヘシ然シ此事ハ全線路、材料、乘車臺、役員、信號機等總テカ充分ニ整備シタル時實行シ得ヘキナリ
複線軌道ニ在ツテハ材料充分ナルニ於テハ單線ニ比シ同時間ニ約二

倍ノ列車ヲ發シ得ヘシ

(八)車輛ノ應用

大體ノ規定ハ將校ハ一、二等、下士以下ハ三等室ナレトモ時トシテハ將校ト雖トモ三等室、下士以下ハ有蓋貨車或ハ無蓋貨車ニ乘載シ成シ得レハ腰掛ヲ給ス

將校ハ上長官以上ハ一等車、尉官ハ二等車ト概定スレトモ斯ノ如ク區別スル時ハ客車ノ不足ヲ訴フルノミナラス元來一、二等車ハ其數甚タ寡少ナルヲ以テ軍事輸送ニ於テハ一、二等車ヲ區別セス一般ニ將校ハ混乘セシムルモノトス

將校ニシテ若シ三等車ニ乘車セシムルヲ要スルトキハ將校一人ニ付キ兵卒三名乃至四名分ノ座席ヲ與フルモノトス

患者ノ爲メニハ輕症者ナレハ通常列車ニシテ其座席ヲ健康兵ノ三分

ノ二トシテ乘車セシム

患者衆多ナルトキハ特ニ患者列車ヲ編成ス

重症患者ノ爲メニハ特ニ病院列車ヲ編成ス

馬匹ニ用ユル車輛ハ尋常ノ有蓋車ニ六頭及ヒ其乘鞍共積載スルヲ常トス

駄鞍ハ大ナル貨車ニ非ラサレハ容ル、能ハス

馬匹ニハ監視兵二名ヲ附シ之レヲ積載スルニハ環、椽木、胸板ヲ設ケ成シ得レハ窓並ニ尿ヲ流出セシムル孔ヲ設クレハ尤モ可ナリ若シ有蓋貨車缺乏スルトキハ少ナクモ側板高一米二十以上ノ無蓋貨車ヲ用ユヘシ此無蓋貨車モ亦タ無キ時ハ簾ヲ組ミ以テ尋常無蓋貨車ヲ流用スヘシ此簾ヲ設ケタル無蓋貨車ハ横列ニ馬ヲ位置セシム從ツテ多クノ馬匹ヲ積載シ得ルノ一點ハ利益ナリ

貨物材料ニ用ユル車輛ハ總テノ貨車ヲ應用スルヲ得然レトモ貴重品並ニ火災危險ノ患アルモノハ有蓋貨車ニ積載スヘシ又積卸困難ナル者ハ側板開閉シ得ル者ニ載セ大ナルモノニテ二車輛ニ跨ル者ハ側板ナキ臺車ニ積載スルモノトス

(九) 輸送計畫表

此表ハ鐵道輸送ニ關スル乘車、及ヒ下車、停車場、列車積載ノ部隊區分等ヲ一目瞭然ナラシムル爲メ調製スルモノナリ
此表ニ記載スヘキモノ概ネ左ノ如シ

出發ノ時刻及ヒ停車場

目的タル到着點ノ停車場及ヒ到着時刻

列車番號

列車組織(客車貨車ノ種類、個數)

各列車ニ乘車スヘキ部隊

各列車ニ積載スヘキ將校下士卒馬匹材料等ノ内譯

(十) 鐵道線路輸送計畫表

此表ハ某線路間ノ運轉列車ニ關シ搭載スヘキ人馬物件並ニ車輛數、列車發着給養ノ時刻地點等ヲ規定スル者ニシテ前者(九)ニ比スレハ精細ナルモノナリ而シテ其記載スヘキ件左ノ如シ

列車番號

搭載スヘキ部隊號

搭載スヘキ將校下士卒馬匹材料ノ數量

車輛數(上中下等車、有蓋貨車、無蓋貨車、其他各種ノ車輛幾許等)

出發停車場及ヒ日時

給養停車場ノ名稱及ヒ給養ヲナスヘキ時刻

到着停車場及ヒ日時

諸種ノ備考

(十一) 列車運轉時刻表

此表ハ名稱ノ如ク各列車ノ運轉時刻ヲ明示スル者ニシテ其記載スヘキ件左ノ如シ

停車スヘキ驛名

停車セシ各驛ノ發着日及ヒ時刻

停止時間

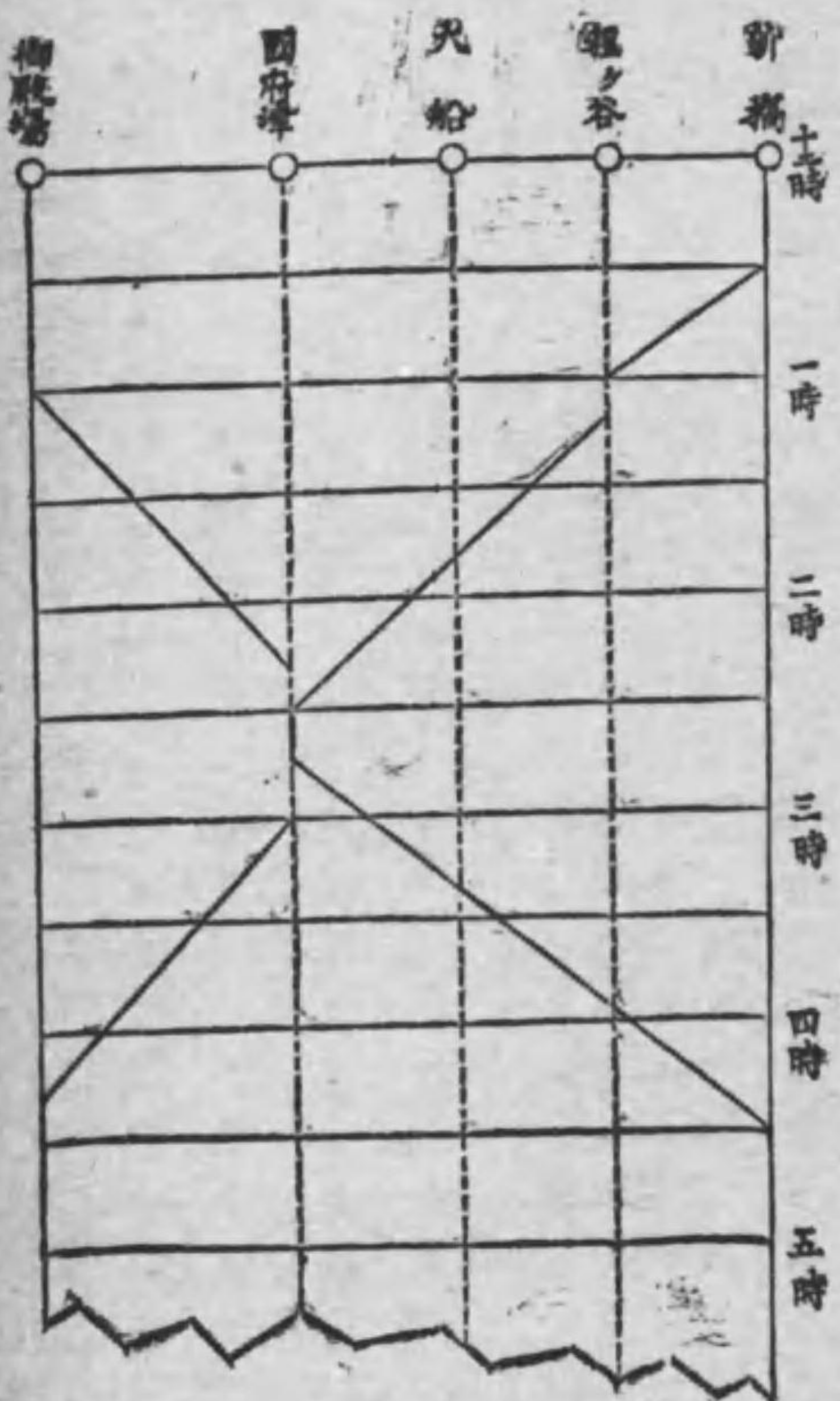
各運轉列車ノ番號

諸種ノ備考

(十二) 某線路間列車運行表

此表ハ線路ヲ運行スル旅客列車、貨物列車、軍用列車、不定列車ノ運行ヲ

衝突セサル如ク規定セル者ニシテ此表調製ノ要領ハ横線ニ各停車場間ノ距離ヲ取り此線ニ直角ナル縦線ニ時間ノ標線ヲ取り此縦横線ノ場合ニ由テ規定スル斜線上ニ列車ノ運行ヲ現出スルモノナリ



假令ハ右表ニ於テ右上ヨリ左下ニ至ル斜線ハ軍用列車カ十二時三十分ニ新橋ヲ發シ一時程ケ谷若同所ニ十五分停車シ一時五十五分大船ヲ通過シテ二時三十分國府津若同所ニ三十分停車シテ四時十五分御殿場ニ着スルヲ示スモノナリ又左上ヨリ右下ニ至ル線ハ二時御殿場發ニテ二時三十分國府津ニ於テ下リ列車ト交叉シ四時三十分新橋ニ着スルヲ示スモノナリ

此表ニ於テ斜線ノ傾斜急ナルハ速力ノ早キヲ知リ傾斜緩ナルハ速力遅キヲ知リ得ヘシ又上下二列車ノ線カ各停車場ノ線上ニ於テ交叉スレハ(國府津ノ線ニ於テ二時三十分前後ニ往復列車互ニ通過スル如シ)衝突ナケレトモ若シ此線外ニ於テ互ニ交叉スルトキハ衝突スルモノナルコトヲ知リ得ヘシ

此表ハ唯々概略ノ一例ヲ示スモノニシテ實際ハ諸種數多ノ列車往復

ヲ逐一標記スル者ニシテ其調製ハ實ニ綿密ト勞力トヲ要スルモノナリ唯々吾人カ計畫ヲ定ムル爲メ運行表ノ調製方ニ付キ知リ置クヲ要スルハ左ノ件ナリ

列車ヲ停止セシムルハ成ルヘク給水停車場ニ於テシ此停止時間ヲ利用シテ汽鐘ニ要スル水ノ補充ヲナスコト

上下往復ノ列車ヲ交叉セシムルハ停車場ト停車場トノ中間ニ於テセシムヲ勉ムルヘキコト

某停車場ニ於テ列車ヲ發セシムルハ前ノ列車カ次キノ停車場ニ着シ以テ線路開通ノ信號ヲ得タル後ニアラサレハ能ハス而シテ此信號ニ要スル時間ハ一分ト概算ス

機關車ニ水ヲ補充スルハ通常一時間ヲ最少限トス石炭ハ此三倍即チ三時間ヲ最小限トス但シ是レハ機關車ノ種類ニ從ツテ異同アリ

炭水車附屬ノ機關車ノ如キハ尙ホ長時間補給ヲ要セス爰ニハ唯タ
最少限ヲ示スノミ

(十三) 鐵道輸送ハ大部隊ニ利アルハ其距離遠大ナルトキハミ故ニ距
離遠大ナラサルトキハ速カニ派遣ヲ要スル一部隊ノミ鐵道ニテ出
發セシメ其他ノ諸部隊ハ道路ヲ行進セシムルヲ可トス實際便利ノ
爲メニハ二種ノ行軍法ヲ混用シ歩兵ヲ汽車ニ乗ラシメ砲兵、騎兵、輜
重兵等ヲシテ道路ヲ取ラシムヘシ又期スル所ノ目的特別ニシテ必
要ノ事情アラハ鐵道行ノ歩兵ニ僅々ノ砲兵及ヒ騎兵ヲ附スヘク或
ハ砲兵及騎兵ニ僅々ノ歩兵ヲ附スヘク又警戒ノ爲メニハ必ラス若
干ノ騎兵ヲ歩行部隊ニ附スヘシ

其二 船舶輸送計畫

本邦ハ四面海ヲ繞ラス故ニ軍ヲ海外ニ行ル必ラス船舶ニ頼ラサルヲ
得ス而シテ軍隊ノ航海ハ稀レニハ海軍所屬ノ運送船ヲ用フルモ是レ
固ヨリ大軍ノ輸送ヲ充足スル程ノ船舶數アルニアラス一朝大輸送ヲ
爲スニ當リテハ徵集シタル船舶ヲ用フル常ナリ然ルニ船舶ハ鐵道機
關ト異ナリ其積載量、速力等各區々ニシテ且ツ乘船上陸等モ甚タ困難
ナルモノナリ故ニ之レカ輸送ノ計畫ヲナスモ亦鐵道ヨリハ一層注意
周到研究調査ヲ要スルモノナリ
茲ニ特筆注意シ置クヘキ點アリ是レ他ナラス船舶ハ鐵道ト異ナリ不
時ノ故障生シ易ク鐵道ハ車輛ニ故障アルモ軌道ニ故障ナケレハ著シ
ク其計畫ヲ害スルコトナシ譬ヘハ汽罐車ニ故障アレハ他ノモノヲ以
テ之レニ代ユヘク客車貨車ノ如キハ猶ホ更ノ事ナリ即チ客車ハ輻數
ニ依テ乘込人員一定シアリ貨車ハ多少ノ大小アルモ大ナルノ差異ナ